夕刊　滿洲日報　六月二十二日

行政合理化に伴ふ 關東廳豫算節約
西山財務部長が下旬に上京 約百萬圓低減せん

關東廳西山財務部長は近く太田長官の歸任を待つて約一ヶ月間の豫定で本月下旬上京の筈であるが、右は目下政府に於て實施せんとする行政の合理化に依る本年度政府豫算の低減縮小に關する關東廳豫算打合せの爲めで、政府は今回昨年度の實行豫算に鑑み物價下落に基準を置いて出來得る限り豫算の節減を圖り、こゝに一種の合理的實行豫算を得んとしてゐるのであるが、關東廳の豫算も昨年十一月豫算編成當時と現在とは工賃、物價其他共に銀安等の關係で幾分の下落を見てゐるので、必ずしも事業を中止或は縮小、繰延べせずとも、その間相當支出經費を節減して特別會計即國費豫算に於て約百萬圓の低減を圖れといふのにあるのであるが、節減を圖つて漸く編成された同廳の本年度國費豫算二千三百萬圓がどの程度迄に低減され且つ如何なる費目が如何に緊縮さるゝか、同廳財務課では目下頭を惱ましてゐる

中央軍攻擊に轉じ 蔣氏は背水の陣
先づ隴海線にて盛返す

【天津特電二十二日發】一時退却をつゞけてゐた南軍は急に作戰を改め再び猛烈なる攻勢に轉じた、隴海線方面は寢返り騷ぎにて眞相は不明だが隴海線では確に盛返しの勢ひを現はしてゐる、蔣介石氏は數日來行動を秘してゐたが此間に於て直系各軍に巨額の軍費を支給して激勵した外何應欽氏に現銀五十萬元を急送して長沙入りを命じ廣東軍の北上と相俟つて廣西軍を壓迫する作戰を進め韓復渠氏には馬鴻逵軍を援兵として北上せしめると共に現銀卅八萬元を急送して山西軍との妥協を叩き壞し各方面の措置が完全になつたので去る二十日頃から蔣介石氏の主力は再び閻、馮兩軍の主力に攻擊を加へ始め目下激戰中である蔣氏の此戰ひは存亡に關るところとて非常な意氣込みである、若今回も尙不利を招けば始めて廣東に退くか或は蚌埠に喰止めて江浙を堅めるかを定めるであらう、蔣氏としては浦口に汽船を停泊せしめての全くの背水の陣である、一方北軍の總司令閻錫山氏は韓復渠氏との妥協決裂したる爲め太原に返り各將領の代表軍事會議を開いてゐるが主として軍費の捻出に關してゞあらうと見られてゐる

廣東引揚げの 準備を整ふ
浦口に汽船を用意し

【上海特電二十二日發】蔣介石氏は廣東へ退き再擧を策するもの〻如く浦口に三十餘艘の汽船を碇泊せしめ津浦線の列車は全部徐州、關鐵一帶に集めた南京總兵站は既に二十日から前線へ送る軍用米の輸送を停止し朱紹良、許克祥氏はこれに關する何等かの命令をうけたらしく前線に赴かず南京で活動してゐる

顧震氏赴津

既報閻錫山氏の特命を帶び來連中であつた山西軍第三十六軍長顧震氏は、目的の要件を果し廿二日出帆長州丸で天津に急遽赴く事となつたが、同氏の歸津後、山東方面の情勢にある變化を來たすものと見られてゐる

張學良氏を 副司令に
國民政府任命

【南京二十一日發電】國民政府は本日張學良氏を陸海空軍副司令に任命しその旨直ちに發表した、これに依り二月以來の懸案が解決した譯だが然かも尙奉天軍の北軍討伐參加は期待し難しと見らる

一木宮相若槻全權を訪ふ

若槻全權は十九日午前九時四十分一木宮相を本鄕の自邸に迎へ、約十分位會談の後直ちに全權は宮中に參內して歸途閣議に臨むだが、參內は別に表面的の理由はないと云つてゐるが多分何かの御沙汰があつたものであらうと云はれてゐる

郭泰祺氏 逮捕命令
北方寢返りて

【上海廿一日發電】南京政府は前上海交涉員にして現イタリー公使たる郭泰祺氏に對し北方寢返りの理由を以て職を免じ逮捕令を發した、郭氏は目下北平に滯在中である

飛行機用甲板を 巡洋艦に整備か
アメリカ海軍で研究

【ワシントン二十一日發電】米國海軍當局は目下アメリカの巡洋艦噸數の二十五パーセントに對し飛行機着艦用甲板を整備するとの條項が可能なりや否やを研究中である、目下アメリカ巡洋艦は飛行機着艦甲板の裝備なく六臺の飛行機を搭載し得るのみであるが、專門家は甲板を附することに依りて十八臺の飛行機を運び得べしと計算してゐる

財部海相懇談

【東京二十二日發電】財部海相は二十一日午後六時から緊急會議に召集した各鎭守府及び艦隊司令長官、要港部司令官を麻布興津庵に招待し接待大いに努め重ねてロンドン會議調印事情、統帥權干犯問題、軍令部長更迭、新國防計畫等につき諒解を求めた

怪文書を送附

【東京二十二日發電】先頃ロンドン會議回訓決定の經過に就て福府側に怪文書を送附し來るものあり此の種策謀逐日增加の傾向に在り政府では憂慮して御諮詢奏請を急ぐ一原因も此處にある模樣である

共產黨大會は 圓滿に進行
赤衞軍が蹶起することなく 依然スターリンの天下

【ハルビン特電二十二日發】最近ソウエート聯邦から歸朝した某氏の談によると廿五日擧行する蘇聯第十六回共產黨大會はスターリンウオロシーロフ將軍との確執により延期されたので、ウ將軍及幹部中にはスターリン氏に對し心よしとせぬものも相當あることは事實だが、さらばと言ふて直に赤衞軍を率ひて叛旗を擧げることはウ將軍としても希望しない、其れは內部の爭鬪は結局第三國の餌食となることを怖れてゐるために黨の分裂と政體の變革まで抗爭する意志はないから共產黨大會は圓滿進行するものと信じられてゐる、赤衞軍が蹶起すれば勿論一日にしてスターリン派は粉碎されることは當然である、然しさうすることによつて益々ソウエート聯邦が窮地に陷ることは反對派のものでも好まない、從つてスターリンの天下は續くものと見られてゐる、最近ポーランドとソウエートの危機が傳へられてゐるが、見解の如何によつてはさうだとも觀測される、何分ポーランドは英、佛のバックを有しラトウイヤ、ブルガリヤ、リトアニア、チエック等の小諸國を聯盟し其の盟主となつたのであるからソウエート聯邦に對しても赤英、佛の一然國同樣の態度に出で自然兩國間には爭ひが絶えぬが、ポーランドがソウエート化すると否とは歐洲諸國、佛其の他の存立上に重大な影響を有するので反ソウエートの各國はポーランドを看板に萬里の長城を築いてゐるやうなものである、從つて盟主としての意稱を贈りソウエートを牽制せしめてゐるのである、ロシヤの赤衞軍は常備八十萬鐵道守備其他で百二十萬と稱し武器は歐洲大戰に使用したもの其の以後の新々器を有し日本よりも武器の點は優つてゐるも劣つてはをらない、唯素質は敎育の普及してをらない爲め將校も下士卒も共によくない、特にシベリー軍は低下する

姑息な不景氣救濟策 成功は期待し難い
政府は民間事業の整理を促進
井上藏相の演說

【東京二十二日發電】井上藏相は二十一日民政黨東海關西聯合總會で世界的不況と日本財界との關係につき左の如く演說した

我が國の不景氣は主として世界の不景氣に起因するから姑息な救濟策の成功は期待し難い、これに反し根本對策としては我が國生產能力にして需要に超過するもの例へば造船業等は能率惡しきを轉業させ殘つたものには補助金關稅保護を與へる等根本的整理が必要で製鐵業も同樣である、根本的整理をせずに漫然關稅保護を行ふのは却つて將來に弊を殘す此の際政府は思ひ切つてある程度迄民間事業に立入り財界、整理を促進する外なしと信ず財界不況對策として政府の財政經濟方針變更說を唱へる者もあるが事は當面の問題だから言ふもの〻如く簡單に行かぬ今日迄の入超は二億一千五百萬圓で昨年より六千萬圓以上減つたが生糸は安ければ充分賣れるから國際貸借はバランスが採れると考へる

母子扶助法の 制定を叫ぶ
內相に決議文を手交 社民婦人同盟の運動

【東京二十二日發電】我が國失業者の數は百萬を突破した、產業資本家の採つた產業合理化、減產擴張、操短繰延べ等と速射砲的經營策に依り失業者の貯水地は益々深さを增すばかりである、最近頻發する貰ひ兒殺し事件、主婦の夫殺し、子殺し、一家心中、母子心中等は殆ど總てが一家の働手である主人や家婦の失業に依る生活難に起因してゐる最近は又朝食を喫はないで登校する學童、辨當を持たないで登校する兒童が激增した、之父親又は母親の失業又は就職口の激減に依ること明かである、以上は失業者自身の重要問題であるばかりでなく愛兒の問題であり母性の問題となつた以上の事實を擱認して社會民衆婦人同盟全國協議會では二十一日母子扶助法制定要求に關する決議文を可決し二十三日赤松恒子夫人等八名が安達內相を訪ひ決議文を手交するのを手始めに全國的大衆運動に依つて促進運動開始を申合せた

鐵道省の 人件費切詰
相當人員整理

【東京二十二日發電】本年度の減收二千萬圓によると言はれて居る鐵道省は超特急の實施、サービス改善等挽回策に腐心して居るが遂に人件費の切詰をなす外策つきて職員の大整理を行ふ事となり東京鐵道局は廿一日高等官待遇二名判任級驛長、助役、信號所長、機關庫主任計卅四名の老朽整理を發表した、これを手始めに各鐵道局にも波及し全國の整理は相當多數に上るものと觀られてゐる

間島支那官憲の 共產黨剿滅方針
聯席會議にて決定

【間島特電二十一日發】間島における五月三十日の暴動事件は支那側でも重大視し既報の如く之が眞相調査及び對日關係視察のため吉林省政府より章民政廳長、王警務處長、趙課長等一行二十四名の特派を見たが、前記三氏は十七日局子街警備司令公署で張市政籌備處長、吉警備司令、孫延吉處長等首腦級と共に軍、政警聯席會議を開催し共產黨取締方針につき協議を重ねた結果

一、省內各縣に軍警を以て共產黨搜索隊を組織し住民の家宅を一齊に搜索して共產黨員を逮捕すること

二、省兵、學校敎職員、學生等に注意を加へ共產黨に加入することを嚴禁すること

三、各地日本領事館及び外國居留民を積極的に保護すること

等を決議し、近くこれが實行に着手すると

社員の預り金 問題となる
神鞭理事が考慮言明 整理すれば年二百萬圓浮く

【東京特電二十一日發】滿鐵の退職者は受取つた退職慰勞金を滿鐵に預金するのでその元金が今では一千五百萬圓、利息(八分四厘)一年百二十六萬圓の多額に達し退職者はこれを擔保に銀行から借り出し利鞘を稼ぐを通例としてゐるが、これにつき株主間に問題とする者出で最近神鞭理事から愼重に考慮すべき旨、言明したが、右の外、社員の自發的貯金(現在八百二十萬圓)に對し八分三毛、身元保證金積立金(現在三千七百萬圓)に對し九分の利息を支拂ひ總計して元金六千萬圓、利息五百萬圓の巨額に達することになり市場利率に比し高過ぎる上に退職社員にまでかゝる恩惠を與へることはどうかと斷然これを整理して尠くも年二百萬圓を浮ばせ滿鐵多難の折これをサービスの改善に振り向けるが良いとの聲も昂く仙石總裁の大鉈をこの方面に振ふこと期待されてゐる

製鋼所問題は 上京してから
けふ伍堂顧問上京

滿鐵顧問海軍中將伍堂卓雄氏は既報の如く上京する事となり廿二日出帆ばいかる丸で出發したが、滿鐵關係者の賑やかな見送りのうちに上京用件に關して次の如く語る

本來なら總裁と一緒に上京の豫定だつたが、こちらにも色々忙がしい用事があつたので遲れてしまつた、まあ一ヶ月位で東京でなければ出來ない樣な問題を片附けてくるつもりだ、それに近く關稅問題の件で仙石總裁が井上藏相と會見する事になつてゐるからその打合せにも是非顏を出したいと思つてゐる、昭和製鋼所の問題なぞもまづその後の話で今のところ何とも言へない、要するに製鋼所問題は上京用件の大きいもの〻一つだが、これはあちらに行つた上でないと問題にならぬ

上京委員運動
拓相に陳情

【東京特電二十一日發】昭和製鋼所大連上京委員たる石本、小澤、鑄崎の三氏及び金州の加世田氏等は運動本部を麴町區內幸町中央ホテルに設け各方面に諒解運動をなしつゝあるが、二十一日は午前十一時松田拓相を拓務省に訪問して設置場所としての鞍山、大連の得失について關東州內の有利な點を種々陳情するところあつた、又朝鮮側においても同じく同日朝拓相を訪問するところあり滿洲委員に對抗して新義州設置の猛運動を起しつゝある模樣である

太田長官歸任

【東京二十二日發電】太田關東長官は二十二日午後九時四十五分東京驛發歸任の途につく

人事

▲伍堂卓雄氏(滿鐵顧問) 廿二日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲青田勝晴氏外九名(大阪參事會員一行) 同上
▲石本憲治氏(滿鐵上海事務所長) 廿二日出帆奉天丸にて上海へ
▲レムビツチ氏(ザリヤ紙主筆) 同上青島へ

天氣豫報

廿三日(南西の風)晴一時曇

滿潮　午前七時四十分　午後七時四十分

干潮　午前零時五十五分　午後一時五十分

日曜閑話
世界の中心に居る
中道を行くが矢張り眞理

スピード時代、尖端時代、猫も杓子もトップを切ることが時代の流行とある。決して惡いことではない。生存競爭の世の中、適者は生存し不適者は落伍する。極言すれば弱肉强食の世の中だ。滔々たる流行に遲れんか、それこそ時代の敗北者、すくなくとも世間から忘れられる恐れがある。社會の記憶に牢として忘れざらしめんがためには、やはり時代の尖端を行かねばならぬことになる。

× ×

が併し眞は前にも後にも、また右にも左にもなく、むしろ中央に發見されるのではあるまいか。支那の昔にも中庸などいふ熟語が出來たくらゐで、遍せず、片よらぬといふ平凡なところに、人間生活の眞理が存在するのであるまいか。慢々的で遲れるも困りものだが、さればとて尖端を行くことは危險この上もない。飛行機や自動車に危險の伴ふのも全く打ち消すことの出來ぬ事實である。尤も少しくらゐの危險を恐れるやうでは進步も發展もないことになるが、そこに中庸を得るといふところに穩當さがあるやうである。眞理は常に平凡の裡に存在する。

× ×

記者の友人に少し風變りの男がある。彼は曰く、オレは如何なる場合でも悲觀もせず、また樂觀もせぬ。常に世界の中心に頑張つてあるのだ。大隈伯は孔子の弟子だといつてゐたが、オレはソクラテスの弟子だといふ男で、哲學も勉强するが、また科學方面にも相當首を突き込んでゐたのであるから地球はコロムブルの發見以來、圓いものと相場が極つてゐる。地理が圓であるなら、その地球の何處に居つても世界の中心に居るといふ常識なのであるらしい。ところが、この先生は、この原則を人間生活の現實に應用し、何時も世界の中心に居るのであるから、樂觀する必要もなければ、また悲觀するにも及ばぬといふのである。少し理窟に過ぐるやうではあるがその通りではあるまいか。

× ×

世界の人類が悉く尖端を行つたとしたら、それこそ問題ではあるまいか。如何にスピード時代だからとは申せ、餘りに速力を出し過ぐると小さい世界を飛び拔けるやうな危險がないでもない。中堅とか中心とかいつて、眞理は常に中央にあることを忘れてはならぬ。姑息に流れるのも面白くないが、さりとて突飛なのも危險である。殊に誰れも彼も尖端を、尖端をと走るのは危險この上もない。しかもナンセンスで、ただスピード時代、尖端時代と無目的で飛び出すのは、無價値のことではあるまいか。

× ×

泰然自若と腰を拔かしてゐたなどといふのは困るが、譯もなく流行を追つて尖端、尖端と宙宇を飛ぶのも考物ではあるまいか。大地に堅實な步みを運ぶことが安全第一であり、有意義、有價値なことではあるまいか。人生觀など〻喧ましくいはずとも根なし草は枯易く、時代に根柢あらしむることが肝要である。オレは世界の中心に居るのだといふのは、必ずしも傲慢不遜の言辭とのみ貶すことは出來ぬと思ふ。一時、功成つて草卒枯るといふこともあるが、巧は拙の奴となるといふことも眞理であり、ある種のエキスパートなどは社會の犧牲などといふことも肯かれ得る事柄であらうと思はれる。(一記者)

新興の港・甘井子
名乘りあげん モダン港の序曲
新興の歌ごゑもいさましく 一本立の日を待つ

（A）

ミナト、甘井子、彼は今あしたを約束され彈づむ歡びに息づいてゐる、スク〳〵と延び切つた四肢に三〇年型の清新味が溢つて、モダーンミナトのあけくれは新興の歌も勇ましくワイヤーの螺旋とショベルの尖鋭とハンマーの唸りにやがて來るべき一本立ちの日を待つてゐる、七月一日それは彼が獨身となつて世の中に名のりを高々とあげる日だ、その日を前にして、むかし驟馬の嘶き聲がロシヤ町波止場に屆いたといふ古老の記憶を遠い過去の想ひ出に塗り潰してしまひ、今、ボタン一つで動き廻る機械化され電氣化されたモダーン甘井子港と姿を變へたのだ

◇　◇

「ピーヤーカー」「ホッパー」「ローダー」「ベルトコンベーヤー」「トランポーター」エトセトラ…甘井子の街はこれ等の鐵易な機械專用語で覆はれてしまつてゐる、灰色の巨大な鐵材の縱橫によつて組立てられた近代機械の冷めたい横顏「石炭積込機」「カーダンパー」みゝずの樣に延ばされた數十餘のレールの物靜かさ、昂然と聳え立つ白堊の司令塔、ブリッヂトランポーターの偉大な容姿、點立する投光機の凄じさこれらの數々は甘井子の堅い素描に外ならない

◇　◇

さて諸君！「ツリランプ」とは何か？「ツリチヨウチン」とは何か？、港に女はつきものよ……、甘つたるい新興の港の情趣に囁きぬ興を呼ぼうではないか、鐵材の蔭に秘められた戀の色彩り、斷髮美人のなやましき嬌笑、ビーズののれんをくゞるとプーンとくる關東煮の郷愁、それら柔かい線が鐵と石炭とによつて構成された甘井子の街に女の髮の毛の樣にベッタリ纒はりついてゐる、大連の街の灯をみながら酒盃をふくみ「イルミネーションの樣ね、あゝ姿なんだつてこんなところへ來たんでせう」オンリー十分間、ポッポ船に搖られゝば大連といふ都會の空氣が幾らでも吸はれるといふに妓達はいつの世にも仰々しい

◇　◇

かくて「大連が百萬人の人口になるとき甘井子は一番北の端になるわけです」といはれる甘井子、これから解剖の筆を進める【寫眞は甘井子埠頭の遠望――上――この地の元締め甘井子埠頭ビル】

けふ撫順で開幕の全滿リレー大會
絶好の天候に大觀衆殺到して 熱狂・參加選手力闘す

【撫順特電二十二日發】撫順體育協會主催の全滿リレー・カーニバルは二十二日午前十時より永安臺トラックに於て全滿競技會の大なる期待を擔ひ開始された、この日初夏の風なごやかに吹き絶好の運動日和であつたまた各出場選手も最初の優勝の榮冠を得んものと戰前既に意氣天を衝く有樣である、定刻大連神明高女チームを先頭に撫順小學女生徒大連アスレチック倶樂部、南滿工專、大連商業、オール鞍山、オール奉天、オール長春、撫順小學男生徒、オール撫順の各チームは各優勝旗を先頭に堂々入場式を行ひ中央役員席前に整列「君が代」奉唱についで各チーム代表の撫順中學生一郎選手はボールに大日章旗を掲揚し、續いて久保會長開會の辭を述べ愈々よ滿洲最初のリレー・カーニバルはスタンドを埋める觀衆の熱狂裡に火蓋を切つて落した

▲小學男生徒四〇〇米リレー
一着　永安小學（一分〇秒三）
二着　千金小學三着新屯小學
▲小學女生徒四〇〇米リレー
一着　千金小學（一分〇秒三）
二着　永安小學三着新屯小學
▲百米豫選
一部A組
一着　岡健次（大連アスレチッククラブ）一〇秒八
二着　今井利建（全奉天）
三着　久保勇（大連アスレチッククラブ）
四着　式根彪之助（大連アスレチッククラブ）
同B組
一着　小須賀賢一郎（大連アスレチッククラブ）一一秒二
二着　田中盛一（全撫順）
三着　中村茂（大連アスレチッククラブ）
四着　光野定（全奉天）
二部A組
一着　多田太郎（育成）一一秒二
二着　中島克己（長春）
三着　坂田恒夫
同B組
一着　松崎勇（長春）一一秒六
二着　菅原爽雄
三着　肥田（安東）
同C組
一着　赤城朗
二着　末永茂正
三着　田中（安東）

高松兩宮 パリ御歸着 廿六日倫敦へ

【パリ二十一日發電】高松宮、同妃殿下には二十一日バーゼルよりパリへお歸りになつた、新任の芳澤大使は停車場にお出迎へ申上げた兩殿下はいよ〳〵二十六日ロンドンへ向はせらる

江連力一郎 明治節に假出所
司法省の肚漸く決る

【東京廿二日發電】海賊船大輝丸船長江連力一郎（三）は殺人罪で懲役十二年に處せられ目下小菅刑務所の模範囚として服役、殘期刑一年六月に及んでゐるので先般來刑務所當局の間に假出所說が擡頭してゐたが同人の假出所については吉田所長も深甚の注意を拂ひ過日司法省へ向け許可申請を提出し司法省でも慎重審議の結果、來る十一月三日明治節當日午前六時半に假出所を許可することゝなつた、司法省當局が江連を明治節當日の早朝假出所せしむるに決定したのは國家的祭日に出所せしめ皇恩の廣大なるを知らしめ、且つは今後改悛を誓はせるに最も時宜に適し有効であるため明治節を選んだものである

石本所長赴任

今次の滿鐵職制改正によつて情報課長から上海事務所長に榮轉した石本憲治氏は廿二日出帆奉天丸にて取敢ず單身上海に向つて出發したが、埠頭には新聞通信關係者、滿鐵社員並びに支那側要人の見送り多く頗る賑はつた

突如、外務省で判任官廿名を馘
人件費節約のお手本を示す タカをくゝる古株連

【東京二十二日發電】緊縮內閣の外務省では二十日書記生より古參判任官を二、三人副領事に任命してその儘馘首したのを手始めに、二十一日突如判任官約二十名を一齊に馘首して人件費節約のお手本を示した、驚いたのは從進の道を開いてゐる古株連だが外務省人事行政の行詰りが兎角噂に上つてゐる折柄だとて他省までには及ぶまいといつてゐる多勢の聲の朝大使は多寡をくゝつてゐるといふが、さて幣原外相の胸の裡は如何であらうと噂取り〳〵である

日曜と好天氣に臨時競馬賑はふ
―けふ午前中の成績

臨時競馬の二日目、二十二日は日曜、加へて絶好のレース日和、朝のうちよりファンはどし〳〵と星ケ浦競馬場目指してなだれ込む、午前中に四競馬を行つたが鬪れる樣に人氣を煽つた、午前中の勝馬及び配當は左の如し

▲第一競馬（繋駕速歩）三千二百米、第一着勝會（山下）八分十五秒一、第二着東山、第三着千里（配當八圓七十錢）
▲第二競馬（春抽）千六百米、第一着有明（堤）二分十三秒四、第二着白眉、第三着白金（配當七圓）
▲第三競馬（各抽）二千米、第一着豐（內田）二分四十二秒四、第二着春日、第三着羽衣（配當十五圓四十錢）
▲第四競馬（新古呼）千六百米、第一着松島（內出）二分六秒四、第二着月星、第三着ナシ（配當十四圓）

浦高學生新聞 編輯員を停學に

【浦和廿二日發電】浦和高等學校は廿一日同校の學生新聞浦高時報編輯員文科學生二名に一週間の停學を命じた、新聞禁止の前提と見られる

名勝の木曾川兩岸を 天然記念物に指定する

【東京廿二日發電】文部省は名勝木曾川兩岸の草木岩石が年々伐採または切り取られて將來その風致を毀すおそれがあるので、兩岸から一里の巾にわたり天然記念物指定をなす意向で調査中である

差入れ辨當を貪り攝り 人もなげなる高鼾
留置場に一夜をあかした林芳治 けふ取調べ差控へ

廿一日午後大連署で捕縛され同時に藤井司法主任より一應の取調を受けた南山寮の殺人および殺、未遂犯人林芳治（三）は、訊問が濟むと同夜はその儘薄暗い留置場に繋がれたが、逃走中は滿足に食事も攝らなかつた事とて頻りに空腹を訴へ警察よりの差入れ辨當をむさぼる如く一粒の飯も殘さずペロリと平げた。而して逮捕された安心と山また山を驅け廻つた疲勞が一時に出たものか大の字に仰向けとなり傍若無人の高鼾をかきグー〳〵熟睡した。併し二十二日は取調を控へたが、林はソンナ事に無關心で眠りつゞけてゐる、なほ林の盲貫銃創は一週間位で全治の見込みであると

監視の警官隊 學生代表を檢束
學校側と會見も要領を得ず 日大事件更に惡化か

【東京二十二日發電】日本大學各部學生代表高木、增田、永田ほか一名は二十一日午後七時半學校側代表を訪ひ提出した二十ケ條の要求につき回答を求めたが要領を得ず、學生側の要求した顚末報告學生大會の開會をも拒絶したので學生代表は引揚げたが、校門口に監視してゐた西神田署警官隊は有無をいはさず四名を檢束し增田以外を留置してしまつた事態は更に惡化の模樣である

銀翼を連ね 戰鬪機奉天着
東北省に貸與の三臺 殘る六機の空中輸送は未定

【奉天特電二十二日發】わが陸軍から東北側に貸與する陸軍戰闘機のうち戰闘機三臺は平壤飛行第六聯隊將校操縱し今朝九時平壤發、途中新義州でガソリンを補給し十時十分銀翼を連ねて大東門外東北航空隊飛行場に到着した、殘餘の六臺の空中輸送は未定である

哈大YMCA 對抗競技
日取り決まる

既報二十一日夜着連したハルビン露國YMCA運動部と大連YMCAとの對抗ゲームは左の日取りにより舉行されることに決定した
▲二十四日午後五時半バスケットボール▲二十五日午後五時バレーボール▲同日午後八時ピンポン▲二十六日午後五時半バスケットボール▲二十七日午後五時半バスケットボール（但し一勝一敗の場合）
因にバスケット及びバレーボールは大廣場屋外コート、ピンポンはYMCA體育場で行ふと
はるびん丸　廿三日午前九時港外着の豫定

華語講習所成績

關東廳では本年四月來旅順一ケ所大連五ケ所に支那語講習所を設け銳意在留邦人に支那語を練講しその普及を圖つてゐるが現在の講習生は旅順四十名、大連四百三十二名都合四百七十二名の多きに及び開設以來の盛況を呈してゐると

蠅は恐ろしい殺人魔です
かうして、退治なさい
今津佛國理學博士談

蠅は身體に數十萬の黴菌を附け絶えず、それをマキ散らして、人間を病氣にせむと活動してゐます。その爲人間の平均壽命は、二年間も短縮されて居るのです。かゝる憎むべき殺人魔は衞生上徹底的に退治せねばなりません。退蠅治の方法として從來の取締、蠅取紙、蠅叩き等は、何れも消極的で時代遲れと言はねばなりません。

私は人畜に無害な藥の力で、蠅を全滅させたいと永年苦心研究しました結果、漸く理想に近い、イマヅ蠅取粉なるものを發明しました皆さん、どうか本品で人類の仇敵たる蠅を徹底的に退治て下さい。イマヅ蠅取粉で蠅を取るには、朝掃除の前に室を閉め切つて、極少量まいて置くと、拾分もたてば、

蠅は全部

落ちて死んでゐますから、これを掃き出せば蠅、什器、等を汚す事もなく、最も簡單に取れます。又廣間、工場、大食堂、ゴミ溜等にはポンプ式撒粉器（六十五錢）でまくのが最も便利です。

イマヅ蠅取粉は蠅のみならず、南京虫、蚤、虱、毛虱、油虫、蟻、羽虫、ダニ等にも効力絶大で、尚衣類書籍の虫除、牛馬の蠅蚊除等にも有効な藥で、宮内省始め諸官省でも專ら使用しておられますから、これから

夏の家庭

には、衞生上ぜひ必要な藥です。又本藥を衞生大掃除の時、床並に床下にまけば虫類を根絶し、傳染病の豫防になりますから、公衆衞生の爲實行せられたい。

惡臭を止め

イマヅ芳香油をマケば便所には私の發明しました、イマヅ芳香油をマケば蠅、ウジを殺し傳染病を豫防しますから、便所にはこれをまかれるが宜しい云々……。

右藥品は何れも到る處の商店で販賣してをりますが、品切れの節其他蠅並に家庭害蟲の驅除についての御相談は、今津化學研究所（大阪京町堀通二、電土佐堀八一番）へ御申込になれば、懇切に御相談に應ずる由。

艶色生膽祕譚（150）

伊藤松雄作　河原緑亀太郎畫

辻斬（三）

「親分、愚図々々しちゃアゐられませんぜ」
「うむ！」
「根岸の寮でバッサリ斬られたなア、例の阿蘭陀醫者だときまつて見りやア、かねての目星に間違えはねえ筈、唯腑にもおちねえなア、あの武士でさア」
「血卍の左近よ！」
「さうときまりやア尚更ぢやアござんせんか」
胸の權三がいきりたてばたつほど長太はおちついてくる。彼が胸中にはもう一つとけかねる謎があつた。
「吉原堤の辻斬沙汰、こいつもほうつてはおけねえ」
と、格子が靜かに鳴つた。
「お歸んなせえまし」
妙香と欣彌の二人だつた。
「どうでした、口寄せの婆さんは！」
權三は自分がすゝめたことだから氣になつたらしい。
「はい、おかげさまで」
「出ましたかい？」
が妙香も欣彌も唇をつぐむでゐた。
「やい、よさねえか、おかしな野郎だな、そんな、生口死口何んでも寄せるなんてえ婆アに仇の行衛が判るやうなら、何んで御姉弟がこれまで御苦心なさるもんか、莫迦々々しい」
長太は苦笑した。
「お疲れでせう、お息みなさるがいゝ」
「はい、有難うございます。それに多少の心當りがつきました故今宵は吉原堤へまゐるつもり故、いまのうちに少しやすませて頂きませう」
欣彌が挨拶をすませて立かゝるを權三はとめた。
「吉原堤へその仇って野郎が現はれるとでも、婆アが云ひましたかい」
「いや――」
欣彌は當惑した。
と、長太までが眉をひそめて云つた。
「吉原堤はよしになされ、近頃毎夜かつゝけて、ぶきみな辻斬が現はれるてエ話でさア」
「えッ？辻斬、あの吉原堤へ？」
欣彌は眼を見はつた。
「大事なお身體だ、とんだヒョーキン者に傷でもつけられちゃアとりかへしがつきませんや」
「いかにも――」
が、妙香と欣彌とは妖婆お力の言葉がいまさら裏書きされたも同然、いよいよ晝の中身體を休めておいて、日暮れから堤へ出かけて見る考へはきまつた。
「いろいろありがたう存じます」
二人が二階へ上ると再び權三は言葉をついだ
「それに親分、例の火定修法つて、え怪しい坊主、あいつも愈々近いうちにやつつけるらしうございますぜ」
「ふうん！」
「ぢれつてえなア、一體どうするつもりなんですい！」
「まア、待て、どうで俺たちの手に餘る大捕物よ、陣張らなきやア手も足も出ねえ、まさかにこゝまでつきとめておいて、うまうまヅラかられちやア恰好がつかねえ、その手順を考へてゐるのよ」
長太は瞑目して考へふけつてゐたが、
「一寸出かけてくらア」
いきなり立上つた。
「どちらへ？」
「うむ、どこでもいゝ！てめえもやすんでおくがいゝぜ、今後にも一骨折って貰はねばなるまいて」
長太は下居かんで履物をつッかけた。
捕物陣の手管定めらしい。

◇◇海水着の女優サン◇◇

惱ましい夏の裸體宣傳のトップを切つて帝キネ・スタヂオからイツトを郵送して來ました、寫眞は林檎に噛りつく歌川八重子とバナナに食慾をそゝる鈴木澄子

キネマと演藝

「この母……」の出演者　近く來連か

あどけない容姿によつて賣出した日活の花形女優瀧花久子の最近の藝風は一變して性格女優として著るしい進境を示し目下本紙連載中の「この母を見よ」に主演し倭子に扮して注目されてゐるが、近く來連する日活幹部俳優の一行に加はり時に「この母を見よ」の主演者として挨拶のため來連するやも知れない、尚「この母を見よ」に祥子に扮してバンプ役を演じてゐる入江たか子も亦、來連組の候補者で、瀧花久子と入江たか子のうち何れかに決定すべく「この母を見よ」の出演者が七月中旬頃に來連するものと見られてゐる、尚これ等の用件を帶びて大日活館主長次郎吉氏は廿二日出港のうらる丸で京都へ赴いた

締切期日が迫る　興味を唆る懸賞募集　この母……上映期と時代劇？

本社演藝部主催の日活現代劇時代劇「この母を見よ」の大連上映期日及び同映畫上映週間の日活時代劇題名の懸賞募集は讀者ならびに映畫ファンの興味をそゝり續々として回答が到着しつゝあるが、果して「この母を見よ」は何月何日から大連のスクリーンを飾るやファンの心をそゝる疑問となつて締切期日も愈々迫り上映期日近しと觀察され日毎に回答が激増しつゝある、また時代劇は依然として大河内傳次郎と片岡千惠藏の主演映畫が接戰をつゞけつゝあつてこれまた大きな興味と疑問のうちに解決の日が近づき當選の榮冠は誰？締切期日は來る廿五日限りであるから奮つて應募されたい

懸賞募集

問題　日活映畫『この母を見よ』の上映期日？『この母を見よ』と組合す時代劇の題名？

締切期日　六月廿五日限り

賞品　一等賞金側懐中時計（一名）二等賞金側腕時計（一名）三等賞クローム側腕時計（一名）等外大日活入場券（百名）

主催　滿洲日報社演藝部

耳

東和商事から來てゐる秋本君、歳は若いが流石にしつかりしてゐると意味あり氣に感心してゐる向きがある▲ソプラノ歌手の關鑑子さん、赤い唄から尾行がつくやうになつたが▲何とも思ひませんか、殊に田舎に獨りぼつちで行く時は安全第一です、こんなお婆さんになつてもね、と涼しい顔▲また高勇吉クンとは音樂學校の同期生だけに遠慮のない二人をならべて▲掛合ひ漫談をやつたら斷然面白からうと言へば何を言ひだすかわかつたものでないと許りヘティー夫人がイケマセンく

大連　JQAK

六月廿三日午後七時卅分
▲ラヂオ體操（イ）初心者練習（ロ）熟練者運動
▲レコード管絃樂「動物の謝肉祭」（サンサーンス作）（イ）道入部と獅子王の行進曲（ロ）雄鷄と雌鷄（ハ）驢馬（ニ）龜（ホ）象（ヘ）カンガルー（Ａ）水族館（Ｂ）長耳の扮裝人物（Ｃ）森の郭公（イ）鳥（ロ）化石（ハ）白鳥（ニ）ピアニスト（ホ）フイナーレ「無言歌」（イ）短調「チャイコフスキー作」（作品四〇ノ六）
▲浪花節（橘中佐）白川小舟

東京　JOAK

六月二十三日午後八時
▲ラヂオドラマ「梁」武田良治作　配役、新三郎（林幹）佐太郎（坂本猿冠者）おせん（村田米子）指揮（石川啓一）效果（稲田辰雄）
▲常磐津「加賀見山七ッ日」淨瑠璃　常磐津勘式輝、同勘式齋、三味線同勘右衛門
▲連續講談「富藏と藤十郎」第一席　神田伯治

短歌の一動向
―主に新興短歌について―
高尾雄峯

短歌といふ、日本人のもつ傳統文學すら、今は新しい時代の動きの前に、異常の昂奮と動搖を來して來た。

今歌壇に少くとも三つの潮流を明かに發見することが出來る。千餘年來の傳統から脫出し得ぬ、保守派に屬する所謂萬葉集派と保守傳統の羈絆から幾分か逃れる事の出來た寫生的な從來の口語歌風と今一つはこの總ての束縛から脫却して起つた新興短歌の一派である。

新興短歌は初めプロレタリア、イデオロギーの標語の下に集團を作つたものと考へられる。勿論數から言へば少數であつてこれを從來の歌風に導かれてゐる者とは到底比較にならぬ數ではある。が、然し時代の新傾向として問題づけられた事は注目すべき事である。

即ち所謂新興短歌が從來の定形律五七五七七の形を全然無視して生れ出でたが爲、在來の「和歌」といふ名稱に閉ぢ籠つてゐる多數歌黨のある中にありて——短歌は何處へ——即ち餘りに動いて、餘りに行き過ぎて、新興短歌が和歌の批評は大凡そ非難に傾いてゐるやうである。內容を形式の揚棄といふことをそのスローガンに傾けてゐるからである。短歌が短歌として存在するのは、そこに定型があるからで、この定型は永久不變のものである、これを變更することは新らしい詩の創造であつて決して短歌そのものではないといふのである。

これに對して石榑氏は定型の變改を行ふのではなく、揚棄するのであると云つてゐる。

斯くて新興短歌をひつさげて石榑茂氏は昭和三、二、の「短歌雜誌」に「短歌革命の進展」と題して從來の短歌にたてついたのである。

いふまでもなくその主旨とするところは前述の如くプロレタリアイデオロギーの標語の下に集團を作るにあつて、論議の對象は例の從來の寫生的な歌風を導く「アララギ」であつた事、初め「アララギ」の反動化を指摘して、その打倒に目標をおいたことか稍沈滯の歌壇に一脈の淸風を注入した觀があつた

けれど同論文は齋藤茂吉氏の好敵となつて此處に一般歌壇の注目を惹いて、論難は連續した、結局生れた許りの研究中だつた新興短歌を代表する石榑氏は老獪な齋藤氏の論鋒に射すくめられた樣な觀はあつたが、それはとにかく沈滯の歌壇に一石を投じた事だけは、吾人の注目に價すると思ふ。

五七五七七の定型から脫却した事は、外に飛び出した事に違ひない、何と言つても在來の保守的和歌のみでは餘りに狹隘に過ぎその上その道に這入る事が素人にとつては困難である。

此の意味で新しい生れた許りの新興短歌に對して一般人も、又保守派の人達もしばらく默して、何處まで新鮮味を表はす事が出來るかを見てやる事である、そして自由な外野を與へた各傾向の和歌に對して、靜觀の後、全體に對してうんと攻めるがいゝ私は此處に攻めると云つた、今攻めると言つた事は從來の型の中に這入つて歷石をかける意味ではない。此事は吾人の深く研究する事であると思ふ

然しながら、一般に歌はれてゐる樣に、新興短歌が重大な要素として入約せられてゐる樣に、たゞ單に、プロレタリア、イデオロギーを全てに有せねばならぬとするならば、それは歌にとつて、藝術にとつて最も恐ろしい事である。嘸、これをスローガンに掲げる式ならば、それは破壞である。

新興短歌の行くべき道は自由詩であらねばならぬのに、自由詩はブルヂュアジーの詩形であるといふのは、自由詩か自由主義の詩形であるからでもあらうか、こゝに甚だしい矛盾がある。新興短歌はその詩形が變化あり、自由にして複雜なるに加へて平易と大衆性を有する事により、內容を充分に盛りこなせる事によりて生ずるものと見られる。

今まで讀まれた此の種の短歌が(代表的新興短歌)一向短歌らしい氣持を表はしてゐないと同時にたゞ、それが短句又は短文の樣な氣持が第一印象として殘るのは矢張り新興短歌をプロレタリアを標準として歌ふた結果ではあるまいか、それは陰慘な言葉を綴つたノートブックの記錄みた樣なものではあるまいか。

面白味はあつたとしても何となく思案の結果の成物で、たどたどしい記錄の一綴りの樣に見得られる成程その人の置かれる階級に依つて、自らにしてその表はれるところのものは異なる。然もそれは藝術である以上、自らありのまゝの觀察に依つて表出さるべきで、自己の爲めにする外部的な思想やイズムを以て强制的に左右すべきでは斷然ない。

要するに主義は主義であり、藝術は藝術であり、手段は手段であらねばならぬ。私達は此等に對して觀ひたい、幽明境を異にすると言へる短歌迄も主義化す勿れ、と、

スローガンを强ひて短歌の中に押し込まないでスローガンはスローガンとして歌と云ふ樣な觀念はふり落して無產生活章とか無產派語錄として短歌の區域から分離してもらひたいと思ふ。

この利己感情をふりすてたなら「形や名目はどうでもよい、實質が詩であり、歌であつたならば、人は翕然としてこれに從ふ時があると思ふ、例へば和歌から俳句が分離した樣に——。

保守から離れる事は危險ではあるが途中に於て行き詰る事もあらう、だが又それを打ち破つて行く——。

だが、その一方にあつて、全然行詰りと云ふ事を意識せざる一派は、靜かに非藝術的に取り殘されて行く、そして益々硬化して行く

現在發表された作か、詩として讀むに堪へるか歌とするに良いかは私より諸子の第一感にまつとして、試みにいくつかの作品を擧げてみやう。

月夜の工場はいつまでもいつまでも夜業の燈つひにあの中に芽ぐみゆくもの　石榑茂

さびしいと思ふと何か白い花が木にたくさんさいてゐる　大熊信行

誰一人本當の事を敎へて吳れない寂しさの中に私は育つた　五島美代子

素足に土を踏むよろこびかこの幼子をどうするかを要よ見のがすまい　楠田敏郎

きたない字がタイプライターでうち出され行儀よく美しい列をつくつてくる　浦野敬

われにかへりし時つめたきなみだ頰をつたひゐき　宇都野研

豐芦原瑞穗の國に生れてきて飯がくへぬとは嘘の樣な話　安成二郎

俺の靑春は過勞と粗食のなかに日の目もあはずしぼんでしまつた　伊澤信平

もとより此等は發表された中の極少數を抄出したに過ぎぬ、各種の傾向も分類せず、離然と置いた解であるか、これを詩として讀むに堪へる作品となし得るであらうか、取材の上に相違があつても、彼の死んだ若山牧水が曾ての日の名「言さうですか歌」の範圍を出てゐない事である。

幸ひにして滿洲短歌界に於ては「合萠」にその一端を割いて「新光集」の名の下に新興短歌の發表する事は喜ばしい事である。而も同誌の新光集の新興短歌が創始の思想たりし、イデオロギーを全然含有する事なく、豐な氣持の良い作を發表し、知らず知らずの間に新興短歌への渴仰と道とを敎へ喜んでくれたことゝはばしい、試みにその二、三を發表して見やう

ほんの輕い氣持で等とは嘘の骨頂胸にはすつかり膳立が出來てる

桃色のとても素敵な爪の色だよ之にも文句のあつた昔の思ひ出　本間倭文子

唇がぬれて光つて居るそこひらの男をんなの交際ぶりだ　關秀穗

こゝにも亦安住のできない俺なのかみろ飛行機が歪んだ窓を通るぞ　志磨述

等の作品があるが前の作と比べたら大きな違ひのある事を發見する事が出來る

形式の飛躍は常に感じられる短歌に對しての不滿、歌ひ切れぬといふ感じを救ふ事と成るだらう。斯くて吾人は新興短歌の使命を知る。

萬葉良し、口語歌よし——一步進んで新興短歌とまた異る種々の傾向が生れる事も許すべきであらう。自由に、自然觀念の中に己を見出して行く作家があつてもよい事である、作家の個性を磨いて行く道となれば良いのである、誰もが自己の個性を打出して行くが故に、全體としては多種多樣に岐れる譯である。

新興短歌は外見的には短歌らしくなく、然しその精神に於て一層短歌の光りつめたものになるだらう。新興短歌は外の道には行かない、だからプロレタリヤの意思表示は成らぬのだ。

さあれ新興短歌の前途は多難である多難であればこそ私共は古いものに理想をかけず、新しいものを期待するのだ。

附記——拙文に對しては多分の論難の餘地もあらう、併し私はこの一章によつて沈滯の滿洲短歌界に新しい光を見出す事を信じて書いたのである。暴言多謝

短歌批評に
―池內赤太郎氏へ―
(下) 金田武一

——第一首「家遠く鷄は遊ぶ頃はひか」の感慨が主であるならば第四句はまるで他所言である。反對に「柳のみどり際立ちて見ゆ」が主となるものならば第一二三句が他所言を云つてるとになる——と氏は云つて居られるが、上句が下句に對して「頃はひか」なる時間的制限を與へてゐることだけでも下句が主であることは自明の理ではないか、だから

——柳のみどりする下に鷄の遊んでゐるさまを現はすならば云々——以下の評者の老婆心は蛇足し言である。

——「墻川路行き通ふ道」とはどう云ふことか。第五句「雨やみにけり」も突然で一首に何の効果もせない「道ありにけり雨やみにけり」では歌の調をなさぬ——

これに就いては、作者の深い詠嘆を僕も認めるが、然かし、三十一文字の外に「こうしては歌の調をなさぬ」といふ規則があるのだらうか。此處でも、僕は評者が如何に形式主義者であるかといふことを痛切に否むことは出來なくなるのである。

山を負ひて展けし村の閑寂さよ梨の白花今ざかりなり

に於て——第三句が不要である……「寂しさよ」と云つてしまつては內に籠るものがなくならう——と云ひ

四月のをはりの一日梨の花咲き散る峽に遠く入りつゝも

に對し——第一二句が何の効果も擧げてゐない——と云つて居られる。氏は多分「四月」或は「閑寂」といふ用語に拘泥して居られるのであらうが、そんな形式論は別として、この場合、これ等の直截な用語が、韻律の上から云つても歌全體の氣分の上にも何等の曖昧を來して居るとは想はれない。

これは餘談だが、齋藤茂吉氏別會の席上で加能作次郞氏が

この俺に歌を作れといふけれど歌は作れぬ無事であれ茂吉

と詠んで互選の結果斷然一等に入選したといふ。

要するに、格調——形式——もさることと乍ら、內容の大事なことは言を俟たない。猶

——作者(八木沼氏)は一讀に佳作がそんざいで、只數だけ無暗に多く並べたてる嫌ひはないか。惜い事だ。今少し寫生に心を注ぎ調にこゝろ置く敬虔さを持つて欲しい——

と、いとも莊嚴に敎へて居られるが、この忠言も、作者の實際を知る者にとつては、無禮失笑に値するだけである。

なぜならば、北原白秋氏も口を極めて賞めたるが如く、作者の作歌態度たるや實に敬虔そのものであり、その「步兵的」精進はすでに定評あるものである。しかも多作と思はれる程の一首一首が、盡く鏤骨碎身の洗禮を受けてゐることは僕に、書店での立ち讀みでさへ一種の重苦しい壓迫を覺えさしたのでもよく解る。だが、その苦吟の跡が今、評者をして、ぞんざいに歌つたが如く思はしめるならば、それは一面、作者の成功とも見るべきものであらう。

扨、僕は縷々として、宛ら八木沼氏禮讚の如く書き並べてしまつたが、要するに、氏の八木沼氏に對する批評が當らざる如く、僕のこの不作法なる一文が又、池內氏にとつて誤りならん事を祈つて擱筆することにする。(妄言死罪)

新藝術派とは何?
(下) 西村眞一郎

また雅川氏は、プロレタリア文學は政治的ヘゲモニイ下にある文學であるとし、之れを政治的價値と藝術的價値との二元的價値を有するものと解して、藝術派の立場は、之れら政治的價値を否定すると從つて强權主義をも否定すると云つてゐる。

だが、プロレタリア文學に政治的價値と藝術的價値との二元價値があるだらうか。なるほど、一九二九年上半期に於いて、平林初之輔氏が政治的價値と藝術的價値との問題を提出して、氏一流の懷疑を公開したのではあつたのだが、これは平林氏一個人の懷疑であり平林氏本來の姿——プチブル性をいかんなく暴露した以外には、何ら問題とするに足るものではなかつたのだが、偶々これが問題になつたのは、平林氏が曾て、プロレタリア文學の先驅者であり、評論界の大家(?)であつたゝめでもあらう。そして未だ淸算し切れない文壇的惡癖の故に、勝本淸一郞、大宅壯一、川口浩、小宮山明敏の諸氏が、之れに應戰し、更に、藏原惟人氏の「マルクス主義批評の旗の下に」三木淸氏の「歷史的意味の變化の原則」中野重治氏の「藝術に政治價値なんてない」等々が夫々の機會に發表され、とにかく平林氏の說が唯物辨證法的でないばかりか、一九二六年に既に、淸算し盡されたかの福本イズムの泥

沼に陷落しつゝあつたことが、明確に示摘されたのであるが、それにも拘らず、平林氏の二元的價値は藝術派及びブルジョア文壇側に執拗な歪曲となつてこびりついてゐるのである。だが、プロレタリア文學は、どこまでも、一元的價値しか持ち得ないのである。この點藝術派と我々との見解は一致してゐるといふものだ。但し、プロレタリア文學及び藝術はプロレタリアートの生活必要によつて生れたものである限り、プロレタリアートの生活形態、感情思想意慾を表現するものであることは云ふまでもない。それ故にプロレタリア文學及び藝術の價値は、プロレタリアートの生活必要を如何に、形象のなかに具體的に表現したかの尺度によつて決定されるのである。この意味をブルジョア批評家及び藝術派諸君は政治的價値と誤認してゐるのである。

このことに就いて瞻豆氏は面白いことを云つてゐる。「藝術に政治的價値なんてない。それは政治に藝術的價値があるとか、黃金に營養價値があるとかいふのと同じやうな馬鹿げたことだ」と。(世界の動き——六月號)

それ故に、私は藝術派といふ名稱そのものすら、不可思議に思ふものである。何故に、彼らが、かく唱へなければならなかつたといふに、それはプロレタリア文學をイデオロギイの文學であると解したゝめでもあらう。なるほど、曾てのプロ文學はイデオロギイが、あまりにも露骨にむき出しのまゝ投げ出されてはゐたが、それは建設期にある文學の當然陷る幼稚さ不完全さを示してゐるものであつて、決して、プロ文學はその不完全さのまゝ固定化し停滯してゐるものではない。プロ文學とても、やはり、藝術の一般的本質である形象化、形象に依る思索を肯定してゐるものだ。即ち論理的、抽象的概念ではなくて、具體的、形象による表現であるのだ。だからプロ文學、換言すればマルクス主義文學とても藝術であることに何ら變りはないのである。それ故に、私は藝術派が、藝術と魔術とを混同してゐなければ幸ひだと思ふものである。試みに、久野豐彥描くところの最近の小說を見よ、何を描いてゐるのやら、藝術派諸君すらわからないと、こぼしてゐるしろものだ。

更に强權主義を問題にしてみよう。雅川氏はマルクス主義を以て强權主義と解してをられるが、一體、プロレタリアートの世界觀であるマルクス主義に强權的なものがあるだらうか。プロレタリアの生活條件に强權的なものが存在してゐるだらうか。强權的なものこそブルジョアジイの獨占になつてゐるではないか!それとも、雅川氏は、社會による生產の統一、組織化を以つて强權と解されるのか世に、これぐらひ馬鹿げた見解はあまり多くあるまい!レーニズムの鐵の如き規則ですら、プロレタリアの生活、從つて全人類の幸福獲得のための强制ではないか。かゝる過程を經てのみ、人類の眞の幸福が得られるといふものだ。

雅川氏は文學は「反映の切實」であるといはれる。だが、單に「反映の切實」でありとするならばブルジョアジイがプロレタリアートを搾取することも、武藤山治が三百萬圓の退職手當を貰ふことも東京市電の爭議も、又、山梨、天岡、小川、小橋等々の行動も、みな現實の反映である。だが、我々は、これら一切に關して客觀的批判の必要に迫られてゐるのだ。單に文學が之れらを反映するのみならば、文學はあまり社會にとつて必要な存在ではなくなる。だが、我々は之れらを客觀的批判的に形象化し、人間生活の指導に役立せる(この藝術の機能をも、藝術派及びその朋友は政治的價値と解するのか?かゝる無智に對しては我々は何も云ふべき責任を持たない)それ故に我々は藝術派よりも更に、文學藝術を過重評價してゐるものである。

滿洲日報

社説

盜犯防止法と關東州

犯罪も環境によつて變化する。夏には夏らしい犯罪があり、多には多らしい、而して春、秋により犯罪の形式を異にする。而してまた文明の進歩につれ知能犯の多いことも否定すべからざる事實である。殊に經濟界の動搖により人間社會生活の根柢を不安に陷るゝの結果、その隙りを喰つて種々の犯罪を發生する。そこで犯罪の發生は個人にありや、または社會にありやなどの議論も起るが、されば社會から犯罪發生の原因を一掃することは容易のことではなく結局、直接的に犯罪者個人を懲治するより外に方法なしといふことに歸着する。勿論、一般社會人としては共同の責任として相互に犯罪の發生を防遏せねばならぬが、まづ當面の問題として犯罪者を懲治すべく適當の方法を講ぜねばならぬのである。この防犯の共同責任者として社會人は相互に犯罪の發生に對し共同の戰線を張らねばならぬのである。而して同時に個人の被害防止策としての正當防衛の範圍内における行爲の自由を相當のところまで承認せねばならぬ。その結果「盜犯防止及び處分に關する法律」となつて過般の特別議會を通過したのである。

◇

日本内地にありては去る六月十一日より右の盜犯防衛法の實施を見るに至つた。無論、この關東州にありては未だ適用されるに及んでゐないものではあるが、この關東州といふ特殊事情の下にありては恐らく右の如き精神を有する法律の必要なることは内地以上であらうと思はれる。不景氣に對する犯罪の如きは一般的であるとしてわが關東州は支那浮浪民の定着性なくして移動する焦點に位し、これが取締りは頗る困難なるものとされてゐる。勿論、支那内地におけるが如き無警察狀態でないだけに草賊の横行するが如きは絶無であるが、時に兇賊の被害なしと限らぬのである。また日本内地方面よりも相當、兇惡なる犯罪者の潜入することなしとも限らぬ。これらに對し正當防衛の精神、意義を明確にし個人の被害を減少することに努力せねばならぬ。非文明國にありては生命や財産の價値が低廉である。併しながら治安の恩惠に浴されてゐるのであるから物騷なる關東州の如き特殊の事情の下にありては正當防衛權の保障によつて貴重なる生命財産の安固を期せねばならぬ。

◇

過般の特別議會において渡邊法相は盜犯防止法の提案理由を説明して曰く「刑法正當防衛の規定(第三十六條)は措辭抽象的であるために其適用範圍に付き解釋上の疑義がありまして被害者に於て特定の處置に依り自衛を完うするに躊躇せざるを得ざる憾みがあるのであります。茲に於て法律上具體的の條件を指示して云々」と。要するに盜犯防止法における正當防衛權は刑法に規定せる正當防衛權より獨立せるものでもなく又これを擴張せんとするものでもなく單に解釋を明確にすることを以てその立法精神を徹底せしめんとしてゐるものゝやうである。併しながら本法は全く從來の學説判例によつて正當防衛權成立の規準を示したものといふよりも寧ろ社會情勢の變轉と四圍の具體的事象に適應して法の解釋は行はるべく、又かくしてのみ法の妥當性が發揮せらるべきことを明にしたものといふことが出來やう。從つて本法に例示してあるところの條項は決して正當防衛に關する全部の場合を包含したものではなく可想的、典例的な具體的條項のみを擧示したものといふべきであらう。それは兎もかくとして、この盜犯防止法なるものは未だ關東州においては適用されるまでに至つて居らぬ。尤も併し該法が刑法第三十六條の註釋的、補充的法規であることは上述の如くであるから當然にわが關東州にありても盜犯防止法における正當防衛權の精神は保障されてゐる次第である。されば一歩々々進めて該防止法を適用し關東州の特殊地域の事情に順應することも決して無意義ではあるまいと信ぜられる。

補充計畫を上奏し軍事參議官會議で決定
海軍部内の意見を統一して樞府の論議を封ず

【東京二十二日發電】ロンドン條約御諮詢の際樞府の問題となるべしと豫想さるゝは

一、最後の回訓案決定當時の政府軍令部の關係、統帥權問題、兵力量決定に關する覺書

二、兵力量の缺陷補充計畫

であつて第一の諸點に就ては財部全權が海相として最後請訓案に同意し條約に調印した以上政府の決定には政府に不變の憲法論があり財部海相亦之に則して態度を一貫して居り兵力量決定覺書が「海軍大臣と軍令部長とは意見一致し得べきこと」と有り單に部内に於ける海相と部長の關係を律したものと見るべく過般の閣議は同訓案決定當時とは無關係なることの條件として承認してゐる以上、これ等の點が樞府でも問題となるとも政府には何等痛痒を感ぜぬとして居り殘る補充計畫に就ては大體の原案が出來てゐるので濱口、江木、財部三相は三十一日この點につき協議の結果、來週早々補充計畫を海相及び部長より帷幄上奏近く軍事參議官會議を開いて決定を求めるに意見の一致を見た模樣である斯くて政府は將來の國防に關し海軍部内の意見を統一し樞府の論議を封ぜんとしてゐるもので政府は多分廿七日の閣議で條約の御諮詢奏請手續、奏請時期等を決定する筈であるが、期日は今月中と觀測されてゐる

現政府の政策的破綻を監視
政友會の時局態度

【東京二十二日發電】來年度豫算編成を目前に控へて政局の前途は可なり多難を豫想されてゐるが、これに對して野黨政友會の首腦部間にあつては

一、速かに現内閣を倒潰し我が黨内閣を組織し新經濟國策を行ひ不景氣打開を圖ると共に失業者を救濟すべし

二、來議會まで現内閣の手によつてその政策を行はしめ深刻なる不景氣が全國に瀰漫して此處に始めて國民が眞に目醒めて現内閣を呪咀するに至る時期を待つべし

との二樣の觀測に分かれてゐるが黨内多數の意向は此の際無理に倒潰運動に沒頭して政權獲得に躍起せず靜かに政局の推移を監視して徐ろに我が黨更生の實を擧げ國民の信望を繋ぐ事が肝要であるとなし、犬養總裁また同樣の見解を採つてゐる模樣で政府の政策的破綻を監視すると共にこれに取つて代るべき準備を整ふべしと云ふに傾いてゐる

特別進講を聞召さる
聖上皇后兩陛下

【東京二十二日發電】天皇、皇后兩陛下には二十三日午前十時より宮中御學問所に出御、三上參次博士より「明治大帝と明治十年」と題する特別進講を聞召された

婦人公民權と民政有志の意向
目的の貫徹に努める

【東京二十二日發電】婦人公民權問題に關し民政黨では有志間においてより〱意見交換の結果、來る通常議會においては是非政府案としてこれを提出せしめ通過成立を期せねばならぬが、これがためには先づ政府の選擧革正審議會に於て贊成意見を纏めて答申せしむることが必要であるといふので濟水清、末松偕一郎、山桝儀重の三氏は數日前より連日審議會特別委員たる黒田長和男、美濃部達吉博士、小原司法次官ほか數氏を歴訪して意見の交換を試みたところ、大多數の諸氏は贊成の意嚮を表明したので一同は更に近衞公、青木子等貴族院側の委員にも近く會見のうへ意見の交換をなし目的の貫徹に努める意氣込みである

師範教育の改善案大體成る
二部を本體とする
尋常師範と文理大を置く

【東京二十二日發電】師範教育改善案については岡田良平氏の文相時代着手されたまゝ今日に至るもなほ決定せず、しかも地方廳は非常にこれを要望してゐるので現田中文相も過般來研究を進めてゐるが大體成案を得た、改正要項は二部を本體とする尋常師範と新たに設くべき師範大學令下に文理科大學を置くことゝなつてゐる

消極主義を緩め地方失業を救濟
餘裕財源で新規事業

【東京二十二日發電】政府は地方失業救濟のため積極的に事業を起す外なしとして消極的現主義を緩和して努めて事實上の積極主義に轉ずるに内定、地方豫算の編成に當つては限度を五年度豫算の範圍とし物價下落により生ずる餘裕財源を新規事業に振り向け得る餘地を與へることゝなつた

經濟政策轉換のこゑ昂まる
不景氣打開のために

【東京二十二日發電】現下の財界不況に對しては與黨内に於ても政策轉換の聲が起り一部に於てはより〱協議のうへ政府當局に向つて考慮を促してゐる、しかし濱口首相、井上藏相等當局の意向は金解禁の善後策として財界の堅實なる立直しのためにはなほ緊縮政策持續の要があるとて一部の要望するが如き非募債主義の緩和等根本方針の變改には同意せざることが明かとなつて來たので、黨内における政策轉換論者も政府の苦衷を察し財政の根本方針に反する如き政策の轉換は強て求めぬ事としてゐるが、只この根本に抵觸せざる限り經濟政策の轉換は是非必要なりとし地方起債の緩和、特別會計における公債の增發等により不景氣打開策を講ぜられたいと要望しをり經濟政策の轉換を希望する聲は漸次黨内に有力となりつゝある

江木鐵相と協議
首相と協議

【東京二十二日發電】江木鐵相は二十二日午前九時濱口首相を官邸に訪問し昨日來の海軍補充計畫及びロンドン條約御諮詢期問題につき引續き協議を行つた

日本はなほ暫く海關問題を觀望
外務省から訓電す

【北平二十二日發電】天津海關問題に關し二十一日附外務省よりなほ暫く事態の發展如何を觀望すべしとの訓電が公使館に到着した

湯氏北平に辦事處新設

【北平二十二日發電】熱河の湯玉麟氏は閻錫山氏との諒解成り今次北平に代表辦事處を新設した、これは東北の舊派實力者の北方加擔を意味するものと見らる

戰闘機購入

【上海特電二十二日發】蔣介石氏は又米國から戰闘機二十四、爆撃機十二臺を購入した、江西の魯滌平氏の態度も怪しく既に李宗仁氏と諒解成つたらしく江西軍は急に修水に停り形勢を傍觀してゐる、南軍の失敗は氣候不慣れで暑氣に中られたのと米食が給せられなかつたことが主なる原因と見られてゐる

印度國民議會
警官隊と衝突

【ボンベイ二十一日發電】印度國民議會は二十日政府より集會禁止命を受けたにも拘らず二十一日これを無視しメイドン廣場に於て開會せんとした結果議會派大集團これを解散せしめんとした警官[illegible]この間に大衝突起り反英義勇隊重輕傷五百名を出した

反英運動で外國製布の苦境

【アリー廿一日發電】反英運動者[illegible]の嚴重な糾察のため外國製布卸賣商は此の二月間手持ち品を販賣せずその後の事態如何により適當の態度を採ることを申合せた

暗號電報の取扱中止
青島電信局

【青島二十二日發電】青島電信局は中央政府の命なりと突如暗號電報の受付を停止した内外商社は不便尠からざるため豫じめ暗號表を提示して便宜取扱はれ度しとの要求を當局に爲したが拒絶された

農業教育研究會
七月初旬開催

旅順師範學堂附屬公學堂主催の農業教育研究會は來る七月四、五の兩日にわたり州内各公學堂普通學堂の農業科擔任教員を集めて第一日は附屬公學堂、第二日は鷄房溝分教場に於て開催の筈であるが、右講習會には村上關東廳視學の農業教育に就て、津田前師範學堂長の歐米の農業教育、倉賀野關東廳技師の州内の畜産に就てその他講演及び研究發表、實地授業參觀等がある由

反蔣軍の臺所
閻氏の遣繰
警戒され出した山西銀行券
天津にて　一記者

反蔣軍の臺所は閻錫山氏の負擔だが、馮玉祥氏の潼關へ歸つた時には約八百萬元餞別されたと傳へらるを除き四月から最近まで韓復渠氏に百三十萬元、石友三氏に百萬元、孫殿英氏に百五十萬元等等嘘か眞實か壺中の消息は知る由もないが、恐ろしい大きな數字が算上へげられてゐる、之に開戰以來の軍費=俸給、消耗費、買收費=を加へたならば如何に要錢不要命で貯めた山西人の金庫だつて空にならねばなるまい、最も各種の特別税、附加税、正税の前徴等にてウント絞り上げ所有る國家機關の收入から海關まで押へてはゐるが戰爭が斯う長引くに於ては如何に絞つても燒石に水だ、そこで山西當局は頻りにその山西省銀行をして紙幣を發行すること張作霖氏の奉天票の如く然り、郵便局には「山西省銀行以外の紙幣は受取不申候」の告示が出る、市中の錢舖をしてドシ〱現銀に換へせしめる、古來天下の金融は山西人に掌握されてゐたやうに錢舖と質屋には今尚山西人が栄い、反蔣軍の臺所と山西人と錢舖と質屋とは面白い前因後果の環を成してゐるやう!然るに北支那最大の商埠地に流れ込んだ山西票の額はチョイと何人にもその數字が判らないが[illegible]き山西人の努力で量に於て[illegible]王樣のやうに威を揮つてゐる、連日太原から印刷輸送されでは昨今尚不足とでも考へたか否マダ〱天津へ運び込んで換へて終はなくては戰さができなくなるとも考へたのか、北平の分まで地名を改訂して運びでゐるのを知つた流石の天津これは可笑しいぞと睨み昨今地名改訂の分だけを排斥し始め如何に山西人が奔走しても市中通用しなくなつた、反蔣軍の臺所この印刷費だけ穴が明いた譯[illegible]

反政治革命を鮮農ら畫策
勞農露のコルホーズ化に反感をいだいて

【ハルビン特電二十二日發】最近露領沿海州スーチャン炭礦の勞働爭議あり一般工場の勞働者に強い反政府的の刺戟を與へつゝある時農村方面において沿海州開墾に尤も有力なる鮮農等がソウエート聯邦のコルホーズ化に反感を懷き逃亡するものゝほか、反政治革命を企圖するものあり、既に李東輝、金圭免等の一派は漁村に潜伏してその畫策中であると傳へられてゐるが、彼等の主張するところは

(一)在露鮮人は露支紛爭に活動したが政府は何等待遇を改善しない

(二)ソウエート政府は小民族の代表者を共産黨大會に召集するが鮮人は差別待遇を受け代表者を認めない

と云ふのでゼーヤの金礦勞働者と結合の沿海州に於ける同志を糾合するため部下を各地に派遣し反政府運動を行はんと連鎖の歩を進めつゝある

しかしソウエート當局の監視が嚴重であるため十二分の活動はできぬらしいが沿海州居住の鮮人には農民、漁民、工場、鑛山勞働者を始め極東局の政策に反感を抱いてゐるものも相當ある模樣である

哈府議定書の破棄を警戒
勞農國籍以外の露人
全部を東支鐵で罷免

【ハルビン特電二十二日發】東鐵管理局長は露支紛爭中に採用された無籍露人は一切解雇しこれに對する法的命令を發した解雇されたものが露支紛爭に採用されたが、これは昨年十二月廿二日哈府議定書第五條により十二月三十日東鐵は原狀回復したのであるから、ソウエート國籍を有せざる露人は全部罷免することになり既に本年一月一日から實施されて來たものであるが從つてこの際如何なる事情あるも哈府議定書に基き七月十日までに全部解雇又は自發的解雇せしめて延期することは一切出來ないものである

東鐵ソウエート側では斷然如何なる反對があらうとも哈府議定書の精神によりソウエート國籍人以外の露人を一掃し且つ露支兩國籍の從業員の折半原則を實行する堅固な意志を有し中間露人等は大恐慌を來してゐるこれはモスクワに於ける露支正式會議に支那側が哈府議定書を破棄せんとする意志あるにより先手を打つて其の實行を本質的に履行するものであらうと見られてゐる

浙江省移民全部送還

【奉天廿一日發電】さきに浙江省政府と東北側との間に浙江省難民の大規模な東北四省移民を契約しその第一回分約八十名は三月末海路來滿營口に上陸し奉天附近及び洮南方面に分配したが氣候風土の激變に依り到底滿洲の農耕に堪えず、一人殘らず歸省を要求するに至つたので兩省政府當局協議の結果移民計畫を全然放棄することゝなり全部を當地小南關の紅卍字會に收容し數日内に北寧鐵道にて無賃乘車浙江に送還する筈である、浙江省難民の東北移住は水田耕作に慣れた南方人を移住せしめて朝鮮人水田業者を驅逐する意圖に出でたものであつてそれが全然失敗に歸したことは注目すべきである

近代的軍隊を目標に軍制改革に着手す
今週から調査を連續開會
師團は減らさない

【東京二十二日發電】軍制改革の根本問題たる

一、戰時兵力決定

二、戰時編成の變更如何

三、戰時裝備の改善

の三問題に就いては豫て參謀本部陸軍省間に折衝を續けてゐる内に宇垣陸相の入院で頓挫を來してゐたが、阿部臨時代理任命と畑參謀本部第一部長が滿洲より歸來した結果、愈々今週より軍制調査會を連續開會し協議を進めることゝなつた、然かも改善の根本原則は豫算の關係上人員、馬匹を減じて裝備を改善し近代的軍隊と爲すに在り軍部では師團數の減少は避けて師團内部の縮小に依り此の目的を達するに至るべしと觀測してゐる

シベリヤ線通過の旅客が頓に增加
六月は千名を突破か

【ハルビン特電二十二日發】素晴らしい勢ひで增えてゆく歐亞直通聯絡の旅客は世界が不景氣になればなる程歐洲市場と支那市場の接近運動が行はれ、これまで海洋によつてゐた旅客も勢ひ旅程の短距離のシベリヤ線を利用するもの增加し、東鐵が取扱つた四、五の二ケ月間に歐亞直通でハルビンを通過したものは四月が八百六十五名、五月が八百六十九名であつた、この數字は東鐵が歐亞直通を取扱ふやうになつてからのレコード一九二八年六月の八百名を突破してゐる、尤も本年の六月は多分一千名以上に達するであらうと、今回の歐亞連絡會議の結果、聯絡旅客の便宜もあり小荷物、貨物の直通が可能となれば一層世界旅行者はこのシベリヤ線によることだらうと期待されてゐる

銅元移出取締
交通委員會で

【吉林廿一日發電】最近東北交通委員會は吉林、吉敦、吉長等各鐵路局に對し銅元の省外移出取締方訓令を發した、その大意は次の如くである

銅元、制錢、銅塊等は各地とも其相場が一定してゐない關係上奸商等が他省に移出して金融を擾亂せしむることなきを恐るゝ故に今回財政部と恣商して國有鐵路運送銅元制錢銅塊辦法を訂定したるを以て各鐵路局は右辦法に遵照してこれが外省移出を査禁せられたし

新聞講演會
けふ大每館で

新聞研究所々長永代靜雄氏並びに同常務理事村上俊氏の來連を機として大每大連支局主催、大連、日日兩社協贊のもとに今二十三日後七時から北大山通り大每館に新聞文化講演會を開催するが、當日は聽講無料で新聞に興味を有する人々の來聽を歡迎し、講演終後はフオーラムの形式により聽者の質問に應ずると、因に講演並に演題は別項社告の通りである

スチール低落

【ニューヨーク廿一日發電】スチール株式市場はスチール株を中心に思惑賣殺到し値頭著るしく低落し賣方は益々增加した、同時に銑鐵、小麥株も十五年來の新安値[illegible]達した

竹中次長歸任期

【東京特電二十一日發】總會のため上京中であつた竹中滿鐵經理部次長は二十五日出發歸任、又總務部の新文書課長岡田卓雄氏は二十四日出發赴任の豫定である

人事

▲武田胤雄氏（滿鐵秘書役）二十二日午後八時半來連ヤマトホテル

▲篠崎神戸稅關長　同上

安閑帽子

仙石總裁上京を機會に[illegible]滿洲、朝鮮[illegible]地の昭和製鋼所敷地運動が開始された[illegible]朝鮮側では今度新[illegible]を思ひつき約五貫目の朝鮮鰻を攜へて[illegible]客機で飛んで來たがそれを早速[illegible]に頼んで料理し關係方面を招[illegible]し御馳走政略と出た▲それを聞込んだのが滿洲側委員敗けぬ氣[illegible]「よしそれならこちらはさくらぼうか蝦でも取り寄せて御馳走[illegible]ようじやないか」と相談▲ところがよく考へてみると鰻ならヌラクラリと取り逃がす謎でもあるし所謂鰻香を嗅ぐといふ惡ひ辻占もあることだ、何も心配することはない放ッとけほつとけと一委員も茶化せば一委員は待てよ昔から蝦で鯛を釣ると言ふ言葉もあるこだ、どうだ一つ取り寄せてはと[illegible]面目に言ひ出す、だが結局蝦は[illegible]に時期おくれと判つて折角の政[illegible]もオジヤン（東京特信）

大連市公報號外を添ふ

敬老の喜字の祝ひ

本紙創刊廿五周年並びに社屋新築落成記念事業の一つとして設置された「社會奉仕部」では先きに發表した通り第一回の事業として「在滿陸海軍諸部隊及び警察團への慰安娯樂器具寄贈」の計畫と共に滿蒙開發の第一線に活動し、又は子弟を激勵しつゝある高齢者の意氣を尊敬する意味に於て在滿邦人にして本年六月を以て七十七歳以上の高齢者に對し「喜の字祝ひ」に因み記念品を贈り表彰する事になつた。高齢者又は高齢者を御存じの方は左の規定によつてお知らせ願ひたい

尙御知らせあつた高齢者には官憲に依頼し調査の上記念品を贈呈する

様式　高齢者最近の寫眞一葉、但し裏面又は別紙に姓名、生年月日、原籍地及び現住所を明記せるものを添へて差出す事

締切　本年六月末日迄

宛名　滿洲日報社々會奉仕部

昭和五年二月　滿洲日報社

全體優勝の榮冠 二つとも大連獲得
盛會を極めたきのふ撫順に於る 全滿リレー大會戰績

【撫順特電二十二日發】快晴に惠まれた廿二日の撫順永安臺トラックに於ける全滿リレー大會は午後に入るや益々白熱化し一部では地元の撫順軍が撫順總出の應援に奮ひ立つて大連チームに迫り、奉天軍また必死の奮闘によく兩軍に喰込み、二部では工專、旅順二チームが終始火花を散らしたが、結局一部は豫想通り大連アスレチツク、クラブが二部は工專が最多數の得點を占めて全體優勝チームの榮冠を獲得した、各競技終了後選手一同は役員席前に集合それぞれ左記の如く優勝カツプの授與式あつて盛會裡に午後五時終了した

▲四百米繼走一部、大連チームは大毎盃、二部大連新聞盃▲女子四百米リレー、神明高女、撫順體協盃▲千米繼走一部大連チーム大朝盃、二部工專チーム撫順新聞盃▲三十米團體リレー大連チーム滿洲日報社盃▲二部長春チーム撫順體協盃▲全競技優勝チームは一部大連チーム滿鐵盃▲二部工專チーム、撫順體協盃

尚各チームの總得點數左の如し

▲一部一等大連チーム五十五點五、二等撫順チーム三十一點、三等奉天チーム二十三點▲二部一等工專チーム三十四點、二等旅順チーム二十四點、三等長春チーム二十一點、四等鞍山チーム十八點、五等育成チーム、六等大商チーム

△砲丸投決勝(一部)一等西村(撫順)一一米八一、二等楠井(大連)一一米二二、三等川野(奉天)一〇米八五、四等瀬川(大連)一〇米七〇▲(二部)一等上倉(旅順)一〇米九七、二等淺村(工專)一〇米四八、三等白石(旅順)一〇米二九、四等山崎(長春)一〇米一〇

△四百米豫選(▲一部A組)一着三隅(大連)五五秒六、二着計田(大連)三着橋川(奉天)四着溝口(撫順)▲(同B組)一着本田(大連)五六秒九、二着濱田(大連)▲(同二部)一着大塚(旅順)五七秒二、二着卜藏(鞍山)三着松浦(工專)四着多田(長春)▲(同B組)一着多田(育成)一分二秒一、二着川口(工專)三着末永(長春)

△百十米高障碍豫選(一部A組)一着鶴岡(大連)二着晴山(奉天)鶴岡ハードル一個を倒し十五秒四の參考記錄となる(同B組)一着柴田(撫順)二着淺坂(撫順)三着中村(大連)四着新見(奉天)柴田ハードル二個を倒し參考記錄

△走幅跳決勝(一部)一等岡(大連)六米八五、二等野田六米六九、三等田中(撫順)六米六一、四等後藤(奉天)六米五四

撫順の柴田ベストフオアーに落つ(得點大連五、奉天四、撫順二)

△四百米繼走決勝(一部)一着大連チーム(式根、大久保、小數賀、岡)二着撫順チーム(渡邊、三好、田中、柴田)トツプより十米の差二、三番と離しアンカー岡斷然三十米離して勝つ
(同二部)一着工專チーム(赤城、菅原、坂田、川口)四六秒、二着(大連)商業チーム、三着長春チーム、大商第二走者までトツプを切るも工專第三走者拔き四米の差で勝つ、二、三着の差約二米

△女子六十米決勝 一着河野(神明)八秒三、二着安部(神明)三着水城(神明)四着土井(神明)
撫順高女選手全部棄權し神明選手で行ふ

△三千米團體競走決勝(一部)一着八重樫(大連)九分三十秒、滿洲新記錄、二着大藪(大連)三着花田(大連)四着中島(大連)

永田腹を痛め十着となる(得點大連四十二、撫順十九、奉天十七)

△百米決勝(一部)一着岡(大連)十秒九、二着田中(撫順)三着小數賀(大連)四番今井(奉天)
岡、田中競り合ひ胸一つの差で田中敗れる、老雄小數賀スパート物凄く今井を破つて三着に入りしは偉とすべし(得點大連七、撫順三、奉天一)
(同二部)一着赤城(工專)十一秒一、二着多田(育成)三着松崎(長春)四着長島(長春)(得點工專五、育成三、長春三)

△百十米高障碍決勝(一部)一着鶴岡(大連)二着柴田(撫順)三着中村(大連)四着城市(撫順)鶴岡第六ハードルを倒し一五秒八參考記錄となる(得點大連七、撫順四)
(二部)一着久恒一六秒九(工專)二着山田(工專)三着大崎(大商)四着西村(長春)

△圓盤投決勝(一部)一等川野(奉天)三五米一〇、二等横井(大連)三四米二六、三等中西(奉天)三一米九〇、四等和田(奉天)二九米六二(得點奉天七、大連四)▲(同二部)一等上倉(旅順)三一米六〇、二等寺澤(長春)三等淺村(工專)二八米三二、四等中野(鞍山)二七米七四(得點旅順五、長春三、工專二、鞍山一)

△四百米決勝(一部)一着木田(大連)五三秒七、二着三隅(大連)三着本田(大連)四着濱田(大連)濱田前半出しすぎたゝめゴール前三十米で三走者に拔かる(得點大連十一點)▲(同二部)一着大塚(旅順)五三秒二、二着川口(工專)三着末永(長春)四着多田(育成)(得點育成四、旅順三、長春二、公主嶺一)

△千五百米決勝(一部)一着八重樫(大連)四分二八秒八、二着中島(大連)三着花田(大連)四着瀬戸(撫順)

永谷出でず、大藪一周目に落ち八重樫よく三十米の差で勝つ、(得點大連十、撫順二)▲(同二部)一着多田(長春)四分三五秒八、二着磯部(長春)三着本野(長春)四着千田(長春)(得點長春十一)

△女子四百米繼走決勝 一着神明チーム(安部、水城、土肥、河野)獨走五八秒二

△棒高跳決勝(一部)一等淺坂(撫順)三米七五、二等伊藤(奉天)三米六五、二等石垣(大連)三米六五
淺坂三米八一を試みしも折からの突風にバーの安定を缺き遂に成らず▲(二部)一等久恒(工專)三米五五、二等西出(工專)三米三五(得點工專八)

△槍投決勝(一部)一等岡田(撫順)五三米五七(滿洲新記錄)二等小林(大連)五三米一七、三等峰尾(大連)五〇米一四、四等瀬川(大連)四八米三
岡田は最後の一擲で拔く(得點大連六、旅順五)▲(同二部)一等平岩(鞍山)四三米八一、二等最上(旅順)三等井上(鞍山)四等直江(鞍山)(得點鞍山八、旅順三)

△走高跳決勝(一部)一等柴田(撫順)一米七〇、二等糸永(奉天)一米六五、三等鶴岡(大連)三等西神(撫順)三等伊藤(奉天)(得點撫順六、奉天四、大連二)▲(同二部)一等最上(旅順)一米七〇、一等山々(鞍山)一米七〇、三等大崎一米六〇、三等久恒(工專)一米六〇

△千米繼走決勝(一部)一着大連チーム(式根、大久保、岡、三隅)二分六秒一、二着撫順チーム
大連一走者式根、撫順の田中を約半米後にし、二走者大久保約十米引離し、續く岡二十五米程離し、三隅七〇米程離してテープを切る▲(同二部)一着工專チーム(菅原、赤城、松浦、川口)二着長春チーム、三着大商チーム、四着鞍山チーム
第四走者工專川口力走、長春チームの多田をぬき、デツドヒートで勝つ

銃聲も快し
盛況だつた市民射撃會 入賞した射手の顏觸

大連市民射撃會主催、本社後援の第三十七回小銃射撃大會は二十二日午前八時半から春日池畔市民射撃場に於て催されたが、快晴に惠まれて參觀の人出も多く盛況であつた、出場人員は一般射手百三名學生及び青訓生徒百四十四名の多數に上り、午後三時終了したが、成績左の如し

▲特、一等射手 一等四十三點(貞元助)二等四十二點(丹治正市)三等三十八點(阿部丑松)四等同(田切七郎)

▲二等射手 一等四十點(川本隆)二等三十六點(立川九十九)三等三十四點(久保伊勢松)四等三十三點(額久久雄)五等三十二點(小林謙)六等三十一點(鳥田行正)七等三十一點(竹原吳)八等三十點(河野茂)九等三十點(緒方末彦)十等二十七點(小玉榮)

▲學生、青訓生徒 一等三十三點(岩崎武雄)二等三十二點(百井盛哉)三等三十點(中條小太郎)四等二十八點(佐々木邦男)五等二十六點(佐々木和夫)六等二十四點(中原龍夫)七等二十四點(石野敏雄)八等二十四點(長松夏)九等二十四點(宮谷勝正)十等二十四點(津川一)十一等二十三點(井上武)十二等二十二點(池田正次)

遠征の大連消費 京城電氣を破る
スコアー五A—一で

【京城特電二十二日發】京城電氣對滿鐵消費組合軍の野球戰は京電先攻で進見(球)吉富、生野(壘)兩氏審判のもとに二十二日午後一時十五分より開始、消費四回三點五回一二點を入れたるに反し京電は九回に一點を入れたのみにて五A—一で消費大勝し、午後三時五分閉戰した、因に選手一行は同夜七時二十分發列車にて歸連の途についた

州内教育研究會第二部會

關東州教育研究會第卅回第二部會は來る廿八日(土曜)午前九時五十分から旅順師範學堂附屬公學堂で開催されるが、當日は開會の辭に次ぎ入會者紹介、退會者報告、部會を終り午後三時五分より會場に於て懇親會を開く筈、なほ部會は一教科部、二體育衞生部、三訓練部の三部に分れそれぞれ研究發表並に協議講演等があると

全滿リレー大會の入場式

憲兵武道大會に 遼陽分隊優勝す
きのふ長春で盛會

【長春特電二十二日發】全滿憲兵武道大會は二十二日朝八時より長春商業學校道場に於いて開かれ、張副司令代理、平尾事務所長代理、田代領事その他多數の日支來賓あり極めて盛大であつた、二宮憲兵隊長の訓示に次で柔道部試合に入り、正午休憩ののち、劍道部の試合を行ひ、午後四時半終了したが本年度試合における名譽の優勝刀は遼陽分隊の手に歸した、個人試合においては
柔道部 一等江口上等兵(大石橋)▲劍道部 一等石川上等兵(長春)▲對抗試合 一等須藤軍曹(長春)
はいづれも憲兵司令官、關東軍司令官、憲兵隊長の賞狀及び賞品を授與された、なほ當日、佐藤公主嶺憲兵分隊長は珍しい試し斬りを行ひ喝采を博した

臨時競馬
第二日目成績

星ケ浦臨時競馬二日目の二十二日午後は絶好の競馬日和に惠まれ入場者も殺到して盛況を極めた、勝馬及び配當金左の如し(五圓券配當)

▲第五競馬各抽一六〇〇米 一着水天二分十五秒(騎手打田)二着彪、三着室戸、配當十圓三十錢
▲第六競馬春抽一六〇〇米 一着土佐二分十六秒一(騎手川合)二着五光、三着春美、配當十圓二十錢
▲第七競馬各抽一六〇〇米 一着正和二分十一秒二(騎手川合)二着命峰、三着初風、配當九圓四十錢
▲第八競馬各抽一八〇〇米 一着大正二分二十七秒三(騎手小川)二着源、三着榮、配當十七圓五十錢
▲第九競馬春抽一六〇〇米 一着春月二分十九秒(騎手内田)二着勝、三着昇光、配當八圓六十錢
▲第十競馬各抽一八〇〇米 一着二分二十八秒一(騎手打田)二着日之丸、三着魁、配當七圓九十錢
▲第十一競馬春抽一八〇〇米 一着勝見二分三十秒(騎手青柳)二着年、配當五圓九十錢
▲第十二競馬各抽一六〇〇米 一着赤玉二分九秒四(騎手川合)二着雷音、三着麒麟、配當六圓四十錢
▲第十三競馬古呼一八〇〇米 旭昇の單走
▲第十四競馬春抽一八〇〇米 一着千草二分四十二秒(騎手足立)二着雲風、三着操、配當六圓五十錢
▲第十五競馬各抽一八〇〇米 一着一姫二分三十一秒二(騎手川合)二着若松、配當六圓七十錢
なほ二日目の馬券總賣上高は五萬七千六百五十五圓で五時四十分終了した

新聞文化講演會

けふ午後七時から大毎館(聽講無料)

講師
新聞と新聞記者　石村誠一
新聞のプロフイル　村上脩
新聞の行くべき道　永代靜雄

◇…フオーラムの形式により講演後聽講者の質問に應ず

主催　大毎社大連支局
協賛　大連新聞社　滿洲日報社

遊戲中顛落して 小學生死す
譚家屯水泳プールで

大連大黒町八四伏見臺小學校生徒志熊剛(一三)は二十二日午後一時五十分ごろ譚家屯水泳プールの周圍で四、五名の友達と鬼ゴツコをして遊んでゐるうちプール觀覽席から足を踏みはづして顛落し右横腹を强打し人事不省に陷つたので大騷ぎとなり直ちに大連醫院に擔ぎ込み應急手當を施したが効なく同三時二十分絶命した

氷水の販賣 支那人は不許可
轉ばぬさきの杖に 旅順署が傳染病の豫防の爲

夏期を控えて跳梁跋扈する傳染病の豫防につき旅順署衞生係では從來諸種の方法に依つて一般市民の衞生思想普及に努める一方、飲食店料理店、食糧販賣店等につき、數次の一齊臨檢を行ひ、衞生施設の完備を慫慂して、夏期衞生に關する諸般の設備について萬遺憾なきを期して來つゝあるが、昨年猖獗を極めた傳染病の原因が、暑氣に入つて市民の口に上る氷に主因を置く點に鑑み、本年は特に一般市中の氷販賣業者取締を最重にし、假にも衞生上缺けた點があればどしどしこれを改めさせ、またはその許可出願に對しても從來と異つて一層嚴密な調査方針をとつて居る、

夏場の

從來支那人が一時商賣に手輕し良く氷販賣を出願し、擔ぎ荷や路傍店頭で賣る氷にはまゝ天然氷を用ひたり不潔極まるものが多く、傳染病の原因もこれによつて惹起される事が多いので、本年は一切支那人の氷販賣は許可せぬ方針に出で、衞生警察上に遺憾なき事を期する方針であると

滿鐵新部長・次長の家庭訪問記(H)

ご主人の寫眞趣味が 一家和合の楔に
「寫眞の記錄や整理は私の役目」 竹中經理部次長夫人

「まあ遠いところをわざわざ……」取締はぬ竹中夫人の御挨拶、夫君竹中政一氏は經理課長より經理部次長に榮轉した人、今までも年の半分は東京にあり、大連に歸つても朝七時頃出勤して夕方も七時、八時に漸く歸つて來るといふ繁劇な地位にあるから家庭にゆつくり落ちついてゐる日が尠い。

▽……△

主人は以前ゴルフをやつてゐましたがつい忙しいものですから日曜毎に出られないつて有樣で私も運動のためにゴルフをやるなら庭の草でも拵つて下さいと申したら、それぢやゴルフも止めるかで、何時の間にか會も脫けて了ひました、主人の趣味と申せば寫眞位なもので各旅行先等で撮して來ますが、私はその整理に追はれまして二、三日前にも書生さん等に手傳つて貰つて漸くブツクにそれぞれ撮つて來た寫眞をはりつけた位でございますよ

と次々に寫眞ブツクを見せて貰ふ

▽……△

竹中氏が十幾年來、あらゆる機會に撮つたものを、紀行寫眞、家庭寫眞等々と各種類別に整理してアルバムにはり一つ一つ克明に撮した時日、說明、中には機械の名、絞り工合など詳細にわたつて記錄してあるが現像から燒付も一切自分の手でしてこの研究的な態度は趣味を通じて竹中さんの性格がよく窺はれる。

▽……△

これ等の寫眞を記錄したり整理は夫人の役目だが何千枚かの寫眞を三十冊餘のブツクに丹念に纏めてある、夫君の寫眞趣味が一家和合の楔となつてゐるのだ。

▽……△

音樂ですか、一時何でもやつてみましたが結局何も物になりませず今は聽く方許りです……」とある。

▽……△

家庭には四人のお子さんのうち、長女の君子さんは目下東京府立第六高女に在學中であるが、夫人の母堂が一緒に居られ可愛いお孫さんの相手をしてゐる。

祖母さんは仙石總裁と同年の七十四歳でございますが身體は至つて丈夫でして未だに洗濯から縫物まで自分で致しますが、十數年前から、これまで掛けてゐた眼鏡も外すといふ有樣でこの前、始めて齒醫者に行きまして齒を治療していたゞきました時にも隨分丈夫な齒だと賞められた位でございますのよ、でも祖母さん御自分では、わたしや仙石總裁のお元氣にはかなはんと先日も笑つて居ました

となかなか如才ない話振りで、四度といふ近眼鏡をかけた眼の奥から如何にも人なつこい感じを受ける。【寫眞はトシ子夫人及び二女千代子さん】

滿日地方版

奉天

外來チームの魁 九州醫專野球團
來る二十四日來征 奉天滿倶と對戰

今夏は内地より多數外來チームの來奉を前に控へ奉天滿倶野球部では既報の如く新陣容を整へ緊張して沿線各チームと戰ひ悉く之を破り氣勢を揚げてゐるが、内地より最初の遠征チームたる九州齒科醫專野球團と華々しい試合を行ふこととなつた、齒科醫專チームは廿四日安東より奉天に乘り込み廿五、六の兩日午後四時から新公園グラウンドに於て試合を擧行する豫定である

けふに迫つた奉天商議員改選
定員そこ〱無風狀態

奉天商議の議員改選はいよ〱本日に迫り一層緊張味を加へてゐるが今回は新顔が現はれたゝめか立候補を思ひ立つた連中も見合せの狀態にあり、これがため立候補數は割合に少數で一部、二部を通じて殆ど定員そこらの無風狀態である、しかしこの改選で最も注目されてゐるのは副會頭二人が敢然勇退したため副會頭選任の問題である、會頭候補として庵谷氏の外石田氏説あり、庵谷氏は辭退する意志であるらしいが、互選で會頭に當選し果して飽くまで之を固辭するか否か疑問である、副會頭に至つてはその間樞機を極め全く見當もつかぬ狀態である果して何人が會頭副會頭に當選するか非常に興味を以て迎へられてゐる

國民政府機關 通信社設置

六月二日來奉し國民政府機關通信社設置のため張學良氏と交渉中であつた國府代表陳玉堂、雪毅の兩氏は今回承認を得たので愈々設置する事となり七月一日から新聞を發行する由で場所は宮殿東側灰市胡元東北民衆報社跡であると

王家楨氏約二週間滯奉

南京政府外交部次長王家楨氏は故張作霖氏の二周忌祭參列のため大連經由廿一日朝歸奉したが、約二週間滯在のうへ歸南する由

食料雜穀買收

鐵道省政府では數日前より糧秣及び食料雜穀の調査をなし糧秣職員を各地に派遣して買收しつゝあるが時節柄注目されてゐる

セミヨノフ將軍 また來奉

奉天ヤマトホテルに滯在中であつたセミヨノフ將軍は何時の間にか奉天から姿を消したので疑惑の目を以て見られてゐたが、廿日東支鐵路局長エムシヤノフ氏と共に哈爾賓より來奉兩氏ヤマトホテルに投宿中である

人事

▲鈴木新之助氏(熊本稅關監督局長)廿一日來奉
▲石本上海事務所長 廿日夜赴連

町の便り

▲白井埠頭事務所庶務長 廿六日家族同伴赴任の筈
▲鈴木二郎氏(鐵道部次長) 廿五日赴任の由
▲山口十助氏(同上勤務) 同上
▲町野武馬氏 二十日安奉線にて來奉
▲本位田博士 廿日來奉
▲秋川大佐 廿一日虎石臺へ
▲高橋參謀 廿一日大連より來奉
▲中島飜譯官 廿一日安東へ
▲國延警部補 旅順に榮轉する同氏は廿四日赴任の由
▲武田胤雄氏(滿鐵秘書役) 廿一日各方面歷訪挨拶をなす

滿鐵々道部次長に榮轉した鈴木二郎氏は二十日夜在奉新聞通信記者を金龍亭に招じ盛大に張宴、午後九時半頃散會した

◇

奉天道場劍道部では元奉天鐵道事務所鈴木所長の送別劍道試合を二十二日午前九時から催した

◇

東京集鴨居住醫師金子武夫(二六)は内縁の妻山内みち子(二三)を置去りにして行方を晦し奉天にゐる姉の夫の許に走つた形跡があるので取押方をその筋へ願ひ出た

開原

衞生講話と映畫會盛況

衞生講話並に活動寫眞會は既報の通り二十日公會堂に於て開催された、午後八時開會の辭に次で三田醫院長の衞生講話、映畫「義勇少年」を上映、前田醫長の衞生講話「人類の敵」を上映、奉天細菌檢查所野村技師の衞生講話「己を衞れ」と「最後の勝利」を上映し同十時半頃終了したが、觀衆實に一千餘名にて大盛況だつた

滿洲見本市へ 日支商出席

滿洲見本市は來る七月七、八、九日の三日間大連に於て開催につき當開原より邦商十三名、華商十名出席することとなつた、邦商側は團長羽原乃太郎氏、副團長三村治太郎氏、華商側は團長寧智軒氏、副團長王讃臣氏をそれ〲推薦したと

川崎所長代理任命

開原地方事務所長川崎亥之吉氏は病氣にて大連醫院に入院中につき不在中所長代理として庶務係長靈德敏夫氏を二十日附任命した

山本澄江氏送別會

鐵道部貨物課へ榮轉の山本澄江氏を無名會同人は二十日大和に招じ送別宴を催したが盛會であつた

遼陽

福田委員送別

遼陽機關區長で地方委員として公費のため努力した福田又司氏が今回瓦房店機關區長に榮轉したので地方委員會では廿二日午後六時から社員クラブに於て送別宴を催した

夫婦喧嘩で 面當て自殺
憤慨した女房

當地昌平街一番地鐵路巡警劉鳳麟方へ假寓の、原籍北平城内楊殿三の妻楊喜令(二三)は國元の正妻や一匹の犬に居る女の事から犬もくはぬ夫婦喧嘩をなし死ぬの走るのと騷ぎの末、喜令は二十一日午前九時半ごろ同家裏物置に於て西洋剃刀を以て咽喉部を横に二寸餘切り鮮血にまみれて苦悶し居るを發見した夫楊はびつくり仰天妻が自殺しましたと屆出たので、直ちに高木醫師ら急行應急手當のうへ滿鐵醫院に入院せしめたが生命には別條なく一命を取り止めた

人事

▲見坊田鶴雄氏(地方事務所長)廿日夜行で本社へ廿二日歸遼
▲宮城調明氏(鳳凰城驛長) 廿一日急行で多數官民有志に見送られ赴任

四平街

益濟寮の創立十周年 記念演藝會開催
來月六日に劇場にて

獨身者宿舍益濟寮が設置されてから茲に滿十ケ年を閲したので十周年記念のため何かやらうではないかとの話が擡頭してゐたが、藝術家揃ひの獨身者のことゝて異議異論を唱ふる者は一人もなく七月六日をトして四平街劇場に於て芝居を演ずることに決定、昨今間がな隙がな稽古に熱中してゐる、出演役者の中には女にもみまほしき美男子も却々多いことゝて女に扮する役者も男役も些かの缺點なく、そこへ多年の經驗ある山本興行部の國本氏が頭を突込んで監督とあつて稽古もメキ〱上達して今や上方役者も三舍を避くる程の大一座が出來上つた演題の主なるものは一、戀愛病患者 二、父歸る 三、捨て兒、その他尺八洋樂獨唱手踊等々

鞍山

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院では二十四日午後二時より同院三階廣間に於て六月例會醫藥學集談會を開催するが演題は左の如し

一、レ線診斷の近況(其二) 岡本蓮太郎
一、日常遭遇する主要なる急性中毒に就て(其の二) 國分信雄
一、ワ氏反應檢查法に就て(其の二) 間野山松
一、花柳病と鞍山 岡本蓮太郎

石橋米一氏送別宴

鞍山笑話會では撫順炭礦經理課長に榮轉する石橋米一氏の送別宴を二十日午後六時三十分より本町倶樂部に於て開催したが、頗る盛宴裡に午後九時散會した

喜田定太郎氏離鞍

鞍山警察署の喜田定太郎氏は今回家事の都合により辭職したが氏は警察界に十八年以上勤續されたので特に巡査部長に昇進、二十一日十四時二十三分發急行列車にて朝鮮經由歸途に上られたが、驛頭には署長始め署員一同市民數十名の見送りがあつた

久留島氏講演會

鞍山製鐵所庶務課長久留島秀三郎氏の「南米の旅」講演會は既報の如く二十日午後七時より小學校講堂に於て開催されたが、來聽者數百名の多數に達し頗る盛會であつた

貔子窩

上水道料金 愈よ徵收
去る二十日から

永い間鶴首して待たれた當地上水道も四月二十日通水式を擧行以來無料配水をして居たが、愈々本月二十日より料金を徵收する事になつた、料金は一噸十六錢(最低三噸)メートル使用料其他を合して一ケ月九十八錢(但最低)共同配水管は一荷(約二斗)一錢二厘であるが、これは稅務課で給水票を發行し給水を受ける際引替する事になつて居る、目下專用管口五十七個共同配水管三ケで先月中の配水量二千四百噸で配水當時に比し漸次使用量を增して行つてゐる

鳳凰城

民會議員補缺決る

吉林居留民會議員奥田一郎氏は一身上の都合に依り議員並に衞生委員を辭したのでその補缺として次點者稻村峰一が選任された

十九日來吉同日離吉したが、右は過般逝去した畑大將の葬儀に際し吉林邊防副司令官張作相氏より鄭重なる弔問を受けたので之れが謝禮の爲めであつたと

葉煙草の成育調査
二十五日から

南滿黃煙組合では來る二十五日より七日間に亘り葉煙草(耕作面積六百天地)の成育調査を行ふが、移植後旱天續きのため發育は幾分おくれてゐるも移植期における雨量潤澤で活着が頗る良好であるからこの分では大したことはないが茲旬日も雨を見ないと畑地は深く乾き上るので一般に憂慮され降雨を祈つて居る

大石驛長赴任

本溪湖驛へ榮轉の大石驛長は二十一日赴任したが驛頭には日支人多數の見送りがあつた

吉林

吉海瀋海兩線を視察
長春列車區員

滿鐵長春列車區では今回列車區員を四班に分ち左の日割で吉海、瀋海兩線を視察する豫定であると

二十二日第一班八名▲二十七日第二班七名▲七月一日第三班四名▲二十二日第四班六名

腸チブス二名罹患

當地新開門外居住東亞土木會社駐在員奥村龜二氏は豫て病氣にて東洋醫院に入院加療中のところ十九日腸チブスと決定した、尚新開門外吉林藥房川住忠造氏妻女秀子さん(三)は產後の經過不良にして東洋醫院へ入院したが、二十日これまた腸チブスと決定したが、今年腸チブス發生のこれが皮切りで在住民各自飲食物に注意すべきである

縣行政會議
七月一日開く

永吉縣長王毓氏は七月一日を期して縣内の紳士縣政各界代表並に縣政府所屬の各機關代表を縣政府に召集し縣行政會議を開催する旨發表したが本會議は縣内鄉鎭の保衞合安衞法管理處發令に基く豫備計畫等に關し專ら討議を行ふ筈であると

恒吉副官來吉用務

關東軍司令部高級副官恒吉中佐は

營口

沿岸貿易稅 徵收問題
商民は大迷ひ

各港灣より移出する荷物に對しては移出稅の半額を徵收し居るのであるが今回閻錫山氏が天津稅關を占領したため同地への移出荷物に對しては當港稅關に於て前以て天津に於ける沿岸貿易稅を徵收し、若しこれを納附せざるものは通關せしめざるよう南京總稅務司より當地稅關長に通知し來たとのことであるが、若し天津稅關に於て當港に於て納附したることを認めざるに於ては再び天津に於て納附せざるべからざることゝなるので當地の商民は如何にしてよいか迷ふてゐる

淸林館が値下斷行

當地淸林館では同旅館附屬食堂の値下を斷行し座敷、ベランダー、浴場その他を全部開放し大小の宴會及び家族團欒の需めに應じ、新市街一圓は車の無料送迎までなすと

公主嶺

長春駐箚隊 野營演習
公主嶺にて

公主嶺に於ける長春駐屯步兵第三十八聯隊の野營演習は二十五日より來月四日までゞある

大山法務部長來公

關東軍大山法務部長は二十三日十一時五十一分當驛着の北行列車にて來公同日十七時三十八分發の列車にて南下

入賞乳兒決定

公主嶺第三回乳兒審査の結果は左記の如くであつた

優秀賞 小川省三、瀨本秀彥▲强健賞 神谷四郎、千葉美枝子、帆北五平、吉池健二、藤井宣夫、岩淵邦彥、國分達郎

この母を見よ (四〇)
日活現代劇臺本より
畸面座同人構成

倭子さん! 僕はねエ

等はフト周圍の氣まづい沈默に氣が附いた。恥かしさうな倭子の樣子、冷たく光つてゐる夫人と瑠璃子の瞳……出鼻を挫かれた等は後の言葉が出せなかつた。丁度咽喉あたりに言葉がひつかゝつてゐる樣な氣持がして、手をもじ〱させるばかりである。

と、それに追ひかぶせる樣に夫人の冷たい言葉が響いた

桑木さんのは今日の不出來の品だけ差引いてあります

給料袋を握つた倭子は、夫人の意地惡い、冷たい聲を背に…

づいた倭子は給料袋を破いて見た──四十二錢──倭子は淋しく笑つた。

步道の上を動いてゐる步行者の集團、その雜多な色を持つて蠢動いてゐる大集團の中にある頭の數だけ、ちやうどそこに「思考」の糸もあるのだ。愛、貪慾、讃仰、憎惡、恐怖、期待、あらゆる興味と熱情、あらゆる慾望と探求が、そこを行く大都の住民の何千といふ數知れぬ頭の中で渦を卷き、蜘蛛手に擴んでゐるのである。そして──人間の耳には知覺し得べくもない「思考」の騷音と、ごつたかへしの中にあつて、極めて細い「思考」の糸が、貧しい一人の女──倭子の頭の中で展開したのだ

瑠璃子の憎惡に燃える眼を感じ乍ら、引き止める等の手を振り切つて街へ走り出た。

三十分は神への奉仕時間──職の時計の下に麗々しく書き出された其の紙切れの上を、惡魔の使ひのやうな大きな蜘蛛が這ひまわつてゐた。

氣まづい空氣──其の中で大きく欠伸をした瑠璃子は、コンパクトを取り出して、鼻の頭をたゝき始めた。首に捲い深紅のスカーフそれが疲れた女工達の眼を縫いやうに躍た。彼女達の或る者はそれ故淋しさうに微笑んだ。他の者は譏しさうに前の方を見た。更に他の者は腹立たしさうに瞬きした。その時痛みと嫉みと憤りとが、二十人の女の胸をえぐつたのである。

日暮の風はもう身にしみ入る頃になつてゐた。給料袋を握つたまゝ倭子は惡さうに襟をかき合せつゝ吾家へ急いでゐた。

『一日働き通して四十二錢! 月に十二圓といくらかにしかならない 私と中子の生活!』

あゝ、その可愛相な中子は──母の歸りを待ちくたびれて眠つてゐた。昔なれば母の優しい子守唄か、樂しい蓄音機の音が、中子の眠りを心地よく導いて行つたのであるが、今の中子にとつては、時々通り過ぎて行く交響的な省線電車の車輪が、唯一の乳母であり、それが中子の夢を輕くゆすぶるのみであつた。

等が毎日工場へ現はれるやうになつてから倭子の日給は定つて何パーセント宛か無殘にも差引かれてゐた。

等の熱情的な目、夫人の貪慾な目、瑠璃子の憎惡にもえた目、そして女工達の陰險な目、其の注目の焦點に立つた倭子の味方はお光

食料品御用

フト前にさがつてゐる看板に氣

(寫眞は瀧花久子 唯一人であつた 津島ルイ子)

滿日文藝
滿日柳壇
「朝起き」

朝起のほつれ毛見せぬ身たしなみ　柳河　金線魚
朝起て草の露ふむ尻からげ　鞍山　甫生
脫線を朝起きて知る格子窓　大連　柳子
碁敵へ朝起きるなり持ち出され
朝起の下女得意な唄で愛き　本溪湖　銀杏
満足は床からさわぐ朝を起き
朝起をする氣でいつも宵寢をし　大連　靑々庵
除隊兵起床ラッパの先きに起き
朝起の姑雨戶の音を立て　昌圖　柳川
健週の朝起き兎角それつきり
早起は樂しい暗に皆んな寄り
朝起の欠伸兩手をつん延し　朝陽鎭　杢堂
早起をして善根は日を拜み
暗がりに起きて満足言ひつゞけ　昌圖　斗牛
朝顏に笑はれてゐる朝を起き
早起を貯金で勵ます親の愛　旅順　桑丸
女房の産後朝寢の癖がつき
感吟
朝起の子へ妻惜しい床を上げ　大連　森柳子
目覺を握つたまゝで又うつゝ　大連　櫻井農夫
朝起が苦になる春の夜を更し　鞍山　甫生
朝起を時計たよりに宵を寢る　旅順　岡野桑丸
朝起の機嫌女も先を知り　大連　長島治子
○
子澤山一人一人を朝にちる　高橋月南
ラッパ卒ラッパ吹くだけ早く起き　(觸作)

新刊紹介

▲ルパン全集(別卷二)「ドロテ」『靑色型錄』『空の防禦』の三篇「ドロテ」は謎の七個のメダルを中心に捲起された事件、曲馬團を組織するルパン型の美しい令孃の活躍をテーマとしたもの「靑色型錄」はルパンと獨探との力試し、美くしい佛蘭西婦人の仇を返すルパンの俠氣、またそこには柔術で以てルパンを助ける一日本人が現はれてくる「空の防禦」は同じくルパンと獨探との爭を書いたもの、譯は全部保篠龍緒(四百二頁豫約本東京麴町下六番町平凡社發行)
▲川中島の合戰(長野市教育會編)二十八頁地圖附定價廿錢長野市西長野町大正堂書店發行
▲善光寺小誌(長野市教育會編)同會が篤學の士坂井文學士に囑して編したもの、大部の研究が良く一般の案内となるべきものとして此の小册子に纒められてゐる(百八頁定價卅五錢長野市西長野町大正堂書店發行)
▲出版年鑑(昭和五年版)昭和四年間に出版された新刊書の目錄を作ることを主眼とし一年間の情勢、事件、統計等を可なり詳細に載せてゐる、他に出版法規等を收錄す(七百頁定價八十錢東京神田錦町三東京堂發行)
▲醫學常識(第五卷)醫學常識の第六回配本である、小兒呼吸器病の豫防と手當(醫學博士瀨川昌世)小兒傳染病(醫學博士栗山重信)小兒病の看護法(醫學博士太田孝之)の三項目に分ち例によつて各種病氣の原因、徵候、治療、豫防法、看護法等が平易に且つ詳細に書かれてゐる(東西醫學社)
▲ソウエート聯邦事情(一號)穀物恐慌救濟策としての共榮農業政策、時事問題としては「ソウエート聯邦に於ける日本利權の現狀」「最近の東支鐵道貨物輸送狀態」等、研究及び資料としては「一九一七年のロシヤ革命史」島野三郎「農業社會主義化運動に對する警告」スターリン等(定價五十錢大連滿鐵發行)
▲富士(七月號)愛の戰車(加藤武雄)戀車(吉川英治)鳳凰の卵(谷孫六)谷風情の達引(曾井寒窓)首無し事件(小泉總之助)特輯篇「生ゝ親物語」(高村光雲その他)名劍繪物語(尾竹國觀他四氏)笑ひを生む人々(大辻司郎其他)等(定價五十錢東京市本鄉區駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行)
▲新天地(六月號)創刊十周年記念號何れも興味深い力作を集めてゐる「在滿鮮人歸化權の承認に就て」滿蒙國際關係の推移(赤塚正朝)滿蒙鐵道發達史(星出信隆)台覽ゲームを里標に(渡邊諒)等(定價九十錢大連市楠町其社發行)
▲子供之友(七月號)七夕祭、蛍取り、海水浴、山登、等々夏氣分横溢(定價廿五錢東京雜司ケ谷上り屋敷婦人之友社發行)
▲拓殖公論(六月號)定價卅五錢東京麻布六本木町其社發行
▲滿洲通信俳句(九號)定價廿錢大連山縣通三一大連俳句會發行
▲刀劍研究(六號)定價五十錢東京下谷茅町二南人社發行
▲實業界(六月號)仕入と販賣の新戰術(鈴木森永製菓販賣部長)等(定價四十錢東京麴町平河町六其社發行)
▲法律新報(二百二十號)定價廿錢東京丸ノ内仲通三號館其社發行
▲批判(六月號)座談會「大學の頹落と知識階級の地位」長谷川如是閑、新居格、向坂逸郎、石濱知行、莊原達、創作「何處迄も」(村山知義)等(定價五十錢東京市外中野上の原我等社發行)
▲滿洲公論(六號)定價五十錢大連紀伊町九其社發行
▲大陸(六月號)定價五十錢大連西公園町其社發行
▲雄辯(七月號)時代の反映としての文學(中村武羅夫)世界各國人の點描等(定價五十錢東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行)
▲海防(六月號)(定價廿錢東京日比谷市政會館内海防義會發行)
▲島根評論(六月號)(定價卅錢東京小石川大塚町其社發行)
▲拓殖公論(六月號)(定價卅五錢東京麻布六本木其社發行)
▲協和(廿八號)入賞論文、化學者の見たる滿鐵の將來(阿部良之助)等(滿鐵社員會發行)
▲東亞(六月號)新興土耳古の外交政策(ボース)國民政府と國權回復(中山優)間島及琿春地方の朝鮮農民(林吉男)等其他東亞時報十五篇(定價五十錢東京丸ノ内二の二東亞經濟調査會發行)
▲少年倶樂部(七月號)馬子の少年のし雄々い表紙が先づ嬉しいお初櫻事件(甲賀三郎)暗黑の英雄(照山赤次)日本人オイ佛次郎)十難八苦(野間…)同誌獨特の美くしい編輯…る特別附錄世界漫遊おみルバム(定價五十錢東京…込坂下町大日本雄辯講…行)

懸賞詰聯珠發表(三)
題名「葉櫻」正解
上木三山

白(十四)の「い」に來る分(二十二)の後甲又は乙の十三珠打上)

に引いてあつた(十六)强いは「い、ろ」と引いて「天」又理由は次に(十九)と飛んで十六」の順である(十八)は一」にて「甲、乙」の兩勝を事からして黑の活三勝を防一應(二、十四、六)の四尖して見ねばならぬ筋合であ此の意味から本圖が生れる

夕刊 滿洲日報 六月二十二日

行政合理化に伴ふ 關東廳豫算節約

西山財務部長が下旬に上京 約百萬圓低減せん

關東廳西山財務部長は近く太田長官の歸任を待つて約一ヶ月間の豫定で本月下旬上京の筈であるが、右は目下政府に於て實施せんとする行政の合理化に依る本年度政府豫算の低減縮小に關する關東廳豫算打合せの爲めで、政府は今回昨年度の實行豫算に鑑み物價下落に基準を置いて出來得る限り豫算の節減を斷行し、こゝに一種の合理的實行豫算を得んとしてゐるのであるが、關東廳の豫算も昨年十一月豫算編成當時と現在とは工賃、物價其他共に銀安等の關係で幾分の下落を見てゐるので、必ずしも事業を中止或は縮小、繰延べせずとも、その間相當支出經費を節減して特別會計即國費豫算に於て約百萬圓の低減を斷れといふのにあるのであるが、節減を斷つて漸く編成された同廳の本年度國費豫算二千三百萬圓がどの程度迄に低減され且つ如何なる費目が如何に緊縮さるゝか、同廳財務課では目下頭を惱ましてゐる

中央軍攻擊に轉じ 蔣氏は背水の陣

先づ隴海線にて盛返す

【天津特電二十二日發】一時退却をつゞけてゐた南軍は急に作戰を改め再び猛烈なる攻勢に轉じた、平漢線方面は寢返り騷ぎにて眞相は不明だが隴海線では確に盛返しの勢ひを現はしてゐる、蔣介石氏は數日來行動を秘してゐたが此間に於て直系各軍に巨額の軍費を支給して激勵した外何應欽氏に現銀五十萬元を急送して長沙入りを命じ廣東軍の北上と相俟つて廣西軍を驅逐する作戰を進め韓復榘氏には馬鴻逵軍を援兵として北上せしめると共に現銀卅八萬元を急送して山西軍との妥協を叩き壞し各方面の措置が完全になつたので去る二十日頃から蔣介石氏の主力は再び馮、馮兩軍の主力に攻擊を加へ始め目下激戰中である蔣氏の此戰ひは存亡に繫るところとて非常な意氣込みである、若今回も尙不利を招けば始めて廣東に退くか或は蚌埠に喰止めて江浙を堅めるかを定めるであらう、蔣氏としては浦口に汽船を停泊せしめての全くの背水の陣である、一方北軍の總司令閻錫山氏は韓復榘氏との妥協決裂したる爲め太原に返り各將領の代表軍事會議を開いてゐるが主として軍費の捻出に關してゞあらうと見られてゐる

廣東引揚げの準備を整ふ

浦口に汽船を用意し

【上海特電二十二日發】蔣介石氏は廣東へ退き再擧を策するもの〻如く浦口に三十餘艘の汽船を碇泊せしめ津浦線の列車は全部徐州、蚌埠一帶に集めた南京總兵站は既に二十日から前線へ送る軍用米の輸送を停止し朱紹良、許克祥氏はこれに關する何等かの命令をうけたらしく前線に赴かず南京で活動してゐる

顧震氏赴津

既報閻錫山氏の特命を帶び來連中であつた山西軍第三十六軍長顧震氏は、目的の要件を果し廿二日出帆長州丸で天津に急遽赴く事となつたが、同氏の歸津後、山東方面の情勢にある變化を來たすものと見られてゐる

張學良氏を副司令に

國民政府任命

【南京二十一日發電】國民政府は本日張學良氏を陸海空軍副司令に任命しその旨直ちに發表した、これに依り二月以來の懸案が解決した譯だが然かも尙奉天軍の北軍討伐參加は期待し難しと見らる

一木宮相若槻全權を訪ふ

十九日午前九時四十分一木宮相を本鄕の自邸に迎へ、約十分位會談の後直ちに全權は宮中に參內して歸途閣議に臨むだが、參內は別に表面的の理由はないと云つてゐるが多分何かの御沙汰があつたものであらうと云はれてゐる

郭泰祺氏逮捕命令

北方寢返りて

【上海廿一日發電】南京政府は前上海交涉員にして現イタリー公使たる郭泰祺氏に對し北方寢返りの理由を以て職を免じ逮捕命令を發した、郭氏は目下北平に滯在中である

飛行機用甲板を巡洋艦に整備か

アメリカ海軍で研究

【ワシントン二十一日發電】米國海軍當局は目下アメリカの巡洋艦噸數の二十五パーセントに對し飛行機着艦用甲板を整備するとの條項が可能なりや否やを研究中である、目下アメリカ巡洋艦は飛行機着艦甲板の裝備なく六臺の飛行機を搭載し得るのみであるが、專門家は甲板を附することに依りて十八臺の飛行機を運び得べしと計算してゐる

財部海相懇談

【東京二十二日發電】財部海相は二十一日午後六時から緊急會議に召集した各鎭守府及び艦隊司令長官、要港部司令官を麻布興津庵に招待し接待大いに努め重ねてロンドン會議調印事情、統帥權覺書問題、軍令部長更迭、新國防計畫等につき諒解を求めた

怪文書を送附

【東京二十二日發電】先頃ロンドン會議回訓決定の經過に就て樞府側に怪文書を送附し來るものあり此の種策謀逐日增加の傾向に在り政府では憂慮して御諮詢奏請を急ぐ一原因も此處にある模樣である

共產黨大會は圓滿に進行

赤衞軍が蹶起することなく 依然スターリンの天下

【ハルビン特電二十二日發】最近ソウエート聯邦から歸朝した某氏の談によると廿五日擧行する蘇聯第十六回共產黨大會はスターリンウオロシーロフ將軍との確執により延期されたので、ウ將軍及幹部中にはスターリン氏に對し心よしとせぬものも相當あることは事實だが、さらばと言ふて直に赤衞軍を率ひて叛旗を擧げることはウ將軍としても希望しない、其れは內部の爭鬪は結局第三國の餌食となることを怖れてゐるために黨の分裂と政體の變革まで抗爭する意志はないから共產黨大會は圓滿進行するものと信じられてゐる、赤衞軍が蹶起すれば勿論一日にしてスターリン派は粉碎されることは當然である、然しさうすることによつて益々ソウエート聯邦が窮地に陷ることは反對派のものでも好まない、從つてスターリンの天下は續くものと見られてゐる、最近ポーランドとソウエートの危機が傳へられてゐるが、見解の如何によつてはさうだとも觀測される、何分ポーランドは英、佛のバックを有しラトウイヤ、ブルガリヤ、リトアニア、チエツク等の小諸國を糾合し其の盟主となつたのであるからソウエート聯邦に對しても赤英、佛の一樣國同樣の態度に出で自然兩國間には爭ひが絕えぬが、ポーランドがソウエート化すると否とは歐洲諸國獨、佛其の他の存立上に重大な影響を有するので反ソウエートの各國はポーランドを看板に萬里の長城を築いてゐるやうなものである、從つて盟主としての意稱を贈りソウエートを牽制せしめてゐるのである、ロシヤの赤衞軍は常備八十萬鐵道守備其他で百二十萬と稱し武器は歐洲大戰

日曜閑話

世界の中心に居る

中道を行くが矢張り眞理

スピード時代、尖端時代、猫も杓子もトップを切ることが時代の流行とある。決して惡いことではない。生存競爭の世の中、適者は生存し不適者は落伍する。極言すれば弱肉强食の世の中だ。滔々たる流行に遲れんか、それこそ時代の敗北者、すくなくとも世間から忘れられる恐れがある。社會の記憶に牢として忘れざらしめんがためには、やはり時代の尖端を行かねばならぬことになる。

× ×

が併し眞は前にも後にも、また右にも左にもなく、むしろ中央に發見されるのではあるまいか。支那の諺にも中庸などいふ熟語が出來たくらゐで、遍せず、片よらぬといふ平凡なところに、人間生活の眞理が存在するのであるまいか慢々的で遲れるも困りものだが、さればとて尖端を行くことは危險この上もない。飛行機や自動車に危險の伴ふのも全く打ち消ずことの出來ぬ事實である。尤も少しぐらゐの危險を恐れるやうでは進步も發展もないことになるが、そこに中庸を得るといふところに隱當さがあるやうである。眞理は常に平凡の裡に存在する。

× ×

記者の友人に少し風變りの男がある。彼は曰く、オレは如何なる場合でも悲觀もせず、また樂觀もせぬ。常に世界の中心に頑張つてゐるのだ。大隈伯は孔子の弟子だといつてゐたが、オレはソクラテスの弟子だといふ男で、哲學も勉强するが、また科學方面にも相當首を突き込んでゐたのであるから地球はコロムブルの發見以來、圓いものと相場が極つてゐる。地理が圓であるなら、その地球の何處に居つても世界の中心に居るといふ常識なのであるらしい。ところが、この先生は、この原則を人間生活の現實に應用し、何時も世界の中心に居るのであるから、樂觀するの必要もなければ、また悲觀するにも及ばぬといふのである。少し理窟に過ぐるやうではあるがその通りではあるまい。

× ×

世界の人類が悉く尖端を行つたとしたら、それこそ問題ではあるまいか。如何にスピード時代だからとは申せ、餘りに速力を出し過ぐると小さい世界を飛び拔けるやうな危險がないでもない。中庸とか中心とかいつて、眞理は常に中央にあることを忘れてはならぬ。姑息に流れるのも面白くないが、さりとて突飛なのも危險である。殊に誰れも彼も尖端を、尖端をと走るのは危險この上もない。しかもナンセンスで、ただスピード時代、尖端時代と無目的で飛び出すのは、無價値のことではあるまいか。

× ×

泰然自若と腰を拔かしてゐたなどといふのは困るが、譯もなく流行を追つて尖端、尖端と由字を叫ぶのも考物ではあるまいか。大地に堅實な步みを運ぶことが安全第一であり、有意義、有價値なことではあるまいか。人生觀など〻ましくいはずとも根なし草は枯く、時代に操縱あらしむることも肝要である。オレは世界の中心に居るのだといふのは、必ずしも慢不遜の言辭とのみ貶すことは出來ぬと思ふ。一時、功成つて草枯るといふこともあるが、功は幾の奴となるといふことも眞理であり、ある種のエキスパートなどは社會の犧牲などといふことも肯れ得る事柄であらうと思はれる

(一記者)

鐵道省の人件費切詰

相當人員整理

【東京二十二日發電】本年度の減收二千萬圓によると言はれて居る鐵道省は超特急の實施、サービス改善等挽回策に腐心して居るが遂に人件費の切詰をなす外策つきて職員の大整理を行ふ事となり東京鐵道局は廿一日高等官待遇二名判任級驛長、助役、信號所長、機關庫主任計卅四名の老朽整理を發表した、これを手始めに各鐵道局にも波及し全國の整理は相當多數に上るものと觀られてゐる

に使用したもの其の以後の新々器を有し日本よりも武器の點は優つてゐるも劣つてはをらない、唯素質は敎育の普及してをらない爲め將校も下士卒も共によくない、特にシベリー軍は低下する

母子扶助法の制定を叫ぶ

內相に決議文を手交 社民婦人同盟の運動

【東京二十二日發電】我が國失業者の數は百萬を突破した、產業資本家の採つた產業合理化、減產擴張、操短繰延べ等と速射砲的經營策に依り失業者の貯水地は益々深さを增すばかりである、最近頻發する貰ひ兒殺し事件、主婦の夫殺し、子殺し、一家心中、母子心中等は殆ど總てが一家の働手である主人や家婦の失業に依る生活難に起因してゐる最近は又朝食を喰はないで登校する學童、辨當を持たないで登校する兒童が激增した、之又父親又は母親の失業又は就職口の激減に依ること明かである、以上は失業者自身の重要問題であるばかりでなく愛兒の問題であり母性の問題となつた以上の事實を擱記して社會民衆婦人同盟全國協議會では二十一日母子扶助法制定要求に關する決議文を可決し二十三日赤松恒子夫人等八名が安達內相を訪ひ決議文を手交するのを手始めに全國的大衆運動に依つて促進運動開始を申合せた

間島支那官憲の共產黨剿滅方針

聯席會議にて決定

【間島特電二十一日發】間島における五月三十日の暴動事件は支那側でも重大視し既報の如く之が眞相調査及び對日關係視察のため吉林省政府より章民政廳長、王警務處長、趙課處長等一行二十四名の特派を見たが、前記三氏は十七日局子街警備司令公署で張市政籌備處長、吉警備司令、孫延吉處長等首腦級と共に軍、政警聯席會議を開催し共產黨取締方針につき協議を重ねた結果

一、省內各縣に軍警を以て共產黨搜索隊を組織し住民の家宅を一齊に搜索して共產黨員を逮捕すること

二、省民、學校敎職員、學生等注意を加へ共產黨に加入することを嚴禁すること

三、各地日本領事館及び外國居民を積極的に保護すること

等を決議し、近くこれが實行に着手すると

姑息な不景氣救濟策 成功は期待し難い

政府は民間事業の整理を促進

井上藏相の演說

【東京二十二日發電】井上藏相は二十一日民政黨政務調査總會で世界的不況と日本財界との關係につき左の如く演說した

我が國の不景氣は主として世界の不景氣に起因するから姑息な救濟策の成功は期待し難い、これに反し根本對策としては我が國生產能力にして需要に超過するもの例へば造船業等は能率惡しきを轉業させ殘つたものには補助金關稅保護を與へる等根本的整理が必要で製鐵業も同樣である、根本的整理をせずに漫然關稅保護を行ふのは却つて將來に弊を殘す此の際政府は思ひ切つてある程度迄民間事業に立入り財界・整理を促進する外なしと信ず財界不況對策として政府の財政經濟方針變更說を唱へる者もあるが事は當面の問題だから旨ふもの〻如く簡單に行かぬ今日迄の入超は二億一千五百萬圓で昨年より六千萬圓以上減つたが生糸は安ければ充分賣れるから國際貸借はバランスが採れると考へる

社員の預り金問題となる

神鞭理事が考慮言明 整理すれば年二百萬圓浮く

【東京特電二十一日發】滿鐵の退職者は受取つた退職慰勞金を滿鐵に預金するのでその元金が今では一千五百萬圓、利息(八分四厘)一年百二十六萬圓の多額に達し退職者はこれを擔保に銀行から借り出し利鞘を稼ぐを通例としてゐるが、これにつき株主間に問題とする者出で最近神鞭理事から愼重に考慮すべき旨、言明したが、右の外、社員の自發的貯金(現在八百二十萬圓)に對し八分三毛、身元保證金積立金(現在三千七百圓)に對し九分の利息を支拂ひ計して元金六千萬圓、利息五百萬圓の巨額に達することになり市場利率に比し高過ぎる上に退職社員にまでかゝる恩惠を與へることはどうかと斷然これを整理して節くも年二百萬圓を浮ばせ滿鐵多難の折これをサービスの改善に振り向けるが良いとの聲も昂く仙石總裁の大鉈をこの方面に振ふこと期待されてゐる

製鋼所問題は上京してから

けふ伍堂顧問上京

滿鐵顧問海軍中將伍堂卓雄氏は既報の如く上京する事となり廿二日出帆ばいかる丸で出發したが、滿鐵關係者の賑やかな見送りのうちに上京用件に關して次の如く語る

本來なら總裁と一緒に上京の豫定だつたが、こちらにも色々忙がしい用事があつたので遲れてしまつた、まあ一ヶ月位で東京でなければ出來ない樣な問題を片附けてくるつもりだ、それに近く關稅問題の件で仙石總裁が井上藏相と會見する事になつてゐるからその打合せにも是非顏を出したいと思つてゐる、昭和製鋼所の問題なぞもまづその後の話で今のところ伺とも言へない、要するに製鋼所問題は上京用件の大きいもの〻一つだが、これはあちらに行つた上でないと問題にならぬ

一時松田拓相を拓務省に訪問して設置場所としての鞍山、大連の得失について關東州內の有利な點を種々陳情するところあつた、又朝鮮側においても同じく同日朝拓相を訪問するところあり滿洲委員に對抗して新義州設置の猛運動を起しつゝある模樣である

太田長官歸任

【東京二十二日發電】太田關東長官は二十二日午後九時四十五分東京驛發歸任の途につく

上京委員運動

拓相に陳情

【東京特電二十一日發】昭和製鋼所大連上京委員たる石本、小澤、鶴崎の三氏及び金州の加世田氏等は運動本部を麴町區內幸町中央ホテルに設け各方面に說明運動をなしつゝあるが、二十一日は午前十

人事

▲伍堂卓雄氏(滿鐵顧問) 廿二日出帆ばいかる丸にて內地へ

▲菅田勝晴氏外九名(大阪參事會員一行) 同上

▲石本憲治氏(滿鐵上海事務所長) 廿二日出帆奉天丸にて上海へ

▲レムビッチ氏(ザリヤ紙主筆) 同上青島へ

天氣豫報

廿三日(南西の風)晴一時曇

滿潮(午前 七時四十分 / 午後 七時四十分)

干潮(午前 零時五十五分 / 午後 一時五十分)

新興の港・甘井子

名乘りあげん モダン港の序曲
新興の歌ごゑもいさましく 一本立の日を待つ（A）

ミナト、甘井子、彼は今あしたを約束され彈づむ歡びに息づいてゐる、スク／＼と延び切つた四肢に三〇年型の清新味が漲つて、モダーンミナトのあけくれは新興の歌に勇ましくワイヤーの螺旋とショベルの尖鋭とハンマーの唸りにやがて來るべき一本立ちの日を待つてゐる、七月一日それは彼が裸身となつて世の中に名のりを高々とあげる日だ、その日を前にして、むかし驟馬の嘶き聲がロシヤ町波止場に屆いたといふ古老の記憶を遠い過去の想ひ出に塗り潰してしまひ、今、ボタン一つで動き廻る機械化され電氣化されたモダーン甘井子港と姿を變へたのだ

◇　◇

「ビーヤーカー」「ホッパー」「ローダー」「ベルトコンベーヤー」「トランポーター」エトセトラ…甘井子の街はこれ等の難易な機械專用語で覆はれてしまつてゐる、灰色の巨大な鐵材の縱横によつて組立てられた近代機械の冷めたい横顔「石炭積込機」「カーダンパー」みゝずの樣に延ばされた數十餘のレールの物靜かさ、昂然と聳え立つ白堊の司令塔、ブリッヂトランポーターの偉大な容姿、聳立する投光機の凄じさこれらの數々は甘井子の堅い素描に外ならない

◇　◇

さて諸君！「ツリランプ」とは何か？「ツリチョウチン」とは何か？、甘港に女はつきものよ……、甘つたるい新興の港の情趣に囁きぬ興を呼ぼうではないか、鐵材の隙に秘められた戀の色彩り、斷髮美人のなやましき嬌笑、ビーズののれんをくゞるとプーンとくる關東煮の匂ひ、それら柔かい線が鐵と石炭とによつて構成された甘井子の街に女の髮の毛の樣にべツトリ纏はりついてゐる、大連の街の灯をみながら酒盃をふくみ「イルミネーションの樣ね、あゝ變なんだつてこんなところへ來たんでせう」オンリー十分間、ポッポ船に搖られゝば大連といふ都會の空氣が幾らでも吸はれるといふに妓達はいつの世にも仰々しい

◇　◇

かくて「大連が百萬人の人口になるとき甘井子は一番北の端になるわけです」といはれる甘井子、これから解剖の筆を進める【寫眞は甘井子埠頭の遠望――上――この地の元締め甘井子埠頭ビル】

けふ撫順で開幕の全滿リレー大會
絶好の天候に大觀衆殺到して 熱狂・參加選手力闘す

【撫順特電二十二日發】撫順體育協會主催の全滿リレー・カーニバルは二十二日午前十時より永安臺トラックに於て全滿競技會の大なる期待を擔ひ開始された、この日初夏の風なごやかに吹き絶好の運動日和であつた、また各出場選手も最初の優勝の榮冠を得んものと戰前既に意氣天を衝く有樣である、定刻大連神明高女チームを先頭に撫順小學女生徒、大連アスレチック倶樂部、南滿工專、大連商業、オール鞍山、オール奉天、オール長春、撫順小學男生徒、オール撫順の各チームは各旗幟を先頭に堂々入場式を行ひ中央役員席前に整列「君が代」齊唱について各チーム代表の撫順礦磯一郎選手はポールに大日章旗を掲揚し、續いて久保會長開會の辭を述べ愈々滿洲最初のリレー・カーニバルはスタンドを埋める觀衆の熱狂裡に火蓋を切つて落した

▲小學男生徒四〇〇米リレー
一着　永安小學（一分〇秒三）
二着　千金小學三着新屯小學

▲小學女生徒四〇〇米リレー
一着　千金小學（一分〇秒三）
二着　永安小學三着新屯小學

▲百米豫選
一部A組
一着　岡健次（大連アスレチッククラブ）一〇秒八
二着　今井利建（全奉天）
三着　久保勇（大連アスレチッククラブ）
四着　式根篤之助（大連アスレチッククラブ）

同B組
一着　小須賀晉一郎（大連アスレチッククラブ）一一秒二
二着　田中盛一（全撫順）
三着　中村茂（大連アスレチッククラブ）
四着　光野定（全奉天）

二部A組
一着　多田太郎（育成）一一秒二
二着　中島克己（長春）
三着　坂田恒夫

同B組
一着　松崎勇（長春）一一秒六
二着　菅原英雄
三着　肥田（安東）

同C組
一着　赤城明
二着　末永茂正
三着　田中（安東）

高松兩宮 パリ御歸着
廿六日倫敦へ

【パリ二十一日發電】高松宮、同妃殿下には二十一日バーゼルよりパリへお歸りになつた、新任の芳澤大使は停車場にお出迎へ申上げた兩殿下はいよ／＼二十六日ロンドンへ向はせらる

江連力一郎 明治節に假出所
司法省の肚漸く決る

【東京廿二日發電】海賊船大輝丸船長江連力一郎（四九）は殺人强盜で懲役十二年に處せられ目下小菅刑務所の模範囚として服役、服役一年六月に及んでゐるので先般來頻りに假出所説が擡頭してゐたが同人の假出所については吉田所長も深甚の注意を拂ひ過日司法省へ向け許可申請を提出し司法省でも愼重審議の結果、來る十一月三日明治節當日午前六時半に假出所を許可することゝなつた、司法省當局が江連を明治節當日の早朝假出所せしむるに決定したのは國家的祭日に出所せしめ皇恩の廣大なるを知らしめ、且つは今後改悛を誓はせるに最も時宜に適し有効であるため明治節を選んだものである

賑はつたけふ春日池畔の小銃射撃大會

突如、外務省で判任官廿名を馘
人件費節約のお手本を示す タカをくゝる古株連

【東京二十二日發電】緊縮内閣の外務省では七日書記生よりの古參判任官を二、三人領事に任命してその儘馘首したのを手始めに、二十一日突如判任官約二十名を一齊に馘首して人件費節約のお手本を示した、驚いたのは後進の道を開いてゐる古株連だが外務省人事行政の行詰りが兎角噂に上つてる折柄だとて總連までには及ぶまいといつてゐる多勢の歸朝大使連は多寡をくゝつてゐるといふが、さて幣原外相の胸の裡は如何であらうと噂取り／＼である

石本所長赴任

今次の滿鐵職制改正によつて情報課長から上海事務所長に榮轉した石本憲治氏は廿二日出帆の潢天丸にて取敢ず單身上海に向つて出發したが、埠頭には新聞通信關係者、滿鐵社員並びに支那側要人の見送り多く頗る賑はつた

日曜と好天氣に臨時競馬賑はふ
◇―けふ午前中の成績

臨時競馬の二日目、二十二日は日曜、加へて絶好のレース日和、朝のうちよりファンはどし／＼と星ケ浦競馬場目指してなだれ込む、午前中に四競馬を行つたが鬪れる樣に人氣を煽つた、午前中の勝馬及び配當は左の如し

▲第一競馬（緊駕速歩）三千二百米、第一着勝會（山下）八分十五秒一、第二着東山、第三着千里（配當八圓七十錢）

▲第二競馬（春抽）千六百米、第一着有明（堤）二分十三秒四、第二着白眉、第三着白金（配當七圓）

▲第三競馬（各抽）二千米、第一着豐（内田）二分四十二秒四、第二着春日、第三着羽衣（配當十五圓四十錢）

▲第四競馬（新古呼）千六百米、第一着松島（内田）二分六秒四、第二着月星、第三着ナシ（配當十四圓）

差入れ辨當を貪り攝り人もなげなる高鼾
留置場に一夜をあかした林芳治 けふ取調べ差控へ

廿一日午後大連署で逮捕され同時に藤井司法主任より一應の取調を受けた南山寮の殺人および殺人未遂犯人林芳治（三〇）は、訊問が濟むと同夜はその儘薄暗い留置場に繋がれたが、逃走中は滿足に食事も攝らなかつた事とて頻りに

空腹を 訴へ警察よりの差し入れ辨當をむさぼる如く一粒の飯も殘さずペロリと平げた。而して逮捕された安心と山また山を驅け廻つた疲勞が一時に出たものか大の字に仰向けとなり傍若無人の高鼾をかきグー／＼熟睡した。併し未だ昂奮狀態にあるので、二十二日は取調を控へたが、林はソンナ事に

無關心 で眠りつゞけてゐる、なほ林の盲貫銃創は一週間位で全治の見込みであると

監視の警官隊 學生代表を檢束
學校側と會見も要領を得ず 日大事件更に惡化か

【東京二十二日發電】日本大學各部學生代表高木、増田、永田ほか一名は二十一日午後七時半學校側代表を訪ひ提出した二十ケ條の要求につき回答を求めたが要領を得ず、學生側の要求した顛末報告學生大會の開會をも拒絕したので學生代表は引揚げたが、校門口に監視してゐた西神田署警官隊は有無をいはさず四名を檢束し増田以外を留置してしまつた事態は更に惡化の模樣である

名勝の木曾川兩岸を天然記念物に指定する

【東京廿二日發電】文部省は名勝木曾川兩岸の草木岩石が年々伐採または切り取られて將來その風致を毀すおそれがあるので、兩岸から一里の巾にわたり天然記念物指定をなす意向で調査中である

浦高學生新聞編輯員を停學に

【浦和廿二日發電】浦和高等學校は廿一日同校の學生新聞浦高時報編輯員文科學生二名に一週間の停學を命じた、新聞禁止の前提と見られる

華語講習所成績

關東廳では本年四月來旅順一ケ所大連五ケ所に支那語講習所を設け鋭意在留邦人に支那語を獎勵しその普及を圖つてゐるが現在の講習生は旅順四十名、大連四百三十二名都合四百七十二名の多きに及び開設以來の盛況を呈してゐると

哈大YMCA對抗競技
日取り決まる

既報二十一日夜着連したハルビン露國YMCA運動部と大連YMCAとの對抗ゲームは左の日取りにより擧行されることに決定した
▲二十四日午後五時半バスケツトボール ▲二十五日午後五時バレーボール ▲同日午後八時ピンポン ▲二十六日午後五時半バスケツトボール ▲二十七日午後五時半バスケツトボール（但し一勝一敗の場合）
因にバスケツト及びバレーボールは大廣場屋外コート、ピンポンはYMCA體育場で行ふと
・・・・はるびん丸 廿三日午前九時港外着の豫定

銀翼を連ね戰鬪機奉天着
東北省に貸與の三臺 殘る六機の空中輸送は未定

【奉天特電二十二日發】わが陸軍から東北側に貸與する陸軍機のうち戰鬪機三臺は平壤飛行第六聯隊將校操縱し今朝九時平壤發、途中新義州でガソリンを補給し十時十分銀翼を連ねて大東門外東北航空隊飛行場に到着した、殘餘の六臺の空中輸送は未定である

艶色生膽祕譚 (150)

伊藤松雄作　河原縁亀太郎畫

辻斬(三)

「親分、愚圖々々しちやアゐられませんぜ」

「うむ!」

「根岸の寮でバッサリ斬られたなア、例の阿彌陀醫者だときまつて見りやア、かねての目星に間違えはねえ筈、唯腑におちねえなア、あの武士でさア」

「血卍の左近よ!」

「さうときまりやア尚更ぢやアござんせんか」

四の巖三がいきりたてばたつほど長太はおちついてくる。

彼が胸中にはもう一つとけかねる謎があつた。

「吉原堤の辻斬沙汰、こいつもほうつてはおけねえ」

と、格子が靜かに鳴つた。

「お歸んなせえまし」

妙香と欣彌の二人だつた。

「どうでしたい、口寄せの婆さんは!」

巖三は自分がすゝめたことだから氣になつたらしい。

「はい、おかげさまで」

「出ましたかい?」

が妙香も欣彌も唇をつぐむでゐた。

「やい、よさねえか、おかしな野郎だな、そんな、生口死口何んでも寄せるなんてえ婆アに仇の行衛が判るやうなら、何んで御姉弟がこれまで御苦心なさるもんか、莫迦々々しい」

長太は苦笑した。

「お疲れでせう、お息みなさるがいゝ」

「はい、有難うございます。それに多少の心當りがつきました故今宵は吉原堤へまゐるつもり故、いまのうちに少しやすませて頂きませう」

欣彌が挨拶をすませて立かゝるを巖三はとめた。

「吉原堤へその仇って野郎が現はれるとでも、婆アが云ひましたかい」

「いやーー」

欣彌は當惑した。

と、長太までが眉をひそめて云つた。

「吉原堤はよしになされ、近頃夜かつゞけて、ぶきみな辻斬が現はれるて噂でさア」

「えッ?辻斬、あの吉原堤へ?」

欣彌は眼を見はつた。

「大事なお身體だ、とんだヒヨーキン者に傷でもつけられちやアとりかへしがつきませんや」

「いかにもーー」

が、妙香と欣彌とは妖婆お力の言葉がいまさら裏書きされたも同然、いよいよ晝の中身體を休めておいて、日暮れから堤へ出かけて見る考へはきまつた。

「いろいろありがたう存じます」

二人が二階へ上ると再び巖三は言葉をついだ。

「それに親分、例の火定修法つて怪しい坊主、あいつも愈々近いうちにやつつけるらしうございますぜ」

「ふうん!」

「ぢれつてえなア、一體どうするつもりなんですい!」

「まア、待て、どうで俺たちの手に餘る大捕物よ、陣張らなきやア手も足も出ねえ、まさかにこゝまでつきとめておいて、うまうまヅラかられちやア恰好がつかねえ、その手順を考へてゐるのよ」

長太は瞑目して考へふけつてゐたが、

「一寸出かけてくらア」

いきなり立上つた。

「どちらへ?」

「うむ、どこでもいゝぜ、てめえもやすんでおくがいゝぜ、今後にも一骨折つて貰はねばなるまいて」

長太は下唇かんで履物をつつかけた。

捕物陣の手筈定めらしい。

◇◇海水着の女優サン◇◇

惱ましい夏の裸體宣傳のトップを切つて帝キネ・スタヂオからイットを郵送して來た。寫眞は林檎に嚙りつく歌川八重子とバナナに食慾を[illegible]鈴木澄子

懸賞募集

問題　日活映畫『この母を見よ』の上映期日?『この母を見よ』と組合す時代劇の題名?

締切期日　六月廿五日限り

賞品　一等賞金側懐中時計(一名)　二等賞金側腕時計(一名)　三等賞クローム側腕時計(一名)　等外大日活入場券(百名)

主催　滿洲日報社演藝部

キネマと演藝

「この母……」の出演者　近く來連か

あどけない容姿によつて賣出した日活の花形女優瀧花久子の最近の藝風は一變して性格女優として著るしい進境を示し目下本紙連載中の「この母を見よ」に主演し倭子に扮して注目されてゐるが、近く來連する日活幹部俳優の一行に加はり時に「この母を見よ」の主演者として挨拶のため來連するやも知れない、尚「この母を見よ」に祥子に扮してバンプ役を演じてゐる入江たか子も亦、來連組の候補者で、瀧花久子と入江たか子のうち何れかに決定すべく「この母を見よ」の出演者が七月中旬頃に來連するものと見られてゐる、尚これ等の用件を帶びて大日活館主長次郎吉氏は廿二日出港のうらる丸で京都へ赴いた

締切期日が迫る　興味を唆る懸賞募集　この母……上映期と時代劇?

本社演藝部主催の日活現代劇特作品「この母を見よ」の大連上映期日及び同映畫上映週間の日活時代劇題名の懸賞募集は讀者ならびに映畫ファンの興味をそゝり續々として回答が到着しつゝあるが、果して「この母を見よ」は何月何日から大連のスクリーンを飾るやファンの心をそゝる疑問となつて締切期日も愈々迫り上映期日近しと觀察され日毎に回答が激増しつゝある、また時代劇は依然として大河内傳次郎と片岡千惠藏の主演映畫が接戰をつゞけつゝあつてこれまた大きな興味と疑問のうちに解決の日が近づき當選の榮冠は誰に?締切期日は來る廿五日限りであるから奮つて應募されたい

東和商事から來てゐる秋本君、歳は若いが流石にしつかりしてゐると意味あり氣に感心してゐる向きがある▲ソプラノ歌手の關鑑子さん、赤い唄から尾行がつくやうになつたが▲何とも思ひません、殊に田舍に獨りぼつちで行く時は安全第一です、こんなお婆さんになつてもね、と涼しい顏▲また高勇吉クシとは音樂學校の同期生だけに遠慮のない二人をならべて▲揃合ひ漫談をやつたら斷然面白からうと言へば何を言ひだすかわかつたものでないと許りヘティー夫人がイケマセンく

大連 JQAK

六月廿三日午後七時卅分

▲ラヂオ體操(イ)初心者練習(ロ)熟練者運動
▲レコード管絃樂「動物の謝肉祭」(サンサーンス作)(イ)道入部と獅子王の行進曲(ロ)雄鷄と雌鷄(ハ)驟馬(一)龜(二)象(三)カンガルー(A)水族館(B)長耳の扮裝人物(C)森の郭公(イ)鳥(ロ)化石(ハ)白鳥(一)ピアニスト(二)フイナーレ「無言歌」(イ)短調「チャイコフスキー作」(作品四〇ノ六)
▲浪花節(橘中佐)白川小舟

東京 JOAK

六月二十三日午後八時

▲ラヂオドラマ「梟」武田良治作 配役、新三郎(林幹)佐太郎(坂本猿冠者)おせん(村田米子)指揮(石川啓一)效果(稻田辰雄)
▲常磐津「加賀見山七ツ目」淨瑠璃 常磐津勘式輝、同勘式辨、三味線同勘右衞門
▲連續講談「富岡と藤十郎」第一席 神田伯治

短歌の一動向
—主に新興短歌について—
高尾雄峯

短歌といふ、日本人のもつ傳統文學すら、今は新しい時代の動きの前に、異常の昂奮と動搖を來して來た。

今歌壇に少くとも三つの潮流を明かに發見することが出來る。千餘年來の傳統から脫出し得ぬ、保守派に屬する所謂萬葉集派と保守傳統の羈絆から幾分か逃れる事の出來た寫生的な從來の口語歌風と今一つはこの總ての束縛から脫却して起つた新興短歌の一派である

新興短歌は初めプロレタリア、イデオロギーの標語の下に集團を作つたものと考へられる。勿論數から言へば少數であつてこれを從來の歌風に導かれてゐる者とは到底比較にならぬ數ではある。が、然し時代の新傾向として問題づけられた事は注目すべき事である。

即ち所謂新興短歌が從來の定形律五七五七七の形を全然無視して生れ出でたが爲、在來の「和歌」といふ名稱に閉ぢ籠つてゐる多數歌壇のある中にありて——短歌は何處へ——即ち餘りに動いて、餘りに行き過ぎて、新興短歌が和歌の外へ飛び出しはしないかと云ふ取越し苦勞が生じた譯である。

新興短歌に對して、歌壇の多くの批評は大凡そ非難に傾いてゐるやうである。內容を形式の揚棄といふことをそのスローガンに傾けてゐるからである。短歌が短歌として存在するのは、そこに定型があるからで、この定型は永久不變のものである、これを變更することは新らしい詩の創造であつて決して短歌そのものではないといふのである。

これに對して石榑氏は定型の變改を行ふのではなく、揚棄するのであると云つてゐる。

斯くて新興短歌をひつさげて石榑茂氏は昭和三、二、の「短歌雜誌」に「短歌革命の進展」と題して從來の短歌にたてついたのである。

いふまでもなくその主旨とするところは前述の如くプロレタリアイデオロギーの標語の下に集團を作るにあつて、論議の對象は例の從來の寫生的な歌風を導く「アララギ」であつた事、初め「アララギ」の反動化を指摘して、その打倒に目標をおいたことゝか稍沈滯の歌壇に一脈の淸風を注入した觀があつた

けれど同論文は齋藤茂吉氏の好敵となつて此處に一般歌壇の注目を惹いて、論難は連續した、結局生れた許りの研究中だつた新興短歌を代表する石榑氏は老獪な齋藤氏の論鋒に射すくめられた樣な觀はあつたが、それはとにかく沈滯の歌壇に一石を投じた事だけは、吾人の注目に價すると思ふ。

五七五七七の定型から脫却した事は、外に飛び出した事に違ひない、何と言つても在來の保守的和歌のみでは餘りに狹隘に過ぎその上その道に這入る事が素人にとつては困難である

此の意味で新しい生れた許りの新興短歌に對して一般人も、又保守派の人達もしばらく默して、何處まで新鮮味を表はす事が出來るかを見てやる事である、そして自由な外野を與へた各傾向の和歌に對して、靜觀の後、全體に對してうんと攻めるがいゝ私は此處に攻めると云つた、今攻めると言つた事は從來の型の中に這入つて堅石をかける意味ではない。此事は吾人の深く研究する事であると思ふ

然しながら、一般に歌はれてゐる樣に、新興短歌が重大な要素として公約せられてゐる樣に、たゞ單に、プロレタリア、イデオロギーを全てに有せねばならぬとするならば、それは歌にとつて、藝術にとつて最も恐ろしい事である。

唯、これをスローガンに掲げる式ならば、それは破壞である。

新興短歌の行くべき道は自由詩であらねばならぬのに、自由詩は自由詩か自由主義の詩形であるといふのは、ブルヂュアジーの詩形であるからでもあらうか、こゝに甚だしい矛盾がある。新興短歌はその詩形が變化あり、自由にして複雜なるに加へて平易と大衆性を有する事により、內容を充分にこなせる事によりて生ずるものと見られる。

今まで讀まれた此の種の短歌が(代表的新興短歌)一向短歌らしい氣持を表はしてゐないと同時にたゞ、それが短句又は短文の樣な氣持が第一印象として殘るのは矢張り新興短歌をプロレタリアを標準として歌ふた結果ではあるまいか、それは陰慘な言葉を綴つたノートブックの記錄みた樣なものではあるまいか?

面白味はあつたとしても何となく思案の結果の成物で、ただただしい語錄の一綴りの樣に見得られる成程その人の置かれる階級に依つて、自らにしてその表はれるところのものは異なる。然もそれはその藝術である以上、自らありのままの觀察に依つて表出さるべきで、自己の爲めにする外部的な思想やイズムを以て强制的に左右すべきでは斷然ない。

要するに主觀は主義であり、藝術は藝術であり、手段は手段であらねばならぬ。私達は此等に對して願ひたい、幽明境を異にするとも言へる短歌迄も主義化す勿れ、と、

スローガンを强ひて短歌の中に押し込まないでスローガンはスローガンとして歌と云ふ樣な觀念はふり落して無產生活章とか無產派語錄として短歌の區域から分離してもらひたいと思ふ。

この利己感情をふりすてたなら「形や名目はどうでもよい、實質が詩であり、歌であつたならば、人は翕然としてこれに從ふ時があると思ふ、例へば和歌から俳句が分離した樣に——。

保守から離れる事は危險ではある。だから途中に於て行き詰る事もあらう、だが又それを打ち破つて行く——。

だが、その一方にあつて、全然行詰りと云ふ事を意識せざる一派は、靜かに非藝術的に取り殘されて行く、そして益々硬化して行く。

現在發表された作が、詩として讀むに堪へるか歌とするに良いかは私より諸子の第一感にまつとして、試みにいくつかの作品を擧げてみやう。

月夜の工場はいつまでもいつまでも夜業の燈つひにあの中に芽ぐみゆくもの　石榑茂

さびしいと思ふと何か白い花が木にたくさんさいてゐる　大熊信行

誰一人本當の事を敎へて呉れない寂しさの中に私は育つた　五島美代子

素足に土を踏むよろこびかこの幼子をどうするかを要よ見のがすまい　楠田敏郎

きたない字がタイプライターでうち出され行儀よく美しい列をつくつてくる　浦野敬

われにかへりし時つめたきなみだ頬をつたひゐき　宇都野研

豐芦原瑞穗の國に生れてきて飯がくへぬとは嘘の樣な話　安成二郎

俺の青春は過勞と粗食のなかに日の目もあはずしぼんでしまつた　伊澤信平

もとより此等は發表された中の極少數を抄出したに過ぎぬ、各種の傾向も分類せず、雜然と置いた解であるか、これを詩として讀むに堪へる作品となし得るであらうか、取材の上に相違があつても、彼の死んだ若山牧水が嘗ての日の名「言さうですか歌」の戰鬪を出してゐない事である。

幸ひにして滿洲短歌界に於ては「初光集」の名の下に新興短歌の發表する事は喜ばしい事である。而も同誌の初光集の新興短歌が創始の思想たりし、イデオロギーを全然含有する事なく、豐な氣持の良い作を發表し、知らず知らずの間に新興短歌への渴仰と道とを敎へ喜んでくれたことはばしい、試みにその二、三を發表して見やう

ほんの輕い氣持で等とは嘘の骨頂胸にはすつかり腹立が出來てる

桃色のとても素敵な爪の色だよ之にも交句のあつた昔の思ひ出　本間倭文子

唇がぬれて光つて居るそこひらの男をんなの交際ぶりだ　關秀穗

こゝにも亦安住のできない俺なのかみろ飛行機が歪んだ窓を通るぞ　志磨述

等の作品があるが前の作と比べたら大きな違ひのある事を發見する事が出來る

形式の飛躍は常に感じられる短歌に對しての不滿、囚ひ切れぬといふ感じを救ふ事と成るだらう。斯くて吾人は新興短歌の使命を知る。

萬葉良し、口語歌よし——一步進んで新興短歌とまた異る種々の傾向が生れる事も許すべきであらう。自由に、自然觀念の中に己を見出して行く作家があつてもよい事である、作家の個性を磨いて行く道となれば良いのである、誰もが自己の個性を打出して行くが故に、全體としては多種多樣に絞れる譯である。

新興短歌は外見的には短歌らしくなく、然しその精神に於て一層短歌の光りつめたものになるだらう。新興短歌は外の道には行かない、だからプロレタリヤの意思表示は成らぬのだ。

さあれ新興短歌の前途は多難である多難であればこそ私共は古いものに理想をかけず、新しいものを期待するのだ。

附記——拙文に對しては多分の論難の餘地もあらう、併し私はこの一章によつて沈滯の滿洲短歌界に新しい光を見出す事を信じて書いたのである。妄言多謝

新藝術派とは何? (下)
西村眞一郎

また雅川氏は、プロレタリア文學は政治的ヘゲモニイ下にある文學であるとし、之れを政治的價値と藝術的價値との二元的價値を有するものと解して、藝術派の立場は、之れら政治的價値を否定する從つて强權主義をも否定すると云つてゐる。

だが、プロレタリア文學に政治的價値と藝術的價値との二元價値があるだらうか。なるほど、二九年上半期に於いて、平林初之輔氏が政治的價値と藝術的價値との問題を提出して、氏一流の懷疑を公開したのではあつたのだが、これは平林氏一個人の懷疑であり平林氏本來の姿——プチブル性をいかんなく暴露した以外には、何ら問題とするに足るものではなかつたのだが、偶々これが問題になつたのは、平林氏が嘗て、プロレタリア文學の先驅者であり、評論界の大家(?)であつたゝめでもあらう。そして未だ淸算し切れない文壇的惡癖の故に、勝本淸一郎、大宅壯一、川口浩、小宮山明敏の諸氏が、之れに臨戰し、更に、藏原惟人氏の「マルクス主義批評の旗の下に」三木淸氏の「歷史的意味の變化の原則」中野重治氏の「藝術に政治價値なんてない」等々が夫々の機會に發表され、とにかく平林氏の說が唯物辨證法的でないばかりか、一九二六年に既に、淸算し盡されたかの福本イズムの泥沼に陷落しつゝあつたことが、明確に示摘されたのであるが、それにも拘らず、平林氏の二元的價値は藝術派及びブルジョア文學側に執拗な歪曲となつてこびりついてゐるのである。だが、プロレタリア文學は、どこまでも、一元的價値しか持ち得ないのである。この點藝術派と我々との見解は一致してゐるといふものだ。但し、プロレタリア文學及び藝術はプロレタリアートの生活必要によつて生れたものである限り、プロレタリアートの生活形態、感情思想意慾を表現するものであることは云ふまでもない。それ故にプロレタリア文學及び藝術の價値は、プロレタリアーの生活必要を如何に、形象のなかに具體的に表現したかの尺度によつて決定されるのである。この意味をブルジョア批評家及び藝術派諸君は政治的價値と誤認してゐるのである。

このことに就いて雅川滉氏は面白いことを云つてゐる。「藝術に政治的價値なんてない。それは政治に藝術的價値があるとか、黃金に營養價値があるとかいふのと同じやうな馬鹿げたことだ」と。(世界の動き——六月號)——

それ故に、私は藝術派といふ名稱そのものすら、不可思議に思ふものである。何故に、彼らが、かく唱へなければならなかつたといふに、それはプロレタリア文學をイデオロギイの文學であると解したゝめでもあらう。なるほど、嘗てのプロ文學はイデオロギイが、あまりにも露骨にむき出しのまゝ投げ出されてはゐたが、それは建設期にある文學の當然陷る幼稚さ不完全さを示してゐるものであつて、決して、プロ文學はその不完全さのまゝ固定化し停滯してゐるものではない。プロ文學とても、やはり、藝術の一般的本質である形象化、形象に依る思索を肯定してゐるものだ。即ち論理的、抽象的概念ではなくて、具體的、形象による表現であるのだ。だからプロ文學、換言すればマルクス主義文學とても藝術であることに何ら變りはないのである。それ故に、私は藝術派が、藝術と魔術とを混同してゐなければ幸ひだと思ふものである。試みに、久野豐彥描くところの最近の小說を見よ、何を描いてゐるのやら、藝術派諸君すらわからないと、こぼしてゐるしろものだ。

更に强權主義を問題にしてみよう。雅川氏はマルクス主義を以て强權主義と解してをられるが、一體、プロレタリアートの世界觀であるマルクス主義に强權的なものがあるだらうか。プロレタリアの生活條件に强權的なものが存在してゐるだらうか。强權的なものこそブルジョアジイの獨占になつてゐるではないか!それとも、雅川氏は、社會による生產の統一、組織化を以つて强權と解されるのか世に、これぐらひ馬鹿げた見解はあまり多くあるまい!レーニニズムの鐵の如き規則ですら、プロレタリアの生活、從つて全人類の幸福獲得のための强制ではないか。かゝる過程を經てのみ、人類の眞の幸福が得られるといふものだ。

雅川氏は文學は「反映の切實」であるといはれる。だが、單に「反映の切實」でありとするならばブルジョアジイがプロレタリアートを搾取することも、武藤山治が三百萬圓の退職手當を貰ふことも東京市電の爭議も、又、山梨、天岡、小川、小橋等々の行動も、みな現實の反映である。だが、我々は、これら一切に關して客觀的批判の必要に迫られてゐるのだ。單に文學が之れらを反映するのみならば、文學はあまり社會にとつて必要な存在ではなくなる。だが、我々は之れらを客觀的批判的に形象化し、人間生活の指導に役立せる(この藝術の機能をも、藝術派及びその朋友は政治的價値と解するのか?かゝる無智に對しては我々は何も云ふべき責任を持たない)それ故に我々は藝術派よりも更に、文學藝術を過重評價してゐるものである。

短歌批評に
—池內赤太郎氏へ—
(下) 金田武一

——第一首「家遠く鷄は遊ぶ蝦はひか」の感慨が主であるならば第四句はまるで他所言である。反對に「梛のみどり際立ちて見ゆ」が主となるものならば第一二三句が他所言を云つてゐるとになる——と氏は云つて居られるが、上句が下句に對して「蝦はひか」なる時間的說明を與へてゐることだけでも下句が主であることは自明の理ではないか。だから

——梛のみどりする下に鷄の遊ぶさまを現はすならば云々んでゐる……

——以下の評者の老婆心は[illegible]言である。

——「壇川路行き通ふ道」とはどう云ふことか。第五句「雨やみにけり」も突然で一首に何の效果もせない「道ありにけり雨やみにけり」では歌の調をなさぬ——

これに就いては、作者の深い諒解を僕も認めるが、然かし、三十一文字の外に「こうしては歌の調をなさぬ」といふ規則があるのだらうか。此處でも、僕は評者が如何に形式主義者であるかといふことを痛切に否むことは出來なくなるのである。

山を負ひて展けし村の閑寂さよ梨の白花今さかりなり

に於て——第三句が不要である……「寂しさよ」と云つてしまつては內に籠るものがなくならう——と云ひ

四月のをはりの一日梨の花咲き散る峽に遠く入りつも

に對し——第一二句が何の效果も擧げてゐない——と云つて居られる。氏は多分「四月」或は「閑寂」といふ用語に拘泥して居られるのであらうが、そんな形式論は別として、この場合、これ等の直截な用語が、韻律の上から云つても歌全體の氣分の上にも何等の醜を來して居るとは思はれない。

これは餘談だが、齋藤茂吉選別會の席上で加能作次郎氏が

この俺に歌を作れといふけれど歌は作れぬ無事であれ茂吉

と詠んで互選の結果斷然一等に入選したといふ。

要するに、格調——形式——もさることゝ乍ら、內容の大事なことは言を俟たない。歌壇

——作者(八木沼氏)は一體に無韻作がぞんざいで、只數だけ無闇に多く並べたてる嫌ひはないか。惜い事だ。今少し寫生に心を注ぎ謙にこゝろ置く敬虔さを持つて歌しい——

と、いとも嚴しく敎へて居られるが、この忠言も、作者の實際を知る者にとつては、無殘失笑に値するだけである。

なぜならば、北原白秋氏も口を極めて賞めたるが如く、作者の作歌態度たるや實に敬虔そのものであり、その「步兵的」精進はすでに定評あるものである。しかも多作と思はれる種の一首一首が、盡く鏤骨碎身の洗禮を受けてゐることは僕に、書店での立ち讀みでさへ一種の重苦しい壓迫を覺えさしたのでもよく解る。だが、その苦吟の跡が今、評者をして、ぞんざいに歌つたが如く思はしめるはらばそれは一面、作者の成功とも見るべきものであらう。

抄、僕は縷々として、宛ら八木沼氏讚譽の如く書き並べてしまつたが、要するに、氏の八木沼氏に對する批評が當らざる如く、僕この不作法なる一文が又、池內氏にとつて誤りならん事を祈つて擱筆することにする。(妄言死罪)

滿洲日報

社説

盗犯防止法と關東州

犯罪も環境によつて變化する。夏には夏らしい犯罪があり、冬には冬らしい、而して春、秋によりまた犯罪の形式を異にする。而してまた文明の進歩につれ知能犯の多いことも否定すべからざる事實である。殊に經濟界の動搖により人間社會生活の根柢を不安に陷るゝの結果、その偏りを喰つて種々の犯罪を發生する。そこで犯罪の發生は個人にありや、または社會にありやなどの議論も起るが、さればとて社會から犯罪發生の原因を一掃することは容易のことではなく結局、直接的に犯罪者個人を懲治するより外に方法なしといふことに歸着する。勿論、一般社會人としては共同の責任として相互に犯罪の發生を防遏せねばならぬが、まづ當面の問題として犯罪者を懲治すべく適當の方法を講ぜねばならぬのである。この防犯の共同責任者として社會人は相互に犯罪の發生に對し共同の戰線を張らねばならぬのである。而して同時に個人の被害防止策としての正當防衛權の範圍內における行爲の自由を相當のところまで承認せねばならぬ。その結果「盗犯防止及び處分に關する法律」となつて過般の特別議會を通過したのである。

◇

日本內地にありては去る六月十一日より右の盗犯防衛法の實施を見るに至つた。無論、この關東州にありては未だ適用されるに及んでゐないものではあるが、この關東州といふ特殊事情の下にありては恐らく右の如き精神を有する法律の必要なることは內地以上であらうと思はれる。不景氣に對する犯罪の如きは一般的であるとしてわが關東州は支那浮浪民の定着性なくして移動する焦點に位し、これが取締りは頗る困難なるものとされてゐる。勿論、支那內地におけるが如き無警察狀態でないだけに草賊の橫行するが如きは絶無であるが、時に兇賊の被害なしと限らぬのである。また日本內地方面よりも相當、兇惡なる犯罪者の潜入することなしとも限らぬ。これらに對し正當防衛の精神、意義を明確にし個人の被害を減少することに努力せねばならぬ。[illegible]

◇

過般の特別議會において渡邊法相は盗犯防止法の提案理由を說明して曰く「刑法正當防衛の規定(第三十六條)は措辭抽象的であるために其適用範圍に付き解釋上の疑義がありまして[illegible]」と。[illegible]してのみ法の妥當性が發揮せらるべきことを明にしたものといふことが出來やう。從つて本法に例示してあるところの條項は決して正當防衛に關する全部の場合を包含したものではなく可想的、典例的な具體的條項のみを擧示したものといふべきであらう。そは兎もかくとして、この盗犯防止法なるものは未だ關東州においては適用されるまでに至つて居らぬ。併し該法が刑法第三十六條の註釋的、補充的法規であることは上述の如くであるから當然にわが關東州にありても盗犯防止法における正當防衛權の精神は保障されてゐる次第である。されば一歩を進めて該防止法を適用し關東州の特殊地域の事情に順應することも決して無意義ではあるまいと信ぜられる。

軍令部案に基き新國防計畫樹立

財部全權より軍縮問題を說明

廿一日海軍大會議

【東京二十一日發電】大元帥陛下直接の機關たる海軍大會議は二十一日午前十時半より海軍省內大臣室に開催財部海相、谷口軍令部長を始め各艦隊司令長官、各鎭守府司令長官、各要港部司令官等出席(濱野馬港要港部司令官缺席)財部海相よりロンドン會議の經過特に三大原則を完全に達成し得ずして調印せざるを得なかつた事情を述べ更に統帥權の解釋に關する覺書問題並びに軍令部長更迭の經緯を說明して諒解を求めたる後谷口軍令部長起つて挨拶を述べ條約兵力量に依る國防缺陷の補充につき軍規軍略上より意見を吐露した、依つて右軍令部案を基礎として新國防計畫樹立の協議に入つたが根本趣旨において軍令部案を承認するに決し正午散會直ちに海相官邸における午餐會に臨んだ

補充計畫を上奏し

軍事參議官會議で決定

海軍部內の意見を統一して樞府の論議を封ず

【東京二十二日發電】ロンドン條約御諮詢の際樞府の問題となるべしと豫想さるゝは

一、最後の回訓案決定當時の政府軍令部の關係、統帥權問題、兵力量決定に關する覺書

二、兵力量の缺陷補充計畫

であつて第一の諸點に就ては財部全權が海相として最後請訓案に同意し條約に調印した以上政府の軍令部無視問題は起り得ぬ、兵力量決定には政府に不變の憲法論があり財部海相亦之に則して態度を一貫して居り兵力量決定覺書が「海軍大臣と軍令部長とは意見一致し得べきこと」と有り單に部內に於ける海相と部長の關係を律したものと見るべく過般の閣議は回訓案決定當時とは無關係なることの條件として承認してゐる以上、これ等の點が樞府でも問題となるとも政府には何等痛痒を感ぜぬとして居り殘る補充計畫に就ては大體の原案が出來てゐるので濱口、江木、財部三相は三十一日この點につき協議の結果、來週早々補充計畫を海相及び部長より帷幄上奏近く軍事參議官會議を開いて決定を求めるに意見の一致を見た模樣である斯くて政府は將來の國防に關し海軍部內の意見を統一し樞府の論議を封ぜんとしてゐるもので政府は多分廿七日の閣議で條約の御諮詢奏請手續、奏請時期等を決定する筈であるが、期日は今月中と觀測されてゐる

軍縮經過を說明

海相より直轄部下に

し谷口軍令部長からその所信を述べられた、その席上において各司令長官、各要港部司令官から意見は出なかつたが各自肚の中では思ふ處があらうと思ふ、新國防計畫の大體の目安はついたが豫算を伴ふ點やその他詳細の點はまだ〳〵これからである兵力量を審議すべき軍事參議官會議を開くかどうか今の處何にも考へてゐないそれはこれから決める問題である、ロンドン條約の樞府諮詢は暑中休暇後迄ぐ

御諮詢奏請期協議

ずぐ〳〵しては居られぬだらう

【東京二十一日發電】江木鐵相は二十一日午後四時濱口首相を官邸に訪ひロンドン條約諮詢に關し海軍の新國防計畫並に樞府方面の意向を參酌しその奏請期につき種々意見を交換した

三相時局要談

【東京二十一日發電】江木鐵相は二十一日午前八時財部海相を私邸に訪ひ時局問題につき要談四十分にして辭去し續いて午前十時五十分外務省に幣原外相を訪問しロンドン海軍條約樞府諮詢に關して打合せを爲した

江木鐵相首相と協議

【東京二十二日發電】江木鐵相は二十二日午前九時濱口首相を官邸に訪問し昨日來の海軍補充計畫及びロンドン條約御諮詢期問題につき引續き協議を行つた

反將軍の臺所閻氏の遣繰

警戒され出した山西銀行券

天津にて　一記者

[illegible]

の如き山西人の努力で量に於て紙幣の王樣のやうに威勢を揮つてゐるが、連日太原から印刷輸送されゐる分では昨今尚不足とでも考へたのか否マダ〳〵天津へ搬び込んで現錢に換へて終はなくては戰さが怪しくなるとも考へたのか、北平保定の分まで地名を改訂して搬び込んでゐるのを知つた流石の天津人もこれは可笑しいぞと睨み昨今この地名改訂の分だけを排斥し始め如何に山西人が奔走しても市中に通用しなくなつた、反蔣軍の臺所にこの印刷費だけ穴が明いた譯である

哈府議定書の破棄を警戒

勞農國籍以外の露人全部を東支鐵で罷免

【ハルビン特電二十二日發】東鐵管理局長は露支紛爭中に採用された無籍露人は一切解雇しこれに對し[illegible]ることは一切出來ないものである

東鐵ソウエート側では斷然如何なる反對があらうとも哈府議定書の精神によりソウエート國籍人以外の露人を一掃し且つ露支兩國籍の從業員の折半原則を實行する鞏固な意志を有し中間露人等は大恐慌を來してゐるこれはモスクワに於ける露支正式會議に支那側が哈府議定書を破棄せんとする意志あるにより先手を打つて其の實行を本質的に履行するものであらうと見られてゐる

滿鐵總會風景

仙石總裁の議長ぶり

◆…【東京電二十一日發】廿日の滿鐵株主總會は仙石總裁就任以來初めての總會だ、仙石さんの議長ぶりは果してどんなものだらうさういふ興味が誰の頭にも浮ぶ、株主、社員、新聞記者等々、誰の頭にも「やるぜ、今度は色々の質問が出るぜ」「聽きたくてウヅウヅしてゐる連中がをるぜ」「イヤあの先生等は大部分をお調らひ株主だよ、ナニいふものか、」「でもそれ見給へ、何か用意してゐるから」「フン少しはやる積りかナ」「いや御定連の總會屋だ、ナニやるものか」と開會前の廊下で噂とり〴〵

◆…二時五分、老總裁が入つて來ると、われるやうな拍手、一段高い議長席に悠々と振はる、やゝ斜向きに――、そして議場內をズッと睨め廻す、諸い顏だ、臨監のやうな眼だ、場內の眼は一齊に老議長の一身に集まる、一分、二分そのまゝシーンとしてゐる

◆…だが、議事は至つて平凡、總裁の演說、神鞭理事の營業報告、型の如くスラ〳〵と進む、例によつて草稿など讀まぬと頑張つた老總裁も流石に大事をとつたか、草稿片手に諄々と朗讀する、低聲だ抑揚もないと思ふうちにアッサリと濟まして了つた

◆…所がイザ株主の發言を許すといふ時になつて、場內は俄然緊張して來た、株主一同は全く完全に壓倒された、雷總裁の面目躍如だ

◆…立ち上つてニュッと手をつき出す、サア來いといふ身構へ、叱りつけるやうな答辯、それでゐて不思議に反感を買はない、立つ株主も、立つ株主も總裁の努力に感謝してゐる、總裁の手腕、力量に期待してゐる、誠に以て妙な光景だ

◆…かういふ風に議場をのんでかゝつてゐた總裁にもたゞ一つ失敗があつた、それは一株主の質問を聽き違へて思はぬ見當違ひの答辯をしたことだ、しかしそれには亦それだけの理由があつた、その種明かしをするとかうである

◆…ツイその前日、上京途次の總裁を車中に迎へた新聞記者連、色々な質問を浴びせかけた中に「拓相、滿鐵總裁を叱りおく」の一條即ち例の鞍山製鐵改良工事違算問題を一記者が質問したものだ「それは一體何ぢや」と總裁、すると一記者が取違へて「製鐵所の機械が腐るさうで」と口を出した、そこで總裁はこれを昭和製鋼所の機械に對する非難と解釋したらしいでそれを訂正しない中に汽車が着いたが、そのことが多少頭に殘つてゐたらしい、近頃無理もない聞違ひといへるだらう

西北軍は武漢へ積極的進擊

先鋒部隊に前進命令

【北平二十一日發電】湖南方面の形勢變化を機とし西北軍は武漢に向つて積極的に進出するに決し馮玉祥氏は平漢線の先鋒部隊に對し前進命令を下した

湖南中央軍頗る苦戰

【漢口二十一日發電】湖南に進擊した廣東軍六十師蔡廷楷、六十一師蔣光鼐の兩師は攸縣、茶陵一帶で廣西軍のため挾擊され苦戰に陷り長沙の何鍵氏に急を告げ援兵を求め何鍵氏は又漢口行營にこれを

戰鬪機購入

轉電し來り武漢軍の救援を請ふた

【上海特電二十二日發】蔣介石氏は又米國から戰鬪機二十四、爆擊機十二臺を購入した、江西の魯滌平氏の態度も怪しく既に李宗仁氏と諒解成つたらしく江西軍は急に修水に停り形勢を傍觀してゐる、南軍の失敗は氣候不慣れで暑氣に中られたのと米食が給せられなかつたことが主なる原因と見られてゐる

形式的抗議で反省を求むるか

外交團の應急對策

【東京廿一日發電】南京政府の天津、塘沽、秦皇島海關閉鎖に依り閻錫山氏側は各方面より失職中の稅關吏を狩り集め海關の再開を急いでゐるが閻氏より天津稅務司に新任されたシンプソン氏は二十日午後五時日英米等の天津領事に新稅關再開迄は船舶の出入手續は領事館內で取扱はれたいと申込んで來た、然し山西側が稅關再開の場合これを認むるは南京側に好意を缺くことゝなり二重課稅又は閉鎖臨檢等の南京側の態度惡化を來さしむる虞あり又山西側稅關を否認し臨時に領事館內で辦法を講ずる時は山西側によからず關係國では之が對策に當惑してゐるが結局

北平外交團より閻錫山氏に對し形式的抗議を爲し南京政府及び閻氏の反省を促すと共に何等かの妥協案を見出すことゝなるものと見らる

邦商は當惑

【天津二十一日發電】天津海關はシンプソン氏が新採用の吏員二十餘名を以て今朝九時より門を開いたが各國側は昨日より引續き領事館で通關事務を取扱つてゐる然るに率先して海關事務を始めた我領事館は北平公使館より中止命令ありしも本省よりは訓電なきため當惑の態で日本商人及び海運業者は貨物引取不能で政府の決斷速かならんことを祈つてゐる

取扱中止を命令

北平の我公使館より

【北平廿一日發電】日本公使館は天津總領事館が海關閉鎖に對する應急處置として領事館の手で海關事務取扱を開始せるに對し本省より訓電あるまで右取扱を中止すべしと命令した

出勤者優待

【天津廿一日發電】天津警備司令、市長、海關監督三名は連名を以て「海關事務の停頓を許さず從來の海關吏にして廿一日出勤せば凡ゆる優待條件を保證す缺勤者は即日免職の懲罰に附す」旨を示した

前稅關長逮捕要求

【天津二十一日發電】天津市長はイギリス總領事に對し稅關罷業の責任者たる前稅關長ベル氏の逮捕方を要求した

外交團は不干涉

【北平廿一日發電】外交團主席オランダ公使オーデンデイツ氏は海關問題につき左の如く語る

天津海關問題が如何なる展開を見るとも外債擔保に影響なき限り外交團としては支那の內政問題として干涉しない方針である從つて外交團會議も目下のところ開催する準備はして居らぬ

消極主義を緩め地方失業を救濟

餘裕財源で新規事業

【東京二十二日發電】政府は地方失業救濟のため積極的に事業を起す外なしとして消極的現主義を緩和して努めて事實上の積極主義に轉ずるに內定、地方豫算の編成に當つては限度を五年度豫算の範圍とし物價下落により生ずる餘裕財源を新規事業に振り向け得る餘地を與へることゝなつた

內地の鹽値下げ

愈よ明年より實施

【東京廿一日發電】本年一月一日より實施された全地收納鹽の賠償價格は百斤當り平均十六錢の引下げとなつてゐるに對し賣渡價格は平均十錢の引下げにして尙引下げの餘地あり政府手持ち鹽の處分が付いたので愈々來る十二月賣渡し價格を八錢乃至五錢方引下げ一月一日より實施すると

五品の資本半減

大株主會にて決議

大連五品取引所では既報の通り減資額に對する理事者間の意見の不統一から株主の意向を徵するため二十一日午後三時から大株主會を開き二十餘名參集協議の結果滿場一致を以て資本金を二分の一に減資することを妥當なりと決議し右を直ちに在京中の櫻內理事長に打電したが二十三日まで回答なき時は整理期日も切迫するので適當の處置に出ることに申合せたと

近代的軍隊を目標に軍制改革に着手す

今週から調査を連續開會

師團は減らさない

【東京二十二日發電】軍縮改革の根本問題たる

一、戰時兵力決定

二、戰時編成の變更如何

三、戰時裝備の改善

の三問題に就いては嚴て參謀本部陸軍省間に折衝を續けてゐる內に宇垣陸相の入院で頓挫を來してゐたが、阿部臨時代理任命と畑參謀本部第一部長が滿洲より歸來した結果、愈々今週より軍制調查會を連續開會し協議を進めることゝなつた、然かも改善の根本原則は豫算の關係上人員、馬匹を減じて裝備を改善し近代的軍隊と爲すに在り軍部では師團數の減少は避けて師團內部の縮小に依り此の目的を達するに至るべしと觀測してゐる

印度國民議會

警官隊と衝突

【ボンベイ二十一日發電】印度國民議會は二十日政府より集會禁止命令を受けたにも拘らず二十一日これを無視しメイドン廣場に敢て集合せんとした結果議會派大集團とこれを解散せしめんとした警官隊との間に大衝突起り反英義勇隊側は重輕傷五百名を出した

反英運動で外國製布の苦境

【デリー廿一日發電】反英運動者の嚴重な料禁のため外國製布卸賣商は此の二月間手持ち品を販賣せずその後の事態如何により適當の態度を採ることを申合せた

埃及新內閣

【カイロ二十日發電】イスマイル・シドキー・パシアはエジプト新內閣を組織し首相兼內相となつた、新首相はワフド黨の領袖で顯にエジプト[illegible]に關しイギリス官憲の爲流罪に處せられた事がある

東鐵土地整理

【ハルビン廿一日發電】東鐵土地部ではハルビンにおける土地の整理に着手したが、モスクワにおける露支交涉の結果、土地局內部の一大整理あることを豫測しその準備であると見られ卒地で必要なるものは東鐵經營上家屋其他倉庫を建築する方針である

太田關東長官

廿一日首相訪問

【東京特電二十一日發】太田關東長官は廿一日午前九時半首相官邸に濱口總理を訪問し、歸任につき挨拶旁々主管事務の要談をなし三十分にして辭去した廿二日午前九時二十五分發歸任の途に就く筈

スチール低落

【ニューヨーク廿一日發電】スチール株式市場はスチール株を中心に思惑賣殺到し値頭著るしく低落し賣方は益々增加した、同時に綿糸、小麥株も十五年來の新安值に達した

永代氏歡迎會

在連新聞通信社有志は二十一日午後六時半より市內扇芳亭において目下來連中の新聞研究所長永代靜雄氏及び同社理事村上悄氏の歡迎宴を開いたが閉宴に先立ち言論界に關する座談會を開いた

竹中次長歸任期

【東京特電二十一日發】總會のため上京中であつた竹中滿鐵經理部次長は二十五日出發歸任、又總務部の新文書課長岡田卓雄氏は二十四日出發赴任の豫定である

大連時報披露宴

創刊の大連時報社では二十五日夜六時半から連鎖商店街扶桑仙館で披露宴を張ると

はるぴん丸船客

【門司特電二十一日發】廿三日大連入港豫定のはるぴん丸の主なる船客、大佛衛、小山朝佐、中川文之進、國際通運神戶支店長小川亮一、大日本相撲協會役員若藤綱次郎、日東製氷重役枝松胖、九大教授工學博士西川寅吉、會社員平田重兵衛芬蘭領事WAウオール

安眼鏡子

米國メソヂスト監督敎會派は每四年次の大會を最近テキサス州ダラスで開き例の如く來る四年間の大綱を決議した▲右のうち最も一般の注意を惹いたのは同派が稱して「家庭の敵」となす諸問題即ち件侶結婚試驗結婚並びに近代小說及び映畫等のリストに從ひ集合した各監督は何れも苦り切つた面持で猛烈なる攻擊を加へた事であつた▲その代表的意見を抄錄すれば次の通り何れの時代に於ても最近數年程通俗小說、通俗劇が善良なる道德に脅威を與へた事はない。現代通俗小說は最低劣な人間の本能に訴へ而かも基督敎的道德の根柢に攻擊を加へた最惡のものたるを失はない。併し乍ら斯程の惡影響も多年來映畫館が道德的宗敎的に極大の脅威を爲した事に比ぶればまだ〳〵小さいのである。而してそれ等の絶えざる進步發達は要するに墮落の助長に過ぎなかつた。故にメソヂスト敎がその敎徒に對して之等映畫を無差別に觀る事が啻に基督敎徒の品性のみならず一般品格をも墮落せしめられる危險あることを注意しないならばそれはメソヂスト敎自身に對して不忠不信なることであると云つてよいのである

花を求める女　ゆふべ浪速町にて

夕刊で友人の死を知り自分も自殺を決心

あくまでも心中を主張する南山寮の殺傷犯人

二十一日午後二時半ごろ遂に大連署員の手によつて逮捕されたる滿鐵南山寮における殺傷犯人林芳治(三七)に對する藤井司法主任の訊問は夕刻まで續けられたが、訊問中の犯人は苦悶を續け「彈を拔いて下さい」と訴へつゝ司法主任の訊問に對し

北村を殺してから返す短刀で自分も死ぬ氣であつたが、北村のうめき聲や越口の救ひを求むる聲に寮の人々が馳けつけて來たので自刄の目的を達せず裏山に逃げ込んだ、さうして夜中あてもなく山中を驅け廻つた、二十日午前十時ころ老虎灘街道轉山屯の村落で支那人から一錢出して煙草一本と支那マントを買ひ求めて再び山中に逃げ込み、夕刻警察の活動狀態を知るべく村端れに出て通りすがりの新聞配達夫を呼び留め夕刊一部を買つてむさぼり讀んだ、そして新聞に北村が死んだと書いてあるを見て非常に驚き申譯ないことをしたと思つた、更に自分は北村の靈を慰むべく「約束通り俺もあとから行くぞ」と瞑目合掌をしたが、死に直面して書置きして置きたいと思ひ、鉛筆と紙を求めて今まで生き延びてゐた

とにわか作りの筋書きを假しやかに申し立てて居ならぶ警官を苦笑させてゐた、更に司法主任は

お前がそれほど殊勝な氣持であつたならなぜ警察に自首して出ぬのか

と突き込まれ

自首して名を晒すより潔よく死んで北村との約束を果したい考へでした、今三十分警官が來なかつたなら立派に自殺してゐただらうに飜目の恥を受けて殘念です

と大膽にも徹頭徹尾犯意を否認してゐた

心中などと出たら目な筋書

惡黨だけに白々しい陳述　藤井司法主任語る

殺人犯人を逮捕した喜びに面てを輝かしつゝ大連署藤井司法主任は語る

署員の努力で逮捕出來たことは喜びに堪へぬ、犯人は前科二犯の惡黨だけに假しやかに殺意を否認してゐるがどんな親友であつたとはいへ就職が出來なかつたら心中するといふが如き

馬鹿氣た 約束をする者がない、事實犯人の陳述通り心中であつたとしたら兇行後直ちに自刄すべきであるが逃げられるだけ逃げ延び、捕へられる際警官隊に抵抗するなど生に對する執着の强さを現はしたもので、心中などゝは持つての外だ、今は犯人もいさゝか昂奮してゐるからこの儘聞き流して置き、冷靜に立ち戻つてから取調べる考へである、犯人がかうした出鱈目な

筋書を作 つたのは廿日の夕刊を買ひ求めて讀んだ結果北村が即死してゐることが判り、更に越口が言語も通ぜぬ重態だと報ぜられてゐたので死人に口なしと思ひ勝手なことをいつてゐるのだと思ふ、犯人の傷は極めて輕く二三日經てば全治するであらう

殺人恐喝で三犯

元は機關兵だつた林

犯人林芳治(三七)は千葉縣香取郡香取村の生れで明治四十四年海軍に入隊し大正六年一等機關兵で滿期除隊となつたが元來操行修まらず除隊直後三重縣で醜婦二名を殺害して懲役七年に處せられ、昭和五年恐喝罪で懲役二ケ月に處せられてゐる兇狀持ちである、被害者北村とは横須賀で知り合ひ、二人相談のうへ職を求めて來連したことは事實であるらしく、林は海軍に永らくゐたところから船舶賣込み行商を目的で來連したものである然るに最初の目的が思ふやうならず、殊に北村のみが越口の世話で就職したのに自分が徒食してゐるのに嫉妬的な氣持ちを多分に持つてゐた模樣であるがかゝる殘虐な兇行を敢てする直接原因が那邊にあつたかは目下のところなほ詳かでない

遠征の大連消費京城電氣を破る

スコアー五A—一で

【京城特電二十二日發】京城電氣對滿鐵消費組合軍の野球戰は京電先攻で速水(球)吉富、生野(壘)兩氏審判のもとに二十二日午後一時十五分より開始、消費四回三點五回に二點を入れたるに反し京電は九回に一點を入れたのみにて五A—一で消費大勝し、午後三時五分閉戰した、因に選手一行は同夜七時二十分發列車にて歸連の途についた

遠征消費軍大勝す

對殖銀野球戰

【京城特電二十一日發】滿鐵消費組合對殖銀のやり直し野球試合は午後四時半開始し殖銀先攻、球審久禮、壘審竹內、日置、滿鐵三回三、五回三、六回一を入れ殖銀七回一、八回二を入れ三對七アルファーにて滿鐵消費軍大勝した

佛大學教授

旅大兩地視察

極東事情研究の爲め目下來滿中の佛國ストラスブルグ大學教授モンシャル・ビル氏は廿、廿一日の兩日關東廳を訪問、三浦內務、中谷警務兩局長初め日下殖產、河相外事、御影池學務、增田衞生各課長等につき州內に於ける行政一般及支那人教育、阿片制度、其他につき詳細質問研究する所があつた

滿鐵新部長・次長の家庭訪問記 (G)

繪のお稽古も讀書も總ては母性愛から

一種の尊さに人を惹きつける向坊計畫部次長夫人

今度は新計畫部次長、向坊盛一郎氏の番だ、月ヶ岡、石川交渉部次長邸に接して綺麗に刈込んだ芝生の庭を控へ、感じの良い家である「いらつしやいませ」と通された應接室には洋畫が三點據に、銀カップが棚に置き列べてあつて、あつさりした室內の調度は、新來の客でさへ何となく心落ちつける不思議な魅力を持つてゐる

◇……◇

「此家には一昨年、子供の健康のためにと思つて移つたのですが、夏は凉しうございますよ」物靜かな擧措、落ちついた話振り謙讓してゐるツマ子夫人の全人格から滲み出る雰圍氣は、淡々として水が流れる如く相手の心に浸み入る力を持つた牽きつける印象を與へる、棚の上の澤山の銀カップは夫君盛一郎氏がゴルフの競技で一獲たもので、ゴルフは十數年前からの古强者で在連斯界の一流者である

◇……◇

壁間に掲げた風景畫は夫人の描れたもので

「四、五年前から始めましたので今、眞山先生に就いて習つて居りますが、これも子供を敎育しますのに色々の事位聞かれても分る樣にと思ひましたのが動機で始めましたので、こんな事を書かれましては先生に叱られますから何卒お書きにならないで」

と謙遜してゐられるが鮮麗な筆觸はなかなか四、五年位の修業では出來ない立派なものだ、話をうかゞつてゐると夫人の子供思ひは實に深いもので、新刊書を讀むのも御自分の修養も皆その動機は愛兒の爲めで、お子さんが大きくなつて新思想の中に生きる時、自分もそれを理解出來る樣にと深い思慮と努力を以て母性としての自己修養に努めてゐられる

◇……◇

「私よく主人から、お前のやうなそんな子供思ひは野蠻人の類に屬するものだと云はれますが」と言葉靜に話す夫人の子を思ふ優しい眼をみてゐると、母性愛の權化ともいふか、一種崇嚴さを覺える、このお母さんの胸に育つ幸福なお子さんは二中二年の長男、隆君、長女鈴子さん次男滋君の三人で、十一歲になる鈴子さんはもうピアノを習つてゐるが殘念乍ら皆さん學校に行つて留守でお目にかゝれなかつた(寫眞は向坊計畫部次長一家)

特別進講を聞召さる

聖上皇后兩陛下

【東京二十二日發電】天皇、皇后兩陛下には二十三日午前十時より宮中御學問所に出御、三上參次博士より

明治大帝と明治十年

と題する特別進講を聞召された

師範教育の改善案大體成る

二部を本體とする尋常師範と文理大を置く

【東京二十二日發電】師範教育改善案については岡田良平氏の文相時代着手されたまゝ今日に至るもなほ決定せず、しかも地方廳は非常にこれを要望してゐるので現田中文相も過般來研究を進めてゐるが大體成案を得た、改正要項は二部を本體とする尋常師範と新たに設くべき師範大學令下に文理科大學を置くことゝなつてゐる

電車に飛され重傷後絕命

廿一日午後六時半頃市內西崗街九十九番地電車道を通行中の市內榮町一番地翟瑞增長男伏見臺公學堂生徒翟吉德(一〇)は四號系電車運轉手黃希武(二二)にはね飛ばされ大腸を露出する重傷を負ひ仁濟醫院に擔ぎ込む途中に於て絕命した黃は小崗子署に引致され目下取調中

競馬第一日成績

馬券詐欺や名馬即死の悲劇

賣揚高三萬四千圓

星ケ浦競馬第一日は午後に入つて俄然大番狂はせ續出し最高配當四回も出ていやが上にも競馬ファンの人氣を高潮せしめたがこれがため第九競馬において市內山手町居住渡邊米は出場馬「大正」の馬券を買はんとした際混雜に紛れて突然横間より女が「大正の馬券なら私のを讓りませう」と現金五圓にて引かへたところ後に至つてその馬券は使用濟みの前レース第八回競馬の馬券を握らされて居つたこと判明し青くなつて警官に屆出でるなどの悲喜劇を演じ、第十二競馬には往年競馬にて慘死した嘉祥と共に常勝馬として人氣を集めて居た中澤松男氏の十州(騎手川合)がラストコーナーにおいて脫臼し汗射にて即死せしめて直ちに土葬する等の騷ぎもあつた、午後よりの勝馬及び配當左の如し

▲第五競馬(駈駕速步)三千二百米第一着海林(八分三九秒三)第二着東山(一馬身)第三着白虎、配當第一着五十圓、第二着八圓

▲第六競馬(各抽)二千米第一着赤玉(川合騎手)二分四十三秒第二着羽衣(一馬身)第三着春日(一馬身)配當十一圓

▲第七競馬(春抽)千八百米第一着蓬萊(保利騎手)二分三十三秒一第二着五光(二馬身)第三着土佐(二馬身)配當十三圓十錢

▲第八競馬(各抽)千六百米第一着張飛(山本騎手)二分十一秒二第二着正和(一馬身)第三着惠以(二馬身)配當第一着五十圓、第二着九圓九十錢

▲第九競馬(各抽)千六百米第一着叶(田中仁騎手)二分十一秒三、第二着大正(大差)第三着羽智

▲第十競馬(春抽)千六百米第一着霧島(足立騎手)二分二十秒一、第二着摩森(一馬身半)第三着昇光(大差)配當十圓九十錢

▲第十一競馬(各抽)千八百米第一着華王(打田騎手)二分二十九秒二、第二着[illegible](三馬身)第三着日之丸(一馬身)配當第一着五十圓第二着十圓九十錢

▲第十二競馬(古呼)二千米第一着隆洞(堤騎手)二分三十四秒一、第二着旭昇(一馬身)第三着大孤(大差)配當第一着五十圓、第二着三圓三十錢

▲第十三競馬(各抽)千八百米第一着凱喜(打田騎手)二分卅一秒二第二着〇〇(一馬身)第三着一姬(一馬身)配當二十四圓六十錢

▲第十四競馬(春抽)千六百米第一着稻妻(二分二十三秒二)第二着無風(一馬身)第三着千草(大差)配當二十圓

因に初日馬券總賣揚高は三萬四千八百五圓であると

三十六萬兩拐帶事件の成行

支那側、訴訟の無効を主張し重大問題として注目

【上海二十一日發電】三井洋行の三十六萬テール拐帶事件公判は二十八日開かれるが、最近支那側は三井洋行が中國會社法により登記してゐないから法人資格を認め得ぬと論じ訴訟の無効を主張し、國民政府もこれを認めてゐるので重大問題として日本當局は既得權擁護の意味から場合によつては外交手段に訴へるらしい

重量拳闘選手再試合

【ニューヨーク二十日發電】過日世界重量拳闘選手權爭奪戰でファウルのため惜敗したシャーキーは相手のシュメリングに再試合を申し込んだ處シュメリングはこれを承諾したので來る九月再試合の豫定である

人氣を煽つた星ケ浦の競馬

滿日地方版

奉天

外來チームの魁 九州醫專野球團
來る二十四日來征 奉天滿倶と對戰

今夏は內地より多數外來チームの來奉を前に控へ奉天滿倶野球部では既報の如く新陣容を整へ緊張して沿線各チームと戰ひ悉く之を破り氣勢を揚げてゐるが、內地よりの遠征チームたる九州齒科醫專野球團と華々しい試合を行ふこととなつた、齒科醫專チームは廿四日安東より奉天に乘り込み廿五、六の兩日午後四時から新公園グラウンドに於て試合を舉行する豫定である

けふに迫つた奉天商議員改選
定員そこ〳〵無風狀態

奉天商議の議員改選はいよ〳〵本日に迫り一層緊張味を加へてゐるが今回は新顏が現はれたゝめか立候補を思ひ立つた連中も見合せの狀態にあり、これがため立候補數は割合に少數で一部、二部を通じて殆ど定員そこらの無風狀態である、しかしこの改選で最も注目されてゐるのは副會頭二人が、然勇退したため副會頭選任の問題である、會頭候補として庵谷氏の外石田氏說あり、庵谷氏は辭退する意志であるらしいが、互選で會頭に當選し果して飽くまで之を固辭するか否か疑問である、副會頭に至つてはその問題複雜を極め全く見當もつかぬ狀態である果して何人が會頭副會頭に當選するか非常に興味を以て迎へられてゐる

町の便り

▲白井堀頭事務所庶務長　廿六日家族同伴赴任の筈
▲鈴木二郎氏（鐵道部次長）　廿五日赴任の由
▲山口十助氏（同上勤務）　同上
▲町野武馬氏　二十日安奉線にて來奉
▲本位田博士　廿日來奉
▲秋川大佐　廿一日虎石臺へ
▲高橋參謀　廿一日大連より來奉
▲中島飜譯官　廿一日安東へ
▲國延警部補　旅順に榮轉する同氏は廿四日赴任の由
▲武田胤雄氏（滿鐵秘書役）　廿一日各方面歷訪挨拶をなす

滿鐵々道部次長に榮轉した鈴木二郎氏は二十日夜在奉新聞通信記者を金龍亭に招じ盛大に張宴、午後九時半頃散會した

◇

奉天道場劍道部では元奉天鐵道事務所鈴木所長の送別劍道試合を二十二日午前九時から催した

國民政府機關 通信社設置

六月二日來奉し國民政府機關通信社設置のため張學良氏と交涉中であつた國府代表陳玉堂、雪毅の兩氏は今回承認を得たので愈々設置する事となり七月一日から新聞を發行する由で場所は宮殿東側灰市胡元東北民眾報社跡であると

王家楨氏約二週間滯奉

南京政府外交部次長王家楨氏は故張作霖氏の二周忌祭參列のため大連經由廿一日朝歸奉したが、約二週間滯在のうへ歸南する由

食料雜穀買收

蘇聯邦政府では數日前より糧秣及び食料雜穀の調査をなし糧秣廠より職員を各地に派遣して買收しつゝあるが時節柄注目されてゐる

セミヨノフ將軍また來奉

奉天ヤマトホテルに滯在中であつたセミヨノフ將軍は何時の間にか奉天から姿を消したので疑惑の目を以て見られてゐたが、廿日東支鐵路局長ルムシヤノフ氏と共に哈爾賓より來奉兩氏ヤマトホテルに投宿中である

人事

▲鈴木嘉之助氏（熊本稅關監督局長）廿一日來奉
▲石本上海事務所長　廿日夜赴連

滿洲見本市へ
日支商出席

滿洲見本市は來る七月七、八、九日の三日間大連に於て開催につき當開原より邦商十三名、華商十名出席することとなつた、邦商側は團長羽原乃太郎氏、副團長三村治太郎氏、華商側は團長軍智軒氏、副團長王讃臣氏をそれ〴〵推薦した

川崎所長代理任命

開原地方事務所長川崎亥之吉氏は病氣にて大連醫院に入院中につき不在中所長代理として庶務係長慶德徹夫氏を二十日附任命した

山本澄江氏送別會

鐵道部貨物課へ榮轉の山本澄江氏を無名會同人は二十日大和に招じ送別宴を催したが盛會であつた

夫婦喧嘩で面當て自殺
憤慨した女房

當地邑平街一番地寶壽號劉鳳歲方へ假寓の、原籍北平城內楊殿三の妻楊喜台(三)は國元の正妻や一緒に居る女の事から犬も喰はぬ夫婦喧嘩をなし死ぬの走るのと騷ぎの末、喜台は二十一日午前九時半ごろ同家裏物置に於て西洋剃刀を以て咽喉部を橫に二寸餘切り鮮血にまみれて苦悶し居るを發見したと屆出たので、夫楊はびつくり仰天妻が自殺したと屆出たので、直ちに高木醫師ら急行應急手當のうへ滿鐵醫院に入院せしめたが生命には別條なく一命を取り止めた

遼陽

福田委員送別

遼陽機關區長で地方委員として公費區のため努力した福田又司氏が今回瓦房店機關區長に榮轉したので地方委員會では廿二日午後六時から社員クラブに於て送別宴を催した

人事

▲見坊田鶴雄氏（地方事務所長）廿日夜行で本社へ廿二日歸遼
▲宮城調明氏（鳳凰城驛長）廿一日急行で多數官民有志に見送られ赴任

開原

衛生講話と映畫會盛況

東京巢鴨居住醫師金子武夫(二六)は內縁の妻山內みち子(二三)を置去りにして行方を晦し奉天にゐる姉の夫の許に走つた形跡があるので取押方をその筋へ願ひ出た

衛生講話並に活動寫眞會は既報の通り二十日公會堂に於て開催された

四平街

益濟寮の創立十周年 記念演藝會開催
來月六日に劇場にて

益濟寮が設置されてから茲に滿十ケ年を閱したので十周年記念のため何かやらうではないかとの話が擡頭してゐたが、藝術家揃ひの獨身者のこととて異議なく七月六日を卜して四平街劇場に於て芝居を演ずることに決定、昨今暇がな暇がな稽古に熱中してゐる、出演役者の中には女にもまさほしき美男子も却々多いことゝて女に扮する役者も男役も些かの遜色もなく、それに山本氏が頭を突込んで騷前とあつて稽古もメキ〳〵上達して今や上方役者も三舍を避くる程の大一座が出來上つた藝題の主なるものは
一、戀愛病患者
二、父歸る
三、捨て兒、その他尺八洋樂獨唱手踊等々

鞍山

醫藥學集談會

鞍山滿鐵醫院では二十四日午後二時より同院二階廣間に於て六月例會醫藥學集談會を開催するが演題は左の如

一、レ線診療の近況（其二）　岡本進太郎
一、日常遭遇する主要たる急性中毒に就て（其の二）　國分信雄
一、ワ氏反應檢査法に就て（其の二）　岡野山松
一、花柳病と鞍山　岡本進太郎

午後八時歐博氏の開會の辭に次ぎ三田醫院長の衛生講話、映畫「義勇少年」を上映、前田醫長の衛生講話「人類の敵」を上映、奉天細菌檢査所野村技師の衛生講話「己を衛れ」と「最後の勝利」を上映し同十時半頃終了したが、觀衆實に一千餘名にて大盛況だつた

石橋米一氏送別宴

撫順炭礦經理課長に榮轉する石橋米一氏の送別宴を二十日午後六時三十分より彌生町倶樂部に於て開催したが、頗る盛宴裡に午後九時散會した

喜田定太郎氏離鞍

鞍山警察署の喜田定太郎氏は今回家事の都合により辭職したが氏は警察界に十八年以上勤續されたので特に巡查部長に昇進、二十一日十四時二十三分發急行列車にて朝鮮經由歸途に上られたが、驛頭には署長始め署員一同市民數十名の見送りがあつた

久留島氏講演會

鞍山製鐵所庶務課長久留島秀三郎氏の「南米の旅」講演會は既報の如く二十日午後七時より小學校講堂に於て開催されたが、來聽者數百名の多數に達し頗る盛會であつた

貔子窩

上水道料金愈よ徵收
去る二十日から

永い間鶴首して待たれた當地上水道も四月二十日通水式を舉行以來無料配水をして居たが、愈々本月二十日より料金を徵收する事になつた、料金は一噸十六錢（最低三噸）メートル使用料其他を合して一ケ月九十八錢（約二斗）一錢二厘であるが、これは稅務課で給水票を發行し給水を受ける際引替する事になつて居る、目下專用管五十七個共同配水管三ケで先月中の配水量二千四百噸で配水常時に比し漸次使用量を增して行つてゐる

吉林

吉海瀋海兩線を視察
長春列車區員

滿鐵長春列車區では今回列車區員を四班に分ち左の日割で吉海、瀋海兩線を視察する豫定であると
二十二日第一班八名▲二十七日第二班七名▲七月一日第三班四名▲二十二日第四班六名

腸チブス二名罹患

當地新開門外居住東亞土木會社駐在員奧村駿二氏は豫て病氣にて東洋醫院に入院加療中のところ十九日腸チブスと決定した、尙新開門外吉林藥房川住忠藏氏妻女綾子さん(三)は產後の經過不良にして東洋醫院へ入院したが、二十日これまた腸チブスと決定したが、今年腸チブス發生のこれが皮切りで在住民各自飲食物に注意すべきである

縣行政會議
七月一日開く

永吉縣長王耀氏は七月一日を期して縣內の紳士鄉團各界代表並に縣政府所屬の各機關代表を縣政府に召集し縣行政會議を開催する旨發表したが本會議は縣內鄉鎭の保護治安鄉法管理處發令に基く豫備團體法等に關し專ら討議を行ふ筈であると

恒吉副官來吉用務

十九日來吉同日歸吉したが、右は過般薨去した畑大將の葬儀に際し吉林邊防副司令官張作相氏より懇重なる弔問を受けたので之れが謝禮の爲めであつたと

鳳凰城

民會議員補缺決る

吉林居留民會議員奧田一郎氏は一身上の都合に依り議員並に衛生委員を辭したのでその補缺として次點者稻村峰一が選任された

葉煙草の成育調査
二十五日から

南滿黃煙組合では來る二十五日より七日間に亘り葉煙草（耕作面積六百天地）の成育調査を行ふが、移植後旱天續きのため發育は幾分おくれてゐるも移植期における雨量潤澤で活着が頗る良好であるからこの分では大したことはないが茲旬日も雨を見ないと畑地は漂底乾き上るので一般に憂慮され降雨を祈つて居る

大石驛長赴任

本溪湖驛へ榮轉の大石驛長は二十一日赴任したが驛頭には日支人多數の見送りがあつた

營口

沿岸貿易稅徵收問題
商民は大迷ひ

各港の稅關より移出する荷物に對しては移出稅の外に沿岸貿易稅として移出稅の半額を徵收し居るのであるが今回閻錫山氏が天津稅關を占領したるため同地への移出荷物に對しては當港稅關に於て前以て天津に於ける沿岸貿易稅を徵收し、若しこれを納附せざるものは通關せしめざるよう南京總稅務司より當地稅關長に通知し來たとのことであるが、若し天津稅關に於て當港に於て納附したることを認めざるに於ては再び天津に於て納附せざるべからざることゝなるので當地の商民は如何にしてよいか迷ふてゐる

清林館が値下斷行

當地清林館では同旅館附屬食堂の値下を斷行し座敷、ベランダー、浴場その他を全部開放し大小の宴會及び家族團欒の需めに應じ、新市街一圓は車の無料送迎までなすと

公主嶺

長春駐剳隊野營演習
公主嶺にて

公主嶺に於ける長春駐屯歩兵第三十八聯隊の野營演習は二十五日より來月四日までゞある

大山法務部長來公

關東軍大山法務部長は二十三日十一時五十一分當驛着の北行列車にて來公同日十七時三十八分發の列車にて南下

入賞乳兒決定

公主嶺第三回乳兒審查の結果は左記の如くであつた
優秀賞　小川省三、濱本芳彦▲强健賞　神谷四郎、千葉美枝子、帆北五平、吉池健二、藤井宣夫

食料品御用

日活現代劇臺本より　この母を見よ（四〇）
畸面座同人構成

倭子さん！僕はねエ

等はフト周圍の氣まづい沈默に氣が附いた。恥かしさうな倭子の樣子、冷たく光つてゐる夫人と瑠璃子の瞳……出鼻を挫かれた等はその後の言葉が出せなかつた。丁度咽喉あたりに言葉がひつかゝつてゐる樣な氣持がして、手をもじくさせるばかりであつた。

と、それに追ひかぶせる樣に夫人の冷たい言葉が響いた

桑木さんのは今日の不出來の品だけ差引いてあります

給料袋を握つた倭子は、夫人の意地悪い、冷たい聲を背に受け、

瑠璃子の憎惡に燃える眼を感じ乍ら、引き止める等の手を振り切つて街へ走り出た。

三十分は神への奉仕時間――惡魔の時計の下に麗々しく書き出された其の紙切れの上を、使ひのやうな大きな蜘蛛が這ひまわつてゐた。

氣まづい空氣――其の中で大きく欠伸をした瑠璃子は、コンパクトを取り出して、鼻の頭をたゝき始めた。首に捲い深紅のスカーフそれが疲れた女工達の眼を痛いやうに刺た。彼女達の或る者はそれ故寂しさうに微笑んだ。他の者は悲しさうに前の方を見た。更に他の者は腹立たしさうに瞬きした。その時痛みと嫉みと憤ほりとが、二十人の女の胸をえぐつたのである。

日暮の風はもう身にしみ入る頃になつてゐた。給料袋を握つたまゝ倭子は寒さうに襟をかき合せつゝ吾家へ急いでゐた。

づいた倭子は給料袋を破いて見た――四十二錢――倭子は淋しく笑つた。

歩道の上を動いてゐる步行者の集團、その雜多な色を持つて蠢動いてゐる大集團の中にあれ頭の數だけ、ちやうどそこに「思考」の糸もあるのだ。愛、貪慾、讚仰、憎惡、恐怖、期待、あらゆる興味と熱情、あらゆる慾望と探求が、そこを行く大都の住民の何千といふ數知れぬ頭の中で渦を卷き、蜘蛛手に摑んでゐるのである。そして――人間の耳には知覺し得べくもない「思考」の騷音と、ごつたかへしの中にあつて、極めて細い「思考」の糸が、貧しい一人の女――倭子の頭の中で展開したのだつた。

『一日働き通して四十二錢！月に十二圓といくらかにしかならない私と中子の生活！』

あゝ、その可愛相な中子は――母の歸りを待ちくたびれて眠つてゐた。昔なれば母の優しい子守唄か、樂しい蓄音機の音が、中子の眠りを心地よく導いて行つたのであるが、今の中子にとつては、時々通り過ぎて行く音響的な省線電車の車輪が、唯一の乳母であり、それが中子の夢を輕くゆすぶるのみであつた。

等が毎日工場へ現はれるやうになつてから倭子の日給は定つて何パーセント宛か無殘にも差引かれてゐた。

等の熱情的な目、夫人の貪慾な目、瑠璃子の憎惡にもえた目、そして女工達の陰險な目、其の注目

（寫眞は瀧花久子唯一人であつた、津島ルイ子）

滿日文藝
滿日柳壇
「朝起き」

柳河　金線魚
朝起のほつれ毛見せ身だしなみ
朝起て草の露ふむ尻からげ

鞍山　甫生
脫線を朝起きし知る格子窓
碁敵へ朝起きるなり持ち出され

大連　柳子
朝起の下女得意な唄で焚き
遠足は床からさわぐ朝を起き

本溪湖　銀杏
朝起をする氣でいつも寢寢をし

大連　雷々庵
除隊兵起床ラッパの先ヾに起き
朝起の姑雨戸の音を立て
健週の朝起き兎角それつきり

呂圖　柳川
早起は樂しい膝に皆んな寄り
暗がりに起きて遠足皆ひつゞけ
朝顏に笑はれてゐる朝を起き

呂圖　斗牛
早起をして善根は日を拜み

朝陽鎭　杢堂
女房の產後朝寢ぃ癖がつき

旅順　榮丸
早起を貯金で勵ます親の愛

感吟

大連　森柳子
朝起の子へ妻惜しい床を上げ

鞍山　甫生
朝起が苦になる春の夜を更し

大連　櫻井農夫
目覺を握つたまゝで又うつゝ

旅順　岡野榮丸
朝起を時計たよりに脊を寢る

大連　長島治子
朝起の機嫌女は先を知り

○

高橋月南
子澤山一人一人を朝にちる
ラッパ卒ラッパ吹くだけ早く起き

（選作）

新刊紹介

▲ルパン全集（別卷二）「ドロテ」「青色刑錄」「空の防禦」の三篇「ドロテ」は謎の七個のメダルを中心に捲起された事件、曲馬團を組織するルパン型の美くしい令孃の活躍をテーマとしたもの「青色刑錄」はルパンと獨探との力試し、美くしい佛蘭西婦人の仇を返すルパンの俠氣、またそこには柔術で以てルパンを助ける一日本人が現はれてくる「空の防禦」は同じくルパンと獨探との爭を書いたもの、譯は全部保篠龍緖（四百二頁豫約本東京麴町下六番町平凡社發行）

▲川中島の合戰（長野市敎育會編）二十八頁軸圖附定價廿錢長野市西長野町大正堂書店發行

▲善光寺小誌（長野市敎育會編）同會が篤學の士坂井文厚士に囑して編したもの、大部の研究が良く一般の案內となるべきものとして此の小冊子に纏められてゐる（百八頁定價卅五錢長野市西長野町大正堂書店發行）

▲出版年鑑（昭和五年版）昭和四年間に出版された新刊書の目錄を作ることを主眼とし一年間の情勢、事件、統計等を可なり詳細に敍せてゐる、他に出版社一覽、出版關係組合規約、出版關係法規等を收錄す（七百頁定價八十錢東京神田錦町三東京堂發行）

▲醫學常識（第五卷）醫學常識の第六回配本である、小泉呼吸器病の豫防と手當（醫學博士瀨川昌世）小兒傳染病（醫學博士栗[illegible]

▲大陸（六月號）定價五十錢大連西公園町其社發行

▲雄辯（七月號）時代の反映としての文學（中村武羅夫）世界各國人の點描等（定價五十錢東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）

▲滿洲公論（六號）定價五十錢大連紀伊町九其社發行

▲批判（六月號）座談會「大學の頹落と知識階級の地位」長谷川權平、新居、向坂、石濱、芹原）創作「何處迄も」（村山知義）等（定價五十錢東京市外中野上の原我等社發行）

▲法律新報（二百二十號）定價廿錢東京丸ノ內仲通三號館其社發行

▲實業界（六月號）仕入と販賣の新職術（鈴木森永製菓仮賣部長）等（定價四十錢東京麴町平河町六其社發行）

▲刀劍研究（六號）定價五十錢東京下谷茅町二南人社發行

▲大連山縣通二ノ二大連俳句會發行

▲滿洲通信俳句（九號）定價廿錢

▲拓殖公論（六月號）定價卅五錢東京麻布六本木町其社發行

▲子供之友（七月號）七夕祭、蟬取り、海水浴、山登、等々夏氣分横溢（定價廿五錢東京雜司ケ谷上り屋敷婦人之友社發行）

▲新天地（六月號）創刊十周年記念號何れも興味深い力作を集めてゐる「在滿鮮人歸化權の承認に就て」「滿蒙鐵道の國際關係の推移」（赤塚正朝）「滿蒙鐵道發達史」（星出信雄）台灣ゲームを里標に（渡邊論）等（定價五十錢大連市榊町其社發行）

▲富士（七月號）愛の戰車（加藤武雄）戀車（吉川英治）鳳凰の卵（谷孫六）谷風情の達引（賀井琴窓）首無し事件（小泉惣之助）「特輯篇」生、親物語（高村光雲その他）名劍綺物語（尾竹國觀他四氏）笑ひを生む人々（大辻司郎其他）等（定價五十錢東京市本鄉區駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行）

▲蘇維埃事情（一號）蘇聯邦政府の內政策、時事問題としては「ソウエート聯邦に於ける日本利權の現狀」「最近の東支鐵道貨物輸送狀態」等、研究及び資料として「一九一七年のロシヤ革命史」島野三郎「農業社會主義化運動に對する警告」「スターリン」等（定價五十錢大連滿鐵發行）

▲ソウエート聯邦事情（二號）殺物恐慌救濟策としての共榮農業政策

▲（東西醫學社）博士太田孝之の三項目に分ち、各種病氣の原因、徵候、治療、豫防法、看護法等が平易に且つ詳細に書かれてゐる

懸賞詰聯珠發表（三）

題名「葉櫻」正解　上木三山調

【白（十四）の「い」に來る分】
（二十一）の後甲又は乙の勝（二十三珠打上）

（十四）は最强の防珠である（十五）は殆ど全部が右圖の通り下に引いてあつた（十六）强い、反對は「い」「ろ」「地」「天」又は「ろ」の順にて「甲」「乙」は大失着（二十六）の間「十九」飛んで（二十一）にて「甲乙」の兩勝が出來る事からして先づ活三聯を防ぐ前に一顆（二十六）の四尖を活用して見ねばならぬ筋合であるから